工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

- 工事成績評定表
- ・工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 (土木工事用)

改定

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(建築工事用)

工事成績評定表 [完成・出来形・中 間]

令和 年 月 日 作成

令和5年5月1日	出版																					
工 事 名																						
契約金額			円	受注	者名							工期						検査	年月日	令和	年 月	日
考	査 項		目		監 督	職員	(完成)			ħ	支術検査 職	践員 (出来	形・中間	間)				技術権	食査職員	(完成)		
項目	細		別	а	b	С	d	е	a	a'	b	b'	c	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е
1. 施工体制	I. 施 工 体	本制 一	般	+1.5	+0.8	0	-3.0	-6.0														
	Ⅱ.配 置	技 術	者	+1.8	+0.9	0	-3.0	-6.0														
2. 施工状況	I. 施 工	管	理	+1.5	+0.8	0	-3.0	-6.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	Ⅱ. 工 程	管	理 A	+1.2	+0.6	0	-3.0	-6.0														
	Ⅱ. 工 程	管	理 B	+4.0	+2.0	0	-3.0	-6.0														
	Ⅲ. 安 全	対	策A	+1.8	+0.9	0	-3.0	-6.0														
	Ⅲ. 安 全	対	策B	+6.0	+3.0	0	-3.0	-6.0														
	IV. 対 外	関	係	+1.8	+0.9	0	-1.5	-3.0														
3. 出来形	I. 出	来	形	+1.2	+0.6	0	-1.5	-3.0	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
及び	Ⅱ. 品		質	+1.2	+0.6	0	-1.5	-3.0	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12. 5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
出来ばえ	Ⅲ. 出 来	ば	え						+5.0		+2.5		0	-5		+5.0		+2.5		0	-5	
				一般	工事	ICT活月	日工事等	加点														
4.工事特性	I. 工 事	特	性 ※ 2	+6.0)~0	+4.0)~0	()														
5. 創意工夫	I. 創 意	エ	夫 ※ 2	+3.0)~0	+5.0)~0	()														
6.社会性等	I. 地域へ	の貢献			+4.0	~ 0		()														
加油	咸 点 小 計	ŀ	※ 1		①加減:	三 信点	. 点	į			②加減/	点計=		Ā				③加減点	三信点	. 点		
7.基 本 評	定点計		※ 1			点		○出来形	・中間検	査があっ	た場合	: 65+	. –	点×0.5	_	点×0.2	_	点×0.	3) =	点		
												但し	. ② (H	出来形、中	間) が2	回以上の	場合は平	均値				
								○出来形	・中間検	食査がなか	った場合	÷:65+	· (①	点×0.5	5+3)	点×0.5	5)		=	点		
8.法 令 遵	守 等				_		点															
9.VE評価(VE追	自加点+5点)		※ 3		+		点															
10.評 定 点			※ 4			点		本評定点		点) -8.滋	 卡令遵守等	£ (点)	+ 9 . V	E評価(点) =	点			
所	見		※ 5					(監督職員)								(技術検	(査職員)				
																				()

^{※1} 加減点小計 = 1.~3.の評定(加減点) + 4.~6.の評定(加点) : 基本評定点 = 6 5 + 加減点小計 評 定 点 = 基本評定点 - 8.の評定(減点) + 9.の評定(加点) 各加減点 (①~③)は小数第1位まで記入する。

^{※2 4.5.}の和の最大は9点とする。なお、配点は一般工事、ICT活用工事等ともにそれぞれの列の点のとおりとする。

^{※3} VE適用工事のVE追加点は、監督職員が評定する。この場合、評定点合計が100点を超える場合がある。

^{※4} 評定点は、四捨五入により整数とする。

^{※5} 所見は指示事項等がある場合に記載する。

[※] 各考査項目ごとの採点は、別紙「工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表」による。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(土木工事用)

運用基準日:令和7年10月1日以降、入札公告又は指名通知を行う工事から適用する。

監 督 職 員 · · · · · · · · · 別紙— 1 ①~①

技術検査職員 ・・・・・・・・・ 別紙―2 ①~60

出来形及び品質のばらつきの考え方・・・ 別紙―3

「施工プロセス」のチェックリスト・・・ 別紙―4 ①~④

工事成績評定の留意事項・・・・・・ 別紙-5

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

考查項目	細別	a	b	С	d	e					
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である					
		●評価対象項目			□ 施工体制一般に関して、監督	□ 施工体制一般に関して、監督					
		□1) 「施工プロセス」のチェックリストのうち、	施工体制一般について指示事項が無い。		職員が文書による改善指示を	職員からの文書による改善指					
		□2)施工計画書を、工事着手前又は施工方法が確	定した時期に提出している。		行った。	示に従わなかった。					
		□3)作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体	系図に明確に記載している。								
		□4) 元請が下請の作業成果を検査している。									
		□5)施工計画書の内容と現場施工方法が一致して	□5)施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。								
		□6) 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対	応が速やかである。								
		□7) 現場に対する本店や支店による支援体制が整	そっている。								
		□8)工場製作期間における技術者を適切に配置し	ている。								
		□9)機械設備、電気設備等について、製作工場に	おける社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整	をえている。							
		□10) 電気設備等について、設備更新時の新旧設備	iの切り替え作業における予期できない事 象 等に対応でき	る体制を整えている。							
		□11)その他									
		(Z H .		J							
		●判断基準									
			① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目(② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数								
		計圖區24 00 /0 /木阀 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	① なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場								
	II. 配置技術者	a	b	c	d	e					
	(現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	 不適切である					
		●評価対象項目			□ 配置技術者に関して、監督職	□ 配置技術者に関して、監督職					
		【全体を評価する項目】			員が文書による改善指示を行	員からの文書による改善指示					
		□1)「施工プロセス」のチェックリストのうち、	配置技術者について指示事項が無い。		った。	に従わなかった。					
		□2)作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選									
		【現場代理人を評価する項目】									
		□1)現場代理人が、工事全体を把握している。									
		□2)設計図書と現場との相違があった場合は、監									
		□3)監督職員への報告・連絡を適時及び的確に行									
		【監理(主任)技術者を評価する項目】									
			簡素化の趣旨に則り、書類を適切に作成し、提出又は提	表している							
		□ 2) 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理									
		□3) 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、	-								
		□4)下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術									
		□5)監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づい	-								
		口 0 / 監理 (土口) 技術有が、切離な似拠に塞つ									
		10 6) 20 My (□ 6) その他 (_{理由} ·								
		□ 6) その他 (理由:									
			① 当該「評価対象項目」のうた、対象レトかい項目	け削除する							
		理由:	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数								
		理由:	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数③ 評価値(%)=該当項目数()/評価	として計算した比率(%)計算の値で評価する。 対象項目数 ()							
		理由: ●判断基準 評価値が 90%以上・・・・・a	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数	として計算した比率(%)計算の値で評価する。 対象項目数 ()							

項目 細 別	a	b	С	d	e				
五工状況 I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である				
	●評価対象項目			□ 施工管理に関して、監督職員	□ 施工管理に関して、監督職員				
	□1) 「施工プロセス」のチェックリストのうち、	施工管理について指示事項が無い。		が文書による改善指示を行っ	からの文書による改善指示に				
	□2)施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映	としたものとなっている。		た。	従わなかった。				
	□3)現場条件の変化に、適切に対応している。								
	□4) 工事材料を品質に影響が無いよう保管してい								
	□5)日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画								
	□ 6) 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書								
	□ 7)現場内の整理整頓を日常的に行っている。								
	□8) 指定材料の品質証明書及び写真等を整理して								
	□9)工事打合せ簿を、過不足なく整理している。								
	□10) 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に								
	□11)工事全般において、低騒音型、低振動型、排								
		作業(作業手順や確認方法等)を適切に行っている。							
	□13) その他 ()						
	理由:								
	四.)						
	■ Mainer # Me								
	●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目	は削除する。						
	評価値が 90%以上・・・・・ a								
	l l	③ 評価値 (%)=該当項目数 ()/評価 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場							
	評価値が 80%未満・・・・・・c	○ 340、□□四次○□□四八次○□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公□公	H 1 x ∈ H I IM ⊂ 1 . Φ°	<u> </u>					
Ⅱ. 工程管理		,		,					
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		b	C	d めめて***********************************	e T				
	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である				
	●評価対象項目	アイロがオリンティン・マセルニ 古 7 5 7 8 mm 、			□ 工程管理に関して、監督職員				
	□1) 「施工プロセス」のチェックリストのうち、			が文書による改善指示を行っした。	からの文書による改善指示に 従わなかった。				
		□ 2) 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。							
	□3)実施工程表の作成及びフォローアップを行っ								
	□ 4) 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工								
	□5)時間制限や片側交互通行等の各種制約への対	「応が適切であり、工程の大きな遅れが無い。							
	□ 6) 工事の進捗を早めるための取組みを行ってい	な。							
	□7)適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。								
	□8)休日の確保を行っている。								
	□9)計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。								
	□10) その他 ()						
	理由:								
	●判断基準			¬					
	郵価値が Q0% 17 ト・・・・・・	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数							
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価							
		④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場							
	HI IMI IIIZA OO /OAKING			_					
1				· '					

考	細 別	a	b	С	d		е				
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理B	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		劣っている				
		□1) 陳按する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 □2 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 □3 工程管理と落切に行ったことにより、夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減させた。 □4 工程管理に係る機械的な取組みが見られた。 □5 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 □6 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 □7 通期の現場関所の日数の割合(現場関所率)が2 8.5%(4週8 休相当)以上の水準に達する状態を達成した。 □8 月 早位の現場関所の日数の割合(現場関所率)が2 8.5%(4週8 休相当)以上の水準に達する状態を達成するとともに、選休2 日の推進に向け、積極的な取組を行った。 □9 完全選休2 日(土日)以上の水準に達する状態を達成した。 注) 7) ~9) について、選休2 日工事(交替制)の場合は、「現場関所率」を「技術者及び技能労働者の休日率」に読み替える。 □10) 設備更新等の工事において、機能停止期間の短縮など、工事による利用者への影響を軽減させた。 □11)その他 【理由: ■判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。									
	HI CA A LIVE										
	Ⅲ. 安全対策 A	a	b		C C	d	e				
		適切である	ほぼ適切である	他の評価	に該当しない	やや不適切である	不適切である				
		●評価対象項目	。				□ 安全対策に関して、監督職員				
		□ 1) 「施工プロセス」のデェックリスト □ 2) 災害防止協議会等を1回/月以上行	のうち、安全対策について指示事項が無い。			が文書による改善指示を行っ た。	からの文書による改善指示に 従わなかった。				
		□ 2) 次音的正協議云寺を1回/月以上1				<u> </u>	促わなかった。				
		□ 4) 新規入場者教育の内容に、当該工事									
		□5)工事期間を通じて、労働災害及び公									
		□ 6) 過積載防止に取り組んでいる。									
		□ 7) 仮設工の点検及び管理を、チェック	リスト等を用いて実施している。								
		□8)保安施設の設置及び管理を、各種基	等準及び関係者間の協議に基づき実施している。								
		□9) 地下埋設物及び架空線等に関する事	お放防止対策に取り組んでいる。								
		□10) その他 ()							
		理由:		J							
		●判断基準									
		評価値が 90%以上・・・・・・a 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 評価値が 80%以上90%未満・・・・ b 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%) =該当項目数()/評価対象項目数() なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。									

考查項目	細 別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策 B	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目				
		□1)建設労働災害及び公衆災害の防止に	こ向けた取組みが顕著であった。			
		□2) 安全衛生を確保するための管理体制	引を整備し、組織的に取り組んだ。			
		□3) 安全衛生を確保するため、他の模箪	色となるような活動に積極的に取り組んだ。			
		□4) 安全対策に関する技術開発や創意コ	口夫に取り組んだ。			
		□5)安全協議会等での活動に積極的に取	なり組んだ。			
		□6)安全対策に係る取組みが地域から言	平価された。			
		□7) その他 ()		
		理由:				
		●判断基準				
		上記該当項目を総合的に判断して、a、	b、c、d、e評価を行う。			
	IV. 対外関係	a	b		С	d e
	III. MANAM	 適切である	ほぼ適切であっ	ス 他の評価		適切である 不適切である
		●評価対象項目	TO TO MEE 91 C (V)	2) IE->\text{1} III		関して、監督職員 □ 対外関係に関して、監督職員
			へのうち、対外関係について指示事項が無い。			る改善指示を行っ からの文書による改善指示に
		□2)関係官公庁などと調整を行い、トラ			た。	従わなかった。
		□3)地元との調整を行い、トラブルの外			/_0	1/C42/3/11-12/C0
			は、苦情に対して適切な対応を行っている。			
		□5)関連工事との調整を行い、円滑な近) [F] fee 1 er 1 7		
			よどにより地域住民や通行者等に分かりやす。	、周知している。		
		□7) その他 (
		理由:		J		
		- (cut-stable)				
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち	、対象としない項目は削除する。		
		評価値が 90%以上・・・・・・・	a	めい評価項目数を母数として計算した比率(%)記	計算の値で評価する。	
		評価値が 80%以上90%未満・・・・・		自数()/評価対象項目数()		
		評価値が 80%未満・・・・・・・・	c なお、削除後の評価対象項目	数が2項目以下の場合はc評価とする。		

						(IIII
考 査 項 目		a	b	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	□ 出来形の	測定が、必要な測定項目について所定	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定	□ 出来形の測定方法又は測定	□ 契約書第17条に基づき、
	の測定基	準に基づき行われており、測定値が規	の測定基準に基づき行われており、測定値が規	の測定基準に基づき行われており、測定値が規	値が不適切であったため、	監督職員が改造請求を行っ
I. 出来形	格値を満	足し、そのばらつきが規格値の概ね	格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね	格値を満足し、a、bに該当しない。	監督職員が文書で改善を指	た。
	1	内である。	80%以内である。		示した。	
		きの判断は別紙-3参照。		<u> </u>	1	
	1 1 1 1 2 2 1	C => 1419(148)(1418)				
		① 出来形の評定は、工事全般を				
			れた工事目的物の形状及び寸法をいう。 施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基・	づき所定の		
		II .	あるが、当該管理基準によりがたい場合等については、	I		
		と協議の上で出来形管理を行				
		④ 出来形管理項目を設定してい	ない工事は「c」評価とする。			
	機械設備工事	а	b	С	d	е
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定	□ 契約書第17条に基づき、
	※上記欄によ	●評価対象項目			値が不適切であったため、	監督職員が改造請求を行っ
	らず、当該欄	□1)据付に関する出来形管理が、出	来形管理図及び出来形管理表により確認できる。		監督職員が文書で改善を指	た。
	で評価	□2)設備全般にわたり、形状及び寸	法の実測値が許容範囲内である。		示した。	
		□3)施工管理基準の撮影記録が撮影	基準を満足している。			
		□4)設計図書で定められていない出	来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理し	ている。		
		□ 5) 不可視部分の出来形を写真撮影				
		□6)溶接管理基準の出来形管理を適				
		□7) 塗装管理基準の塗膜厚管理を適				
		□8)社内の管理基準に基づき管理し				
		□9)設計図書に定められている予備		- WEI/E IN 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10		
			摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及	の回復状況を図表等に記録している。		
		□11) その他 (
		世由:		J		
		●判断基準			' 	
		評価値が 80%以上・・・・・・・	・a 当該「評価対象項目」のうち、対② 削除項目のある場合は削除後の評	†象としない項目は削除する。 F価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価	C-1- 7	
		評価値が 60%以上80%未満・・・・		F個項目数を母数として計算した比率(70)計算の値で計値 数() /評価対象項目数()	19 పం	
		評価値が 60%未満・・・・・・・		52項目以下の場合はc評価とする。		
					 	

考 査 項 目	工 種	а	b	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定	□ 契約書第17条に基づき、
	通信設備工事	●評価対象項目			値が不適切であったため、	監督職員が改造請求を行っ
I. 出来形	• 受変電設備	□1)据付に関する出来形管理が、出来形管理	図及び出来形管理表により確認できる。		監督職員が文書で改善を指	た。
	工事	□2)機器等の測定(試験)結果が、その都度	管理図表などに記録され、適切に管理している。		示した。	
		□3) 不可視部分の出来形を写真撮影している	0			
	※上記欄によ	□4)設計図書に定められていない出来形管理	項目について、監督職員と協議の上で管理している	5 .		
	らず、当該欄	□5)設備全般にわたり、形状及び寸法の実測	値が許容範囲内である。			
	で評価	□6)設備の据付及び固定方法が設計図書又は	承諾図書通り施工している。			
		□7)配管及び配線が、設計図書又は承諾図書	通りに敷設している。			
		□8) 測定機器のキャリブレーションを、定期	的に実施している。			
		□9) 行先などを表示した名札がケーブルなど	に分かり易く堅固に取り付けている。			
		□10) 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等に	ついて、設計図書の仕様を満足していることが確認	忍できる。		
		□11) 社内の管理基準に基づき管理している。				
		□12) 設計図書に定められている予備品等に不				
		_	防護など運用における不可抗力を想定した安全対象	策がなされている。		
		□14) その他				
		理由:		J		
		●判断基準				
		評価値が 80%以上・・・・・・a	① 当該「評価対象項目」のうち、対象 と ② 削除項目のある場合は削除後の評価・	としない項目は削除する。 頁目数を母数として計算した比率(%)計算の値で討	▼価する	
		評価値が 60%以上80%未満・・・・ b	③ 評価値(%)=該当項目数() /評価対象項目数()		
		評価値が 60%未満・・・・・・c	④ なお、削除後の評価対象項目数が25	頁目以下の場合は c 評価とする。		
					1	

考 査 項 目		a	b	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	□ 品質の測	定が、必要な測定項目について所定	□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定	□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定	□ 品質関係の測定方法又は測	□ 契約書第17条に基づき、
	の測定基	準に基づき行われており、測定値が	の測定基準に基づき行われており、測定値が	の測定基準に基づき行われており、測定値が	定値値が不適切であったた	監督職員が改造請求を行っ
 II. 品質	規格値を	満足し、そのばらつきが規格値の概	規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概	規格値を満足し、a、bに該当しない。	め、監督職員が文書で改善	た。
	ね50%	以内である。	ね80%以内である。		を指示した。	
	※ ばらつ	きの判断は別紙-3参照。				
		① 品質の評定は、工事全般を	ユドィ並宁ナス * のトナス			
		② 品質とは、、設計図書に示				
			施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づ	.		
			の管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場で に品質管理を行うものである。	合寺につい		
		④ 品質管理項目を設定してい				
	機械設備工事	а	b	С	d	е
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない。	□ 品質関係の測定方法又は測	□ 契約書第17条に基づき、
	※上記欄によ	●評価対象項目			定値値が不適切であったた	監督職員が改造請求を行っ
	らず、当該欄	□1)材料・部品の品質照合の書類	(現物照合) の内容が設計図書の仕様を満足している。		め、監督職員が文書で改善	た。
	で評価	□2) 設備の機能及び性能を、承諾国	図書のとおり確保している。		を指示した。	
		□3) 設計図書の仕様をふまえた詳紀	細設計を行い、承諾図書として提出している。			
		□4)機器の品質、機能及び性能が記	設計図書を満足して、成績書にまとめられている。			
		□5)溶接管理基準の品質管理項目に	こついて規格値を満足している。			
		□6) 塗装管理基準の品質管理項目	こついて規格値を満足している。			
		□7)操作制御設備について、操作2	スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、正常に作	動することが確認できる。		
		□8) 操作制御設備の安全装置及び値	保護装置が承諾図書のとおり機能している。			
		□9) 小配管、電気配線・配管が承記	諾図書のとおり敷設している。			
		□10) 設備の取扱い説明書を適切に作	作成している。			
		□11) 完成図書(取扱説明書) に定期	期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示	している。		
		□12)機器の配置を点検しやすくし	ている。			
			いて、部品等の交換作業が容易にできる。			
			及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめている。			
			ラベルなどが見やすい状態で表示している。			
		□16) 計器類に運転時の適用範囲を見				
		□17) 回転部や高温部等の危険箇所	-			
			して、適切な対策を施していることが確認できる。			
			こついて提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。			
		□20) その他 (
		<u>埋由</u> :		J		
		● 和山林芒 月、沙柱				
		●判断基準 評価値が 80%以上・・・・・・	・・a ① 当該「評価対象項目」のうち、対			
		評価値が 60%以上80%未満・・・	② 削除項目のある場合は削除後の評	平価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価	iする。	
		評価値が 60%以上80%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■ ③ 評価値(%)=該当項日級	文()/評価対象項目数() 5 2 項目以下の場合はc評価とする。		
			・・ c ④ なお、削除後の評価対象項目数が	・4 匁日以「の物口はC計画とする。		

考貨児	上種	a	b	С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない。	□ 品質関係の測定方法又は測	□ 契約書第17条に基づき、
	通信設備工事	●評価対象項目			定値値が不適切であったた	監督職員が改造請求を行っ
Ⅱ. 品質	・受変電設備	□1) 製作着手前に、品質や性能の確保に係る	技術検討を実施している。		め、監督職員が文書で改善	た。
	工事	□2) 材料・部品の品質照合の結果が、品質保	証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書	の仕様を満足している。	を指示した。	
		□3)機器の品質、機能及び性能が、設計図書	を満足し、成績書にまとめられている。			
	※上記欄によ	□4) 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとお	り配置され、正常に作動することが確認できる。			
	らず、当該欄	□5)ケーブル及び配管の接続などの作業が施	工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具	合が無い。		
	で評価	□6)設備の機能及び性能が設計図書の仕様を	満足している。			
		□7)操作制御関係の機能及び性能が、仕様を	満足しているとともに、必要な安全装置及び保護	装置の作動が確認できる。		
		□8)設備の総合性能が、設計図書の仕様を満	足している。			
		□9) 現場条件によって機器(製品)の機能及び				
		□10)設備全体についての取扱い説明書を適切				
		□11) 完成図書で定期的な点検や交換を要する	部品及び箇所を明示している。			
		□12) 設備の構造において、点検や消耗品の取	替え作業が容易にできる。			
		□13)障害、災害発生を想定した代替機能、迂	回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認	している。		
		□14) 設備の耐震設計について、受注者自らが	確認、精査したことが確認できる。			
		□15) その他 ſ)		
		理由:		J		
		●判断基準			<u> </u>	
		評価値が 80%以上・・・・・・a	① 当該「評価対象項目」のうち、対象			
		評価値が 60%以上80%未満・・・・ b		項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で記) /評価対象項目数 ()	評価する。	
		評価値が 60%未満・・・・・・c	4 なお、削除後の評価対象項目数が2			
	維持・修繕	а	b	С	d	e
	工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない。	□ 品質関係の測定方法又は測	□ 契約書第17条に基づき、
		●評価対象項目			定値値が不適切であったた	監督職員が改造請求を行っ
	※上記欄によ	□1)常に緊急的な作業に対応できる体制を整	えている。		め、監督職員が文書で改善	た。
	らず、当該欄	□2) 緊急的な作業に対し、迅速に対応してい	る。		を指示した。	
	で評価	□3)監督職員の指示事項に対し、現地状況を	勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど	、積極的に取り組んでいる。		
		□4) 施工後のメンテナンスに対する提言や修	繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。			
		□5)理由:				
		□6)理由:				
		□8)理由:				
		口 0 / 座田 .				
		●判断基準				
		※該当項目が6項目以上・・・a				
		※該当項目が4項目以上・・・b				
		※該当項目が3項目以下・・・c				
		分 到針の4項目を3個の部件具を項目1.1	この地に落ウ頂目も当加しマ部ケニュュ かしょう			
			この他に適宜項目を追加して評価するものとする			
		ただし、評価対象項目は最大8項目とする	0			

考查項目	細別	対 応 事 項	(監 貨 城 貝) 【 事 例 】 具 体 的 な 施 工 条 件 等 へ の 対 応 事 例
4. 工事特性	Ⅰ. 施工条件等へ	I構造物の特殊性への対応	(1. について)
	の対応	□ 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事□ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事□ 3. その他	切土の土工量:20万m3以上、盛土の土工量:15万m3以上、橋梁下部工高さ:30m以上、橋梁上部工の最大支間長:100m以上、トンネル(シール*)の直径:8m以上、トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:100m2以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積:300m2以上、港岸・築堤の平均高さ:10m以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上、浚渫工の浚渫土量:100万m3以上砂防ダムの堤高:15m以上、流路工の計画高水流量:500m3以上、地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上、ダムの堤高:150m以上、転流トンネルの流下能力:400m3/s以上、ダム用水門の設計水深:25m以上種門又は樋管の内空断面積:15m2以上、揚排水機場の吐出管径:2,000mm以上、堰又は水門の扉体面積:50m2/門以上(2.について)・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。・供用中の道路トンネルの活線拡幅工事。(3.について)・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。
		II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応	・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。 (4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について) ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行等の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、特に早期の完成が求められる工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10. について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
			(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13. について) ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険河川(労働安全衛生規則第五百七十五条の九〜第五百七十五条の十六)における工事。 (14. について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15. について) ・維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事。 (16. について) ・老の他、自然条件又は地盤条件等への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		□ 17.12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 □ 18.その他(※上記の対応事例に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
	評価	評点:	

考 査 項 目	細 別	工 夫	事 項
5. 創意工夫	I. 創意工夫	【施工】	
		□1)施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。	「働き方改革」では、当該工事において、他の模範となるような取組を評価する。
		□ 2) コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。	□ 若手や女性技術者の登用、職場体験やインターンシップなど、担い手確保に向けた取組が
		□3) 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。	図られている。
		□ 4) 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。	25/0 C 00
		□ 5)設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。	【建設キャリアアップシステム (CCUS)活用】
		□ 6) 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。	□ 当該工事において「建設キャリアアップシステム活用工事実施要領」を適用し、以下の①~②
		□7)照明などの視界の確保に関する工夫。	すべてを達成した場合は1点の加点とする。
		□8)仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。	① 施工体制登録技能者率60%以上
		□ 9) 運搬車両、施工機械等に関する工夫。	② 就業履歴情報の蓄積環境を全工事期間維持
		□10)支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。	②
		□10 文末工、空件工、定場工、仮技備、復工板、田田の寺の仮設工に関する工夫。 □11) 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。	【建設DX活用】
		□12) 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。	□ 当該工事において、①または②の <u>いずれかを</u> 実施するとともに、③~⑥のうち1項目以上
		□13) 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。	を実施した。 ※本項目は1点の加点とする。
		□14) 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。	□ 当該工事において、①及び②の <u>両方を</u> 実施するとともに、③~⑥のうち1項目以上
		□15) ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの <u>指定した段階</u> でICTを活用した工事。	を実施した。 ※本項目は <u>2点の加点</u> とする。
		※本項目は <u>1点の加点</u> とする。	【必須項目】
		□16) ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの <u>全ての段階</u> で ICTを活用した工事。	①「ASP方式の工事情報共有システム」を活用。
		※本項目は <u>2点の加点</u> とする。 ※本項目は <u>2点の加点</u> とする。	②「オンライン電子納品」を実施。
		※ICT活用による加点は最大2点の加点とする。	【選択項目】
			③「遠隔臨場」を実施。
		【品質】	④「Web会議システムを活用した打合せ等」を実施。
		□1)土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。	⑤「デジタル工事写真の小黒板情報電子化」を実施。
		□2) コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	⑥ その他ICT・デジタル技術を活用した業務効率化の取組を実施。
		□3)鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。	※宇部市では【必須項目】②及び【選択項目】③④⑤については、評価対象外とする。
		□4)配筋、溶接作業等に関する工夫。	
		【安全衛生】	【その他】
		□1) 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。	□ その他
		□2) 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、	
		手摺り、足場等)	□ 理由: □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
		□3)安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。	□ その他
		□4) 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。	
		□5) 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。	し 理由:
		□6)一般車両突入時の被害軽減方策又は、一般交通の安全確保に関する工夫。	
		□7)厳しい作業環境の改善に関する工夫。	
		□8)環境保全に関する工夫。	
		[Alabert on Long 21 Among 10] and Long 10 PH 11 Long 2 and Among 20 PH 11 Long 2 and Among 2 PH 2 Amo	
	記述評価	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載	
	(レマークを付し		
	た評価内容を詳	·	
	細記述)		
\ \ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		上東風な加点製無子で	

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1、2、3点で評価し、<u>最大3点の加点評価</u>とする。ただし、<u>「ICT活用工事、働き方改革、CCUS活用、建設DX活用」の場合は、最大5点の加点評価</u>とする。
- ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- ※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。

				7.11 IN 277
考查項目	細 別		事項	
6. 社会性等	Ⅰ. 地域への貢献等			
考 查 項 目 6. 社会性等	I. 地域への貢献等		・地域とのコミュニケーションを図った。 政などによる救援活動への積極的な協力を行った。	
	記述評価 (レマークを付した評価内容を詳細記述)			
	IML147. G 时/MICKE/			
		評 点:		

	, Ta D E/: -1:		
	日 日 一 覧 表		
10. mg - t - 22.	L 300		
措置内容	点数		
□ 1. 指名停止 3 ヶ月以上	— 20点		
□ 2. 指名停止 2 ヶ月以上 3 ヶ月未満	— 15点		
□ 3. 指名停止 1 ヶ月以上 2 ヶ月未満	- 13点		
□ 4. 指名停止 2 週間以上 1 ヶ月未満	- 10点		
□ 5. 文書注意	- 8点		
□ 6. 口頭注意	- 5点		
□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、	- 3点		
口頭注意以上の処分が行われなかった場合(不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)			
□ 8. その他 (- 点		
_ 理由: 丿			
□ 9. 項目該当なし			
② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。			
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を		たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の野		たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を		たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社のほ ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】		たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。		たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。	行う。	たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。	行う。	たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し 	行う。	たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理解を設定している技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 	行う。	たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理解を計算している。 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を関係。 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6.一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 	行う。	たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理解を設定しています。 (1) 「上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。	行う。	たって下請契約し、それを履行す	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6.一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。	行う。		するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。	行う。		するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6.一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10.下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延防止法第4条に規定	行う。 た。 する親事業者の遵守事項に違反	[する行為がある。	するために従事する者に限定する。
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延防止法第4条に規定 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。	行う。 た。 する親事業者の遵守事項に違反 弟等の暴力団関係者がいること	でする行為がある。 ・が判明した。	
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6.一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10.下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延防止法第4条に規定11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業含	行う。 た。 する親事業者の遵守事項に違反 弟等の暴力団関係者がいること	でする行為がある。 ・が判明した。	
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し、当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延防止法第4条に規定11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する	行う。 た。 する親事業者の遵守事項に違反 弟等の暴力団関係者がいること 法律」第9条に記されている研	でする行為がある。 ・が判明した。	
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の理 ④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し、当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延防止法第4条に規定11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。	行う。 た。 する親事業者の遵守事項に違反 弟等の暴力団関係者がいること 法律」第9条に記されている研	でする行為がある。 ・が判明した。	
③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の3 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8.その他の項目で減ずる措置を【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明し5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金遅延防止法第4条に規定11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業含13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団関係企業が入っていることが判明した。	行う。 た。 する親事業者の遵守事項に違反 弟等の暴力団関係者がいること 法律」第9条に記されている研	でする行為がある。 ・が判明した。	

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

考查項目 細 別	a	b	С	d	е				
2. 施工状況 I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている				
	●評価対象項目			□ 施工管理について、監督	□ 施工管理について、監督				
	□1)契約書第18条第1項第1号~5号に基づ	づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。		督職員が文書による改善	督職員からの文書による				
	□2) 施工計画書が工事着手前又は施工方法が研	権定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、	、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなって	指示を行った。	改善指示に従わなかった。				
	いることが確認できる。			!					
	□3) 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容	Fと現場施工方法が一致していることが確認できる。		!					
	□4) 現場条件又は計画内容に重要な変更を生 l	ごた場合 (工期や数量等の軽微な変更を除く) は、その都度当該	工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。	, ,					
	□5) 工事材料の品質に影響がないよう工事材料	4を保管していることが確認できる。		!					
	□6)段階確認等の手続きを事前に行っているこ	ことが確認できる。		!					
	□7)建設副産物の再利用等への取り組みを行っ	っていることが確認できる。		!					
	□8) 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に溶	!							
	□9) 下請けに対する引き取り(完成) 検査を書	!							
	□10) 工事関係書類を過不足なく作成しているこ	!							
	□11) 社内の管理基準の設定、管理方法が工種領	長に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認でき	3°	!					
	□12) 電気設備等について、設備更新時の新旧記	设備の切り替え作業を、作業手順書やチェックリストにより適切 の切り替え作業を、作業手順書やチェックリストにより適切	 に実施していることが確認できる。	!					
	□13)その他 🗍)		!					
	理由:			!					
	(!					
				'					
	●判断基準	!							
	評価値が 90%以上・・・・・ a	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除す	۲۵.	!					
	評価値が 80%以上90%未満・・・・ b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として記		!					
		③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目		!					
	評価値が 80%未満・・・・・・c	④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc詎	半価とする。	!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
				!					
		!							
		!							
1				•	i				

考 査 項 目	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	□ 出来形の測定が、必要な測定	□ 出来形の測定が、必要な測定	□ 出来形の測定が、必要な測定	□ 出来形の測定が、必要な測定	□ 出来形の測定が、必要な測定	□ 出来形の測定方法又は	□ 出来形の測定方法又は
	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	測定値が不適切であっ	測定値が不適切であった
I . 出来形	に基づき行われており、測定	に基づき行われており、測定	に基づき行われており、測定	に基づき行われており、測定	に基づき行われており、測定	たため、監督職員が文	ため、検査職員が修補指
	値が規格値を満足し、そのば	値が規格値を満足し、そのば	値が規格値を満足し、そのば	値が規格値を満足し、そのば	値が規格値を満足し、a~b'	書で指示を行い改善さ	示を行った。
	らつきが規格値の概ね50%	らつきが規格値の概ね50%	らつきが規格値の概ね80%	らつきが規格値の概ね80%	に該当しない。	れた。	
	以内で、下記の「評価対象項	以内で、下記の「評価対象項	以内で、下記の「評価対象項	以内で、下記の「評価対象項			
	目」の4項目以上が該当する。	目」の3項目以上が該当する。	目」の3項目以上が該当する。	目」の2項目以上が該当する。			
	●評価対象項目		-				
	□1) 出来形管理が、出来形管理	図及び出来形管理表により確認できる	5.				
	□2) 社内の管理基準に基づき管						
	□3) 不可視部分の出来形が写真						
	□4)写真管理基準の管理項目を						
			力学の「必然冊」でいてとしばゆ詞で	÷. 7			
		(いない上種について、監督職員とは	â議の上で管理していることが確認で -	さる。			
	□ 6) その他 (
			J				
	※ ばらつきの判断は別紙-3参照	0					
					\neg		
	① 出来形は、工事全般を通						
		示された工事目的物の形状及び寸法を工事施工管理基準」の測定項目 測定	いっ。 基準及び規格値に基づき所定の出来形	を確保する管理体系である			
		ていない工事は、「c」評価とする。	本年及り	と 神子 から 日本 中小 くのから			

考 査 項 目	工 種	а	a'	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	bよりも優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
		●評価対象項目				•	□ 出来形の測定方法又は	□ 出来形の測定方法又は
I . 出来形		□1) 据付に関する出来形管	理が、出来形管理図及び出来形	/管理表により確認できる。			測定値が不適切であっ	測定値が不適切であった
	※上記欄によらず、当	□2)設備全般にわたり、形	状及び寸法の実測値が許容範囲	目内であり、出来形の確認ができ	る。		たため、監督職員が文	ため、検査職員が修補指
	該欄で評価	□3) 施工管理基準の撮影記	!録が撮影基準を満足し、出来用	彡の確認ができる。			書で指示を行い改善さ	示を行った。
		□4) 設計図書で定められて	いない出来形管理項目について	て、監督職員と協議の上で管理し	ていることが確認できる。		れた。	
		□5) 不可視部分の出来形が	写真で確認できる。					
		□6) 溶接管理基準の出来形	管理が適切にまとめられており)、出来形の確認ができる。				
		□7) 塗装管理基準の塗膜厚	管理が適切にまとめられており)、出来形の確認ができる。				
		□8)社内の管理基準に基づ	iき管理していることが確認でき	きる。				
		□9) 設計図書に定められて	いる予備品に不足がないことか					
		□10)分解整備における既設	部品等の摩耗・損傷等について					
		□11) その他 🕻						
		理由:						
		●判断基準						
		評価値が 90%以上・・・	a					
		 評価値が 80%以上90%未済	尚····a' □ 当詞	-to (a () -t l lebe - t lo a -tt)				
		 評価値が 70%以上80%未済	# 1	余項目のある場合は削除後の評価 HT値(%)=該当項目数(項目数を母数として計算した比) /評価対象項目数(
		 評価値が 60%以上70%未済	0 "	は、削除後の評価対象項目数が2		· II		
		評価値が 60%未満・・・	c					
	電気設備工事	a	a'	b	b'	С	d	е
	通信設備工事・受変電	優れている	bよりも優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	設備工事	●評価対象項目					□ 出来形の測定方法又は	□ 出来形の測定方法又は
		□1) 据付に関する出来形管	理が、出来形管理図及び出来刑	/管理表により確認できる。			測定値が不適切であっ	測定値が不適切であった
	※上記欄によらず、当	□2)機器等の測定(試験)	結果が、その都度出来形管理図	及び出来形管理表などに記録さ	れ、適切に管理していることな	が確認できる。	たため、監督職員が文	ため、検査職員が修補指
	該欄で評価	□3) 写真管理基準の管理項	[目を満足している。				書で指示を行い改善さ	示を行った。
		□4) 不可視部分の出来形が	写真で確認できる。				れた。	
		□5) 設計図書で定められて	いない出来形管理項目について	て、監督職員と協議の上で管理し	ていることが確認できる。			
			状、寸法の実測値が許容範囲内					
				おり施工していることが確認で	きる。			
			書又は承諾図書通り敷設してい	\$ - 2 PAPE 1 C \$ 0				
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	札がケーブルなどに分かり易く					
				↑図書の仕様を満足していること 	が確認できる。			
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	うき管理していることが確認でき いえる#5.2002でロバグル					
		□12) 設計図書に定められて		引における不可抗力を想定した安	・人は答ぶんとしていて			
		□13) 高温部等の危険個所へ	·Ⅵ―里衣小、―里뗏픊なと連月	日にわける小円抓刀を忠定した女	(生対東がなされている。			
)			
		●判断基準						
	1	T /m /- 12 0 / D. [1	
		評価値が 90%以上・・・		- Combanda				
		評価値が 80%以上90%未済	描····a	該「評価対象項目」のうち、評価 全項目のある場合け削除後の評価				
		評価値が 80%以上90%未済 評価値が 70%以上80%未済	満・・・・a' ① 当 ② 削 ③ 評	該「評価対象項目」のうち、評価 除項目のある場合は削除後の評価 価値(%)=該当項目数	項目数を母数として計算した比			
		評価値が 80%以上90%未済	満・・・・a' ① 当 ② 削 ③ 評 本 4	除項目のある場合は削除後の評価	項目数を母数として計算した比() /評価対象項目数()		

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С		d	е
3. 出来形	[1]	□ 品質関係の試験結果のは	ずらつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>			品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	コンクリート	[関連基準、土木工事施]	L管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	構造物工事	※ ばらつきの判断は別	別紙-3参照。					員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目						た。	
Ⅱ. 品質		□1) コンクリートの配合詞	試験及び試験練りを行っており、	コンクリートの品質(強度・w/	c、最大骨材粒径、塩化物総量	は、単位水量、アル	カリ骨材		
		反応抑制等) が確認で	できる。						
		□2) コンクリート受け入れ	n時に必要な試験を実施しており	、温度、スランプ、空気量等の	測定結果が確認できる。				
		□3) 圧縮強度試験に使用し	したコンクリート供試体が、当該	该現場の供試体であることが確認	できる。				
		□4)施工条件や気象条件に	こ適した運搬時間、打設時の投入	高さ及び締固め方法が、定められ	ιた条件を満足していることがδ	確認できる。			
		(寒中及び暑中コンク	クリート等を含む)						
		□5) コンクリートの圧縮弧	歯度を管理し、必要な強度に達し	た後に型枠及び支保工の取り外	しを行っていることが確認でき	る。			
		□6) コンクリートの打設前	前に、打継ぎ目処理を適切に行っ	っていることが確認できる。		① 当該「評価	正対象項目 L のらう		
		□7) 鉄筋の品質が、証明書	書類で確認できる。					っ、計画対象外の項目は削戻する。 後の評価項目数を母数として計算し7	と比率(%)計算の値で評価する。
		□8) コンクリート打設まで	でにさび、どろ、油等の有害物だ	ぶ鉄筋に付着しないよう管理して	いることが確認できる。	③ 評価値(頁目数 () /評価対象項目数 (· II I
		□9)鉄筋の組立及び加工だ	が、設計図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。		④ なお、削除	徐後の評価対象項Ⅰ 	目数が2項目以下の場合はc評価とて	73.
			作業員の技量確認を行っているこ						
			が、設計図書の仕様を満足してV			г	●判断基準	19 X 3 adultie = 6 Ma	
			び個数が、設計図書の仕様を満足	としていることが確認できる。				ばらつきで判断可能	よわこえ ばらつきで判断不可能
		□13) 有害なひび割れが無V	, , ,			-	90%以上	, , ,	oを超える b b
		□14) その他 (75%以上90%5		b' b'
		理由:			J	I	価 60%以上75%ラ		ССС
							60%未満	b' c	c c
		「コンカリート構造物具質確保	:ガイドの適用範囲に示される構	生物门		注試験結	ま果の打点数等が少れ	──┴───┴── よくばらつきの判断ができない場合は評	
				と適切に行っていることが確認で	きろ				
				こだがれていなければ、上記1)~	-	評価とする。			
-			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	Ι ,	,,,	1		,	
	[2]	a DEFERMANA	a'	b (57/17/4) 2 2 Marks 1-7	b'	С		d LEEF の測点上注コル測点は	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
	土工事			状況(評価値)から判断する。	< 判断基準参照 >			品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	(切土、盛土、		L管理基準、その他設計図書に	ためられた武鞅 」				が不適切であったため、監督職員が企業でおった。	
	堤防等工事)	※ ばらつきの判断は別●評価対象項目	刊載一 3 参照。 ————————————————————————————————————					員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
			こらないように、排水対策を実施	こしていることが確認できる				た。 	
			Eづき行っていることが確認でき			II .		、評価対象外の項目は削除する。	
				: つ。 さないように施工していることだ	が確認できる	② 削除項目 ℓ③ 評価値(後の評価項目数を母数として計算した 夏目数()/評価対象項目数(
			められた条件を満足していること かられた条件を満足していること				/-/	目数が2項目以下の場合はc評価とす	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			し厚を管理していることが確認っ						
			を設計図書に定められた条件で行	•			●判断基準		'
		□7)構造物周辺の締固める	を設計図書に定められた条件で行	行っていることが確認できる。				ばらつきで判断可能	No. of the later was a fine
		 □8) 土羽土の土質が設計図	図書を満足していることが確認っ	ごきる。				50%以下 80%以下 80	がを超える ばらつきで判断不可能
		□9)CBR試験などの品質	質管理に必要な試験を行っている	ことが確認できる。			90%以上	a a'	b b
		□10) 法面に有害な亀裂が無	無い。				評 75%以上90%	未満 a' b	b' b'
		□11) 伐開除根作業が設計図	図書に定められた条件を満足して	ていることが確認できる。			値 60%以上75%		сс
		□12)その他 🕻)		60%未満		СС
		理由:			J	注 試験	結果の打点数等が少 -	なくばらつきの判断ができない場合は話	平価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目	工種	а	a'		b		b'		С	d	е
3. 出来形	[3]	□ 品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の)履行状況(評価値))から判断する。	<判断基準	参照>			□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	護岸・根固・	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図	図書に定められた試	験]					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	水制工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。							員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目								た。	
Ⅱ. 品質		□1) 施工基面を平滑に仕上	げていることが確認でき	る。							
		□2) 裏込材及び胴込めコン	クリートの締固めを、空	隙が生じないよう十	分に行っているこ	ことが確認で	きる。				
		□3)緑化ブロック、石積(〔張〕、法枠、かごマット	等における材料のか	み合わせ又は連絡	昔を、裏込材	の吸出しが無い	よう行っていること	が確認できる。		
		□4) 石積(張) 工において	、大きさ及び重さが設計	図書の仕様を満足し	ていることが確認	恩できる。					
		□5)護岸工の端部や曲線部	『の処理が適切であり、必	要な強度及び水密性	を確保しているこ	ことが確認で	きる。				
		□6) 遮水シートが所定の幅	で重ね合わせられ、端部	処理が設計図書の仕	様を満足している	5ことが確認	できる。				
		□7)植生工で、植生の種類	i、品質、配合及び養生が	設計図書の仕様を満	足していることが	「確認できる。					
		□8)根固工、水制工、沈床	工、捨石工等において、	材料の連結及びかみ	合わせが設計図書	書の仕様を満.	足していること	が確認できる。			
		□ □ 9)指定材料の品質が、証	-								
		□10) 基礎工において、掘り									
		□11) コンクリートブロック									
		□12)施工にあたって、床堀				ごきる。					
		□13) 埋戻し材料について、		(いることが催認で	さる。						
		□14) 有害なひび割れが無い □15) その他 (٥,)				
		□15) その他 理由:									
		<u>жн.</u>)				
		 [コンクリート構造物品質確保	ガイドの適用範囲に示され	ιる構造物]							
		 □16) ひび割れ発生状況の初	期観察・観察、調査及び	補修を適切に行って	いることが確認で	ごきる 。					
		□ ※ひび割れが補修基準に	達している場合、補修が	適切に行われていな	ければ、上記1)~	~16)の評価に	よらず、d又に	te評価とする。			
				一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	部/生みりの西口	ルルルドクナフ					
			ll l	i対象項目」のうち、)ある場合は削除後の				草の値で評価する。			
			II =	%)=該当項目							
			④ なお、削除	後の評価対象項目数	が2項目以下の場	場合は c 評価 d	とする。 				
			•	判断基準							
					ばら	つきで判断可	能	ばらつきで判断不可能	-		
					50%以下	80%以下	80%を超える	13 7 7 7 7 7 110			
				90%以上	a	a'	b	b			
			評	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'			
			値	60%以上75%未満	b	b'	С	С			
				60%未満	b'	С	С	С			
			注 試験結果	の打点数等が少なく	ばらつきの判断が	できない場合	がは評価対象項目	(評価値) だけで評	価する。		

考查項目	工種	a	a'		b		b'		С	d	е
3. 出来形	[4]	□ 品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項	頁目の履行料	犬況(評価値)から判断す	る。<判断基準	準参照>	•		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	鋼橋工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他認	と計図書に対	定められた試験]					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(RC床版工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。							員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
	はコンクリー	●評価対象項目								た。	
Ⅱ. 品質	ト構造物に準	 【工場製作関係】									
	ずる)	 □1)鋼材の種別、品質を適	正に管理している。								
		 □2)溶接作業にあたり、作	業員の技量確認を行	っているこ	とが確認できる。						
		 □3)溶接作業にあたり、溶	接材料の使用区分が	設計図書の	仕様を満足していることが	確認できる。					
		 □4)溶接施工に係る施工計	画書を提出している	ことが確認	できる。						
		 □5)孔空けによって生じた				ることが確認で	ごきる。				
		 □6)欠陥部の発生が見られ	ないことが確認でき	る。							
		 □7) 塗装作業にあたり、塗	布面を十分に乾燥さ	せて施工し	ていることが確認できる。						
		 □8)素地調整を行う場合、				ることが確認で	できる。				
		 □9) 塗料の空缶管理につい	て写真等で確実に空	であること	が確認できる。						
		 □10) 塗料の品質が出荷証明	書、塗料成績表によ	り、製造年	月日、ロット番号、色彩、						
		□11) その他 🕻)				
		理由:					J				
		【架設関係】									
		□1) ボルトの締付確認が実	施され、記録を保管	しているこ	とが確認できる。						
		□2)ボルトの締付機及び測	定機器のキャリブレ	ーションを	実施していることが確認で	きる。					
		□3) 高力ボルトの締め付け	を、中心から外側に	向かって行	っていることが確認できる						
		□4) 高力ボルトの品質が、	証明書類で確認でき	る。							
		□5)支承の据付で、コンク	リート面のチッピン	グ及び仕上	げ面に水切勾配がついてい	ることが確認で	ごきる 。				
		□6)架設にあたって、部材	の応力と変形等を十	分検討して	いることが確認できる。						
		□7)架設に用いる仮設備及	び架設用機材につい	て品質、性	能が確保できる規模及び強	度を有して確認	忍していることが値	雀認できる。			
		□8) 現場塗装部のケレン及	び膜厚管理を適切に	行っている	ことが確認できる。						
		□9)現場塗装において、温	度、湿度、風速等の	確認を行っ	ていることが確認できる。		_				
		□10) その他 🕻									
							J				
					項目」のうち、評価対象外 <i>の</i>						
			ll l		場合は削除後の評価項目数を			算の値で評価する	5.		
			③ 評価 [*] ④ なお		%)=該当項目数()/ 評価対象項目数が2項目以T						
			9,44	11101100	11 m/4 3/ 7 F 3/10/11	- 700 100 0 111	<u>д</u> с				
				■ ylatika: #F	ut:						
				●判断基		8 - + Marillar			_		
						らつきで判断		ずらつきで判断不可	能		
					50%以下	80%以下	80%を超える				
				₃₇₇	90%以上 a	a'	b	b			
				価	以上90%未満 a'	b	b'	b'			
					以上75%未満 b	b'	С	С			
					60%未満 b'	С	С	С			
			注 試験	結果の打点	数等が少なくばらつきの判断	ができない場	合は評価対象項目	(評価値) だけ	で評価する。		
										L	

考查項目	工種	a	a '	b	b'	С		d		е	
3. 出来形	[5]	□ 品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>		□ 品質関係の	測定方法又は測定	直 🗆 品質	質関係の測定方法又	は測定値
及び	砂防構造物工事	[関連基準、土木工事施工	二管理基準、その他設計図書に	定められた試験]			が不適切で	があったため、監督	哉 がオ	下適切であったため	、検査職
出来ばえ	及び	※ ばらつきの判断は別	川紙-3参照。				員が文書で	指示を行い改善さ	ı 員カ	ぶ補修指示を行った	
	地すべり防止	●評価対象項目					た。				
Ⅱ. 品質	工事(集水井	【共通】									
	工事を含む)	□1) コンクリートの配合試	弌験及び試験練りを行っており、	コンクリートの品質(強度・w/	c、最大骨材粒径、塩化物総量	、単位水量、アルカリ骨材					
		反応抑制等) が確認で	ごきる。								
		□2) コンクリート受け入れ	ι時に必要な試験を実施しており)、温度、スランプ、空気量等の	測定結果が確認できる。						
		□3) 圧縮強度試験に使用し	レたコンクリート供試体が、当 診	亥現場の供試体であることが確認	できる。						
		□4) 運搬時間、打設時の投入	入高さ、締固時のバイブレータの	の機種及び養生方法が、施工条件	及び気象条件に適しており、定	められた条件を満足してい					
		ることが確認できる。	(寒中及び暑中コンクリート等	等を含む)							
		□5) コンクリートの圧縮強	値度を管理しており、必要な強度	度に達した後に型枠及び支保工の	取り外しを行っている。						
		□6)地山との取り合わせを	と適切に行っていることが確認て	できる。							
		□7)鉄筋及び鋼材の品質を	と、適正に管理していることが確	雀認できる。							
		□8) 有害なひび割れが無い) ₀								
		□9) その他 🛭									
		理由:			J						
		【砂防構造物工事に適用】	. ()	And follows at 1 Admin 2 2							
				鉄筋に付着しないよう管理して	いることが確認できる。						
			、設計図書の仕様を満足してV	いることか確認できる。							
		□3)施工基面を平滑に仕上		- 1) % m/s = 1 - 2							
			は計図書の仕様を満足しているこ またより、記録を保禁しているこ								
			E施され、記録を保管しているこ	-							
		□ 5) ホルトの締竹機及び側□ 7) その他 (上機奋のイヤリノレーションを	と実施していることが確認できる	°						
		理由:									
		<u> </u>									
		【地すべり対策工事(抑止杭・	集水井戸工事を含む)】		ſ						
		-	と計図書の仕様を満足しているこ	ことが確認できる。		 当該「評価対象項目」の 削除項目のある場合は削 			た比率(%)	計質の値で評価する	
		□2) ライナープレートの組	且み立てにあたり、偏心と歪みに	ご配慮して施工していることが確	l l	③ 評価値 (%)=該	当項目数 ()	/評価対象項目数	()		
		□3) ライナープレートと地	也山との隙間が少なくなるように	に施工していることが確認できる	•	④ なお、削除後の評価対象	項目数が2項目以	以下の場合は c 評価と	する。		
		□4)集・排水ボーリングエ	この方向及び角度が、適正となる	るように施工上の配慮をしている	ことが確認できる。						
		□5) その他 🕻				●判断基準	•		'		
		理由:			J		ti	ざらつきで判断可能		The state of the s	
							50%以下	80%以下 80%	を超える	ばらつきで判断不可能	
						90%以上	a	a'	b	b	
						評 75%以上90%未	満 a'	b	b'	b'	
						価 60%以上75%未	満 b	b'	С	С	
						60%未満	b'	С	С	С	
						注 試験結果の打点数等が少な	- くばらつきの判断		価対象項目	(評価値) だけで評	価する。
							1				

考查項目	工種	а	a'	b	b'		С			d		e	
3. 出来形	[6]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行物	大況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>				品質関係の液	則定方法又は測定	値 🗆 昂	品質関係の測定方法又は	測定値
及び	舗装工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]					が不適切でな	あったため、監督	職しか	「不適切であったため、	検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。						員が文書で打	指示を行い改善さ	れ	員が補修指示を行った。	
		●評価対象項目							た。				
Ⅱ. 品質		【路床・路盤工関係】											
		□1)設計図書に定められた	試験方法でCBR値を測定して	いることが確認できる。									
		□2)路床及び路盤工のプル	ーフローリングを行っているこ	とが確認できる。									
		□3)路床及び路盤工の密度	管理が、設計図書の仕様を満足	していることが確認できる。									
		□4)路盤の安定処理は材料	が均一になるよう施工している	ことが確認できる。									
		□5)路盤の施工に先立って	、路床面、下層路盤面の浮き石	及び有害物を除去してから施工	していることが確認できる。								
		□6)路床盛土において、一	層の仕上がり厚を20cm以下	とし、各層ごとに締固めて施工	していることが確認できる。								
		□7)路床盛土において、構	造物の隣接箇所や狭い箇所にお	ける締固めが、タンパ等の小型	締固め機械により施工しているこ	ことが確認っ	できる。						
		□8) その他 (
		理由:			J								
		【アスファルト舗装工関係】											
		□1)アスファルト混合物の	品質が、配合設計及び試験練り	の結果又は事前審査制度の証明	書類により確認できる。								
		□2)舗装工の施工にあたっ	て、上層路盤面の浮き石などの	有害物を除去していることが確	認できる。								
		□3)プラント出荷時、現場	到着時、舗設時等において、ア	スファルト混合物の温度管理を	記録していることが確認できる。								
		□4)舗設後の交通開放が、	定められた条件を満足している	ことが確認できる。									
			、設計図書に定められた数値以										
			置、構造物との接合面の処理等										
			運搬及び舗設にあたって、気象		できる。 -								
			仕様を満足していることが確認	できる。		① 当記	亥「評価対象	東項目」のうち	5、評価対象外	の項目は削除する	0		
		□9) その他 (%)計算の値で評価する。	
					丿					/評価対象項目数 ↓下の場合は c 評価			
		【			Į			H 1 1000 3 234 241					
		【コンクリート舗装工関係】	殿及び試験補りな行っており	コンカリートの日暦(強度・… /	, c、最大骨材粒径、塩化物総量、	用位业量	アルカリ点	в,					
		材反応抑制等)が確認		コングリートの町貝(風及・W/	C、取八月忉 位任、塩化忉松里、	平世小里、	7 72 70 7 E	1					
			て、上層路盤面の浮き石等の有	生物を除去してから施工してい	ストレが確認できる								
			時に必要な試験を実施しており										
			たコンクリート供試体が当該現	,,	7.00								
		,			こ~。 こ定められた条件を満足している	ことが確認	できる						
			コンクリートを敷均しているこ		-ye-y shoreskii e iiiqye o c . w	_ C 77 FF #C							
		1	を損傷などが発生しないよう保	,		_	●判断基準						.
		□8) その他 ()				ば	らつきで判断可能		(達さらき 本郷豚(不可袋)	
		理由:							50%以下	80%以下 80)%を超える	→ ばらつきで判断不可能 5	
						Γ	90	0%以上	a	a'	b	b	
								人上90%未満	a '	b	b'	b'	,
							価 60%以	人上75%未満	b	b'	С	С	
							"	0%未満	b'	С	С	С	•
						注 試験約	 吉果の打点数	女等が少なくに	ばらつきの判断	ができない場合は	評価対象項		ita。
									_ ,,				

(技術檢香職員)

						_					(12 州 快 宜 戦	貝/
考查項目	工種	a	a'	b	b'		С		d		e	
3. 出来形	[7]	□ 品質関係の試験結果のは	ずらつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する。	。<判断基準参照>			□ 品質関係の	測定方法又は測	定値 □ 品	質関係の測定方法又	は測定値
及び	法面工事	[関連基準、土木工事施]	I.管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切で	あったため、監	督職が	不適切であったため	、検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	川紙-3参照。					員が文書で	指示を行い改善	され	が補修指示を行った	0
		●評価対象項目						た。				
Ⅱ. 品質		【共 通】										
		□1)施工基面を平滑に仕_	上げていることが確認できる。	(特に法枠工、コンクリート又)	はモルタル吹付工関係)							
		□2)施工に際して、品質に	こ害となる施工面の浮き石やゴミ	ミ等を除去してから施工してい	ることが確認できる。							
		□3)盛土の施工にあたり、	法面の崩壊が起こらないよう約	帝固めを十分行っていることが?	確認できる。							
		□4)雨水による崩壊が起こ	こらないように、排水対策を実施	施していることが確認できる。								
		□5) その他 ()							
		_ 理由:			J							
		【種子吹付工、客土吹付工、村	直生基材吹付工関係】									
		□1) 土壌試験の結果を施□	工に反映していることが確認でき	きる。								
		□2) ネットなどの境界に降	隙間が生じていないことが確認で	できる。								
		□3) ネットなどが破損を	生じていないことが確認できる。									
		□4)吹付け厚さが均等であ	あることが確認できる。									
		□5)使用する材料の種類、	品質、配合等が設計図書の仕様	策を満足していることが確認で	きる。							
		□6)施工時期が定められた	た条件を満足していることが確認	忍できる。								
		□7) その他 (
		理由:			J							
		【コンクリート又はモルタル	欠付工関係】									
		□1)使用する材料の種類、	品質及び配合が、設計図書の作	仕様を満足していることが確認"	できる。							
		□2)金網の重ね幅が、10	0cm以上確保されていることだ	が確認できる。								
		□3)金網が破損を生じてV	いないことが確認できる。									
		□4)吸水性の吹付け面にお	おいて、事前に吸水させてからカ	施工していることが確認できる。	5							
		□5)吹付け厚さが均等であ	あることが確認できる。									
		□6)吹付け厚さに応じて 2	2層以上に分割して施工している	ることが確認できる。								
		□7)圧縮強度試験に使用し	したコンクリートの供試体が、当	当該現場の供試体であることがで	確認できる。							
		□8)不良箇所が生じない。	よう跳ね返り材料の処理を行って	ていることが確認できる。								
		□9) 法肩の吹付けにあたり	り、地山に沿って巻き込んで施口	Lしていることが確認できる。		II .	「評価対象項目」の				() 31 ft - th -= th 1	.
		□10) その他 (② 削除項 ③ 評価値		际後の評価項目3 当項目数()			ん)計算の値で評価する	٥.
		理由:			J	II .	削除後の評価対象					
		 【現場打法枠工関係(プレキュ	ャスト法枠工含む)】				1					
			品質及び配合が、設計図書の付	土様を満足していることが確認:	できる。	•	 判断基準			I		
		□2)アンカーを設計図書る	どおりの長さで施工していること	とが確認できる。			1 3.71 42 1	1:-	 ばらつきで判断可	`能		
		□3)現場養生が、設計図	書の仕様を満足するように実施る	されていることが確認できる。				50%以下	1	80%を超える	ばらつきで判断不可能	
		□4)強度試験に使用した。	コンクリート供試体が当該現場の	の供試体であることが確認でき	る。	<u> </u>	000/ DL F		a,		+	
		□5)枠内に空隙が無いこと	とが確認できる。				90%以上	a		b	b	
		□6)層間にはく離が無いる	ことが確認できる。			価	75 /6 K 1 50 /6 K 1		b	b'	b'	
		□7)不良箇所が生じない。	よう跳ね返り材料の処理を行って	ていることが確認できる。		値	` 		b'	С	С	
		□8) その他 ()		60%未満	b'	С	С	С	
		理由:			J	注 試験結果	₩の打点数等が少な。 •	くばらつきの判断	ηができない場合	·は評価対象項 I	目(評価値)だけで評	4価する。
	i						1			1		

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[8]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	基礎工事及び		管理基準、その他設計図書に	定められた試験]			が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	地盤改良工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。				具が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目		_			た。	
Ⅱ. 品質		【杭関係(コンクリート・鋼管	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1				
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		a 4.14.18 ±6.14 (a.1 1.) a	A them a second a large second			
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		D方法が整備されており、その記 ************************************	録を整埋していることが確認で	`さる。		
			本体を損傷していないことがで	-				
			設計図書を満足していることを て、設計図書の仕様を満足して					
			ことが、掘削深さ、掘削土砂等					
				+により確応してる。 2m以上挿入して施工しているこ	レが確認できる			
				用いる場合の孔内の安定液濃度並		していることが確認できる		
		,		設計図書の仕様を満足している				
		,		こ配慮して施工していることが確				
		┃ ┃ □11)裏込材注入の圧力など	が施工記録により確認できる。					
		□12)強度確認、セメントミ	ルクの比重管理などの品質に低	系わる事項の管理資料を整理して	いることが確認できる。			
		□13) その他 🕻)			
		理由:			J			
		【地盤改良関係】						
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		兼を満足していることが確認でき	- 0			
		·		管理資料を、整理していることが				
				量の設定等を行っていることが確 鱼度及び支持力を確保しているこ				
		□4) 旭工固別が均一に収良 □5) その他 (されているとともに、十分なり	B及及い文付力を帷休している。	こが作能できる。)			
		理由:						
		(<u>ÆH</u> .						
			 当該「評価対象 		け削除する			
			② 削除項目のある	場合は削除後の評価項目数を母数	として計算した比率(%)計算の	値で評価する。		
				%) =該当項目数 () /評価 評価対象項目数が2項目以下の場				
			④ なお、削除後の	計価対象項目数か2項目以下の場 	デロねて計価とりる。 			
			●判断基	準				
				ばらっ	つきで判断可能	つきで判断不可能		
				50%以下	80%以下 80%を超える	フさく刊削不可能		
				90%以上 a	a' b	b		
			評 75%	以上90%未満 a'	b b'	b'		
				以上75%未満 b	b' c	c		
				60%未満 b'	с с	c		
			注 試験結果の打点	数等が少なくばらつきの判断がて	できない場合は評価対象項目(評	価値)だけで評価する。		

(技術格香職員)

											(1文 州 快 宜 戦 貝)
考查項目	工 種	a	a'		b		b'		С	d	e
3. 出来形	[9]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目	の履行状況(評価値	直) から判断する	。<判断基準	作参照 >			□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	海岸工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計	図書に定められた詞	大験]					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。							員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目								一 た。	
Ⅱ. 品質		□1) コンクリートの圧縮強	度を管理し、必要な強	度に達した後に型枠	及び支保工の取り	外しを行って	こいることが確認っ	できる。			
		□2)運搬、打設、締め固め						-			
		□3) 圧縮強度試験に使用し									
		□ 4) コンクリートブロック									
		□5)転倒や崩壊等が無いよ				ス					
		□6) 捨石基礎の均し面を平				ω 0					
		□ 7) 工事期間中、1日1回は			辺できる						
		□ 8) 台風などの異常気象に			-	1.ハスァ しがな	生辺できる				
		□9) その他 (加ん (旭上刊(に胜無物)	月の惟休及い返歴以1	用の対象を再して	V 12) C C 1/3-1/1	im (さる。				
		理由:)				
				> = 1#65/04/7							
		[コンクリート構造物品質確保プ									
		□10) ひび割れ発生状況の初									
		□ ※ひび割れが補修基準に	達している場合、補修	が適切に行われていた	なければ、上記1)	~10)の評価	によらず、d又は	e評価とする。			
			① 当該「許	価対象項目」のうち	、評価対象外の項	目は削除する	5 .				
				のある場合は削除後				草の値で評価する。			
			③ 評価値 ④ なお、肖	(%)=該当項 除後の評価対象項目	目数()/評数が9項目以下の						
			⊕ 12.40°, H		<u> </u>	勿口はて肝臓	ЩС9⊙				
				判断基準							
					ばら	っつきで判断	可能				
					50%以下	80%以下	80%を超える	ごらつきで判断不可能			
			<u> </u>	90%以上	a	a,	b	b			
					+	b	b'	b'			
			ſī	5 2 ())	+ +	ь' b'	+ +				
			fi	·	+ +		С	С			
				60%未満	b'	c	С	С			
			注 試験結身	早の打点数等が少なく	ばらつきの判断が	ぶできない場合	合は評価対象項目	(評価値) だけで評	平価する。		

考查項目	工種	а	a'	b	b'		С		d		e	
3. 出来形	[10]	□ 品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対象項目の履行物	犬況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>			□ 品質関係の	測定方法又は測	『定値 □	品質関係の測定方法又は	は測定値
及び	コンクリート橋	[関連基準、土木工事施工	「管理基準、その他設計図書に気	定められた試験]				が不適切で	があったため、監		が不適切であったため、	、検査職
出来ばえ	上部工事	※ ばらつきの判断は別	川紙一3参照。					員が文書で	指示を行い改善	きされ	員が補修指示を行った。	,
	(PC及びRC	●評価対象項目						た。				
Ⅱ. 品質	を対象)	□1) コンクリートの配合詞	大験及び試験練りを行っており、	コンクリートの品質(強度・w/	c、最大骨材粒径、塩化物総量、	単位水量、	アルカリ骨材					
		反応抑制等) が確認て	ごきる 。									
		□2) コンクリート受け入れ	ι時に必要な試験を実施しており	、温度、スランプ、空気量等の	測定結果が確認できる。							
		□3) 圧縮強度試験に使用し	たコンクリート供試体が、当該	現場の供試体であることが確認	できる。							
		□4) 施工条件や気象条件に	道した運搬時間、打設時の投入高	高さ及び締固め方法が、定められ	ιた条件を満足していることが確	認できる。						
		(寒中及び暑中コンク	リート等を含む)									
		□5) コンクリートの圧縮強	態度を管理し、必要な強度に達し	た後に型枠及び支保工の取り外	しを行っていることが確認できる	5.						
		□6)鉄筋の品質を、適正に	ご管理していることが確認できる	0								
		□7)鉄筋の引張強度及び曲	おげ強度の試験値が、設計図書の	仕様を満足していることが確認	できる。							
		□8) コンクリート打設まて	ごにさび、どろ、油等の有害物が	鉄筋に付着しないよう管理して	いることが確認できる。							
			業員の技量確認を行っているこ	-								
			込計図書の仕様を満足してい									
		□11) コンクリートの養生が	ぶ、設計図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。								
			『個数が、設計図書の仕様を満足									
			プレクション管理が設計図書の仕 		-							
			引のキャリブレーションを事前に 									
			(ラウト注入管理値が、設計図書		-							
			手のコンクリート圧縮強度が、設 5の747701、#************************************		-							
			その確認は、構造物と同様な養生	条件におかれた供試体を用いて	いることが確認できる。							
		□18) 有害なひび割れが無い	10)							
		□19) その他 (□□19) コロー □□19 コロ □□19 コロー □□19 コロー □□19 コロ □□19 コロー □□19 コロー □□19 コロ □□19										
		<u>理由:</u>										
		 「コンクリート構造物品質確保 [、]	ガイドの適用範囲に示される構造	告物门								
]期観察・観察・調査及び補修を		きる。							
		□ ※ひび割れが補修基準に		行われていなければ、上記1)~	- 20)の評価によらず、d 又は e 評	価とする。						
												-
							『価対象項目』のうち			た比索(0/)	計算の値で評価する。	
					3	評価値			呼級として可募し 評価対象項目数		可好の個で呼叫する。	
					4	なお、削	除後の評価対象項目	数が2項目以下の	の場合はc評価と	:する。		
							************************************			ı		
							判断基準		ic of white	45		
									でりきで判断可能		ばらつきで判断不可能	
						F	000/101-1	50%以下	+	80%を超え	+	
							90%以上	a ,	a'	b	b	
						F	75%以上90%未清	+	b	b'	b'	
						ſi	F	+	b'	С	С	
						L	60%未満	b'	С	С	С	
						注 試験結果	果の打点数等が少なく ■	(ばらつきの判断	「ができない場合」	は評価対象項 	頁目(評価値)だけで評価	曲する。
	1	i e								ı		,

(技術檢香職員)

												(区 川 区 丘	1111/	
考查項目	工種	a	a'	b	b'			С		d		e		
. 出来形	[11]	□ 品質関係の試験結果の	のばらつきと評価対象項目の履行	「状況(評価値)から判断する。	。<判断基準参照>				品質関係の	測定方法又は	測定値 🗆 г	品質関係の測定方法	去又は測定値	
及び	塗装工事	[関連基準、土木工事族	施工管理基準、その他設計図書に	[定められた試験]					が不適切で	ぎあったため、	監督職 7	が不適切であったた	とめ、検査職	
出来ばえ		※ ばらつきの判断に	は別紙-3参照。						員が文書で	指示を行い改	善され	員が補修指示を行っ	った。	
		●評価対象項目							た。					
Ⅱ.品質		□1)塗装作業にあたり、	、塗布面を十分に乾燥させて施工	していることが確認できる。										
		□2)ケレンを入念に実施	施していることが確認できる。			II .		対象項目」のうち、						
		□3)天候状況の確認、気	気温及び湿度の測定を行い、塗装	作業を行っていることが確認で	きる。	II =	除項目の) 価値(後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 頁目数 () /評価対象項目数 () 目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。					
		□4) 塗料を使用前に撹拌	拌し、容器の塗料を均一な状態に	してから使用していることが確認	認できる。	-		7-7 10-1 7-11						
		□5)鋼材表面及び被塗物	装面の汚れ、油類等を除去し塗装	を行っていることが確認できる。				1						
		□6)塗料の空缶管理に~	ついて写真等で確実に空であるこ	とが確認できる。			●判	 断基準						
		□7) 塗り残し、ながれ、	、しわ等が無く塗装されているこ	とが確認できる。			● †!	161 45 11	14	らつきで判断可	TAL		7	
		□8)溶接部、ボルトの打	接合部分、構造の複雑な部分につい	いて、必要な塗膜厚を確保してい	いることが確認できる。				<u> </u>	1	1	ばらつきで判断不可能	£ .	
			証明書、塗料成績表により、製造				<u> </u>	000/1111	50%以下	80%以下	80%を超える		-	
		□10) その他 ()		≢जं	90%以上	a .	a'	b	b		
		理由:					評価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
							植	60%以上75%未満	b	b'	С	С		
								60%未満	b'	С	С	С		
						注 討	大験結果の	打点数等が少なく	ばらつきの判断	ができない場合	おは評価対象項	目(評価値)だけて	ご評価する。	
	[12]	a	a'	b	b'			С		d		e		
	トンネル工事		I のばらつきと評価対象項目の履行			I			 品質関係 <i>の</i>)測定方法又は	測定値 □ .			
			施工管理基準、その他設計図書に		1 41/1040 1 2 /111/2				が不適切であったため、監督職が不適切であった					
		※ ばらつきの判断に		-/C-> >401CH W/J				員が文書で指示を行い改善され			員が補修指示を行っ			
		●評価対象項目	2000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					た。	114.4.6.114.60					
			合試験及び試験練りを行っており、	コンクリートの品質(強度・w/	/ c 、最大骨材粒径 塩化物	勿総量、単位	水量、ア	ルカリ骨材	, 0					
		反応抑制等)が確認		THE PROPERTY OF THE PROPERTY O	物総里、単位小里、ノルカリ育材									
			入れ時に必要な試験を実施してお											
		□3) 圧縮強度試験に使用												
		□4)施工条件や気象条件												
			の配合及びロックボルトの種別、											
			れた岩区分(支保エパターン含む)											
			について、設計図書の仕様を満足					対象項目」のうち、			-	1.答のは不証年より		
			っており、その結果に基づいた施		る。	II =	陈頃目の 価値(削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。					
			5 c m以上重ね合わせて施工して		<u></u> 0			後の評価対象項目数						
			の施工にあたって、浮石等を除い		量の厚さが15cm以下で									
			う施工していることが確認できる。		1971 CW 1 0 0 MIG() C									
					していることが確認できる。		● ‡	判断基準			·			
		□11) 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 □12) ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。							Vã	ずらつきで判断	可能			
		□13) 防水工に防水シー				50%以下			ばらつきで判断不可能 ・ 超 える					
		行っていることが確				90%以上	a	a '	b	b	_			
		□ □14) 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないこ					 評	75%以上90%未満	-	b	b,	b'	-	
							価		+	b'	<u> </u>	-	\dashv	
		とが確認できる。				60%以上75%未満		b	С	С	-			
		□15) その他 (コロ) コロ (コロ						60%未満	b'	С	С	С		
		<u>理由:</u>		注試験結果の打		の打点数等が少なく	ばらつきの判断	所ができない場合	合は評価対象項	頁目(評価値)だけ [~]	で評価する。			

(技術 格 香 職 員)

					1								(技術) (技術)	メ 貝ノ
考查項目	工種	a	a'	b	b'			С			d		e	
3. 出来形	[13]	□ 品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>					品質関係の液	則定方法又は液	削定値 □	品質関係の測定方法	又は測定値
及び	植栽工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]						が不適切でな	あったため、閨	左督職	が不適切であったた	め、検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。							員が文書で打	旨示を行い改善	喜され	員が補修指示を行っ	た。
		●評価対象項目								た。				
Ⅱ. 品質		□1)活着が促されるよう管	理していることが確認できる。		e									
		□ 2) 樹木などに損傷、はち。	くずれ等が無いよう保護養生を	行っていることが確認できる。		① 当該	「評値	価対象項目」の	うち、	評価対象外の	項目は削除する) _o		
		□3)樹木等の生育に害のあ	る害虫等がいないことが確認て	ぎきる。									ら)計算の値で評価する	0
		□4)施工完了後、余剰枝の	剪定、整形その他必要な手入れ	を行っていることが確認できる。	,		i値(: iniii	%)=該 除後の評価対象		数() / がり項目以下				
		□ 5) 肥料が直接樹木の根に	触れないよう均一に施肥してV	ることが確認できる。	L	① 7x40	7 1130	が 及い 日 岡 八 多	1		<i>-уу</i> д Ц (ж С ц) [р	10,00		
		□ 6) 植生する樹木に応じて	、余裕のある植穴を堀り、植穴	C底部を耕していることが確認で	きる。		_		ı					
			よう設置していることが確認て				-	判断基準						_
			場所に据付けていることが確認						L	ば	らつきで判断す	可能	 ばらつきで判断不可能	<u> </u>
		□9) その他(77771-15111177 C. D.C.C.N.	. ())					50%以下	80%以下	80%を超え		
		理由:						90%以上	=	a	a'	b	b	1
		<u>ZH</u> .					評	75%以上90%	6未満	a'	b	b'	b '	
							仙	60%以上75%	6未満	b	b'	С	С	7
								60%未清	莳	b'	С	С	С	†
						注 試縣	結果	の打占数等が小	2727	ずらつきの判断	」 ができかい場合	- - - け評価対象	<u> </u>	」 『評価する
						LL PV9/	C/141 / IC	->11 W 3V (1 \(\)		× 2 2 C +2 [1]H1	17 CC -& + -///	10011 111111111111111111111111111111111		. н г рыд ј
			,	Ι ,	1,,				+		1			
	[14]	a a seem of a seem of the seem	a'	b b	b'			С		H 5500 W - Y	d		e e	> > > > > > + + + + + + + + + + + +
	防護柵(網)・			状況(評価値)から判断する。						則定方法又は液	-	品質関係の測定方法		
	標識・区画線等		管理基準、その他設計図書に						あったため、閨		が不適切であったため、検査職員が補係性子を行った。			
	設置工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					員が文書で指示を行				唇され	員が補修指示を行った	た。
		●評価対象項目								た。				
		,,,		「ブック等の規定を満足している	.,									
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		ルや不陸が生じないように施工し										
				ンクリートの規定を満足してい		① Ж 를	步 「雪瓜	(年) 4 年 日 1 7	カネナ	並無計 角 M の	項目は削除す	Z		
		□4) 防護柵等の支柱の施工	確認できる。	II .			のうち、評価対象外の項目は削除する。 は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価す				5.			
		□5)基礎設置箇所について	地盤の地耐力を把握して、施工	していることが確認できる。		③ 評価	西値 ((%) =	該当項	目数 () /	/評価対象項目	数 ()	. ,	
		□6)防護柵の支柱の根入長	が、設計図書の仕様を満足して	「いることが確認できる。		4 なま	お、削	除後の評価対象	象項目	数が2項目以下	「の場合は c 評	価とする。		
		□7)ガードケーブルを支柱	に取付ける場合、設計図書に定	どめられた所定の張力が与えてい	るのが確認できる。									
		□8) ガードケーブルの端末	支柱を土中に設置する場合、打	「設したコンクリートが設計図書	に定められた強度以上である。	ことが確認て	ごきる	0						
		□9)ペイント式(常温式)区	画線に使用するシンナーの使用量カ	「10%以下であることが確認で	きる。									
		□10) 区画線の厚さが見本等	で設計図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。			<u>●</u> #	判断基準						T .
		□11) 区画線施工後の昼間及	び夜間の視認性が設計図書の仕	:様を満足していることが確認で	きる。				L	ば	らつきで判断可	能		
		□12) 区画線の施工にあたっ	て、設置路面の水分、泥、砂じ	ん及びほこりを取り除いて行っ	ていることが確認できる。					50%以下	80%以下	80%を超え		
		□13) 区画線を消去の場合、	表示材 (塗料) のみの除去とな	こっており、路面への影響が最小	限となっていることが確認			90%以上	.	a	a'	b	b	
		できる。					評	75%以上90%	未満	a'	b	b'	b'	
		□14) プライマーの施工にあ	たって、路面に均等に塗布して	いることが確認できる。			価値	60%以上75%	未満	b	b'	С	С	1
		□15) 区画線の材料が、設計	図書の仕様を満足していること	が確認できる。			IIE	60%未満		b '	С	С	С	†
		□16) その他 🕻)	注 討脇	上上			こうきの判断:		<u> </u>	 項目(評価値)だけで	】 評価する
		理由:			J	1上 时间火	лн / Т	ィコ 灬	.4 / 14	、ファクロップ11時17	、 C C '4 V '7m □	TARI	スロ (町ЩIE/ /CV) (□	нішті Д°
		L												

(技術格香職員)

											(12 州 伊 宜 啾 貝)
考查項目	工種	a	a'		b		b'		c	d	e
3. 出来形 【	15]	□ 品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項	頁目の履行状況(評	価値)から判断する。	<判断基準	参照>	·		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び 電	電線共同溝工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設	計図書に定められ	た試験]					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。							員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
Ⅱ. 品質		□1) 指定材料の規格が、品	質を証明する書類で	確認できる						, 0	
п. нгд		□ 2) 管路の通過試験を行っ			「いろことが確認できる	5					
		□3)プラント出荷時、現場					ステレが確認で	キス			
		□4)特殊部の施工基面の支						G ⊅°			
		□ 5) 特殊部等の施工におい						対ポキフ			
						いより放放し	しいることが惟	応じさる。			
		□6)埋戻しにおいて、設計□5) 対状の作用などされる				カニーナフ					
		□7)舗装の復旧等が適時行									
		□ 8) 管枕及び埋設シートの				3できる。					
		□9)管設置において、それ	ぞれの管の最小曲げ	半径を満足している	ることが確認できる。		`				
		□10) その他 (
		_ 理由:					J				
			 当該「 	「証価対象項目」の	うち、評価対象外の項目	日内削除する					
			ll .		よその評価項目数を母数			算の値で評価する。			
			③ 評価値		当項目数()/評価						
			④ なお、	削除後の評価対象項	項目数が2項目以下の均	場合は c 評価	とする。				
				●判断基準							
				●刊例至中	123	へ 七 一次	TAN.				
					<u> </u>	つきで判断す		ばらつきで判断不可能			
				<u> </u>	50%以下	80%以下	80%を超える				
				90%以上	 	a'	b	b			
				75%以上90%	6未満 a'	b	b'	b'			
				値 60%以上75%	。未満 b	b'	С	С			
				60%未清	あ b'	С	С	С			
			注 試験	 結果の打点数等が少	〉なくばらつきの判断が	できない場合	おは評価対象項目	(評価値)だけで評	平価する。		

(技術檢香職員)

								(及 附 放 豆 椒 页)
考查項目	工 種	a	a '	b	b'	С	d	e
3. 出来形	[16]						□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	維持工事	●評価対象項目					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(清掃工、除草	□1)使用する材料の品質・	形状等が適切であり、かつ現場	景において材料確認を適宜・的で	確に行っていることが確認できる	00	員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
	工、付属物工、	□2) 構造物の劣化状況をよ	く把握して、適切な対策を施し	していることが確認できる。			た。	
Ⅱ. 品質	除雪、応急処				を行うなど積極的に取り組んでし	いることが確認できる。		
	理等)	□4) 緊急的な作業において	、迅速かつ適切に対応している	うことが確認できる。				
		□5)理由:						
		□6)理由:				_		
		□7)理由:						
		□8)理由:						
		●判断基準						
		※ 該当項目が6項目以上						
		※ 該当項目が5項目・・						
		※ 該当項目が4項目・・						
		※ 該当項目が3項目・・						
		※ 該当項目が2項目以下	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
		 注 記載の4項目を必須の評	- 『価対象項目とし、この他に適宜	I項目を追加して評価するもの。	とする。			
		ただし、評価対象項目は	は最大8項目とする。					
-	[17]	a	a'	b	b'	С	d	e
	修繕工事		a'	b	b'	С	□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	修繕工事 (橋脚補強、耐	●評価対象項目	I		ı	1	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・	 形状等が適切であり、かつ現場	】 易において材料確認を適宜・的A	b' 確に行っていることが確認できる	1	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	修繕工事 (橋脚補強、耐	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ	・ 形状等が適切であり、かつ現場 、く把握して、適切な対策を施し	またおいて材料確認を適宜・的で でいることが確認できる。	 確に行っていることが確認できる).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス	・ 形状等が適切であり、かつ現場 、く把握して、適切な対策を施し	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由:	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由:	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由:	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由:	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由:	上 形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施 に対する提言や修繕サイクル等	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由:	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施 に対する提言や修繕サイクル等	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	 ●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由: ●判断基準 ※該当項目が6項目以上 	形状等が適切であり、かつ現場 (大把握して、適切な対策を施し (対して、現地状況を勘案し、施 (に対する提言や修繕サイクル等	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由: □8)理由:	形状等が適切であり、かつ現場 (大把握して、適切な対策を施し に対して、現地状況を勘案し、施 はに対する提言や修繕サイクル等	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	 ●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由: ■判断基準 ※該当項目が6項目以上 ※該当項目が5項目・・ ※該当項目が4項目・・ 	形状等が適切であり、かつ現場 (大把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施 に対する提言や修繕サイクル等 ・・・・・ a ・・・・・ b ・・・・・ b	場において材料確認を適宜・的で していることが確認できる。 重工方法や構造についての提案を).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由: ■判断基準 ※ 該当項目が6項目以上 ※ 該当項目が4項目・・ ※ 該当項目が3項目・・ ※ 該当項目が2項目以下	形状等が適切であり、かつ現場 く把握して、適切な対策を施し 対して、現地状況を勘案し、施 に対する提言や修繕サイクル等 ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・	品において材料確認を適宜・的でいることが確認できる。 正工方法や構造についての提案を を勘案した提案等を行っている。	確に行っていることが確認できる を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋 防止等)	●評価対象項目 □1)使用する材料の品質・ □2)構造物の劣化状況をよ □3)監督職員の指示事項に □4)施工後のメンテナンス □5)理由: □6)理由: □7)理由: □8)理由: ■判断基準 ※ 該当項目が6項目以上 ※ 該当項目が4項目・・ ※ 該当項目が3項目・・ ※ 該当項目が2項目以下	形状等が適切であり、かつ現場 でおり、かつ現場 では関して、適切な対策を施し で対して、現地状況を勘案し、施 では対する提言や修繕サイクル等 では対する提言や修繕サイクル等 では対するようでは、 では対象項目とし、この他に適宜	品において材料確認を適宜・的でいることが確認できる。 正工方法や構造についての提案を を勘案した提案等を行っている。	確に行っていることが確認できる を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。).	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職

考查項目	工種	a	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[18]	●評価対象項目	•	•			□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	機械設備工事	□1) 材料、部品の品質照合	合の書類(現物照合)を整理し品	質の確認ができる。			が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		□2) 設備の機能及び性能な	が、承諾図書のとおり確保され、	品質の確認ができる。			員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		□3)設計図書の仕様をふる	まえた詳細設計を行い、承諾図書	として提出していることが確認	見できる。		た。	
Ⅱ. 品質		□4)機器の機能及び性能に	こ係わる成績書が整理され、品質	の確認ができる。				
		□5)溶接管理基準の品質管	管理項目について、品質管理書類	を整理し品質の確認ができる。				
		□6) 塗装管理基準の品質管	管理項目について、品質管理書類	を整理し品質の確認ができる。				
		□7)操作制御設備についる	て、操作スイッチや表示灯が承諾	図書のとおり配置され、正常に	工作動することが確認できる。			
		□8) 操作制御設備の安全場	表置及び保護装置の機能・性能確	認試験について、試験書類を整	を 理し品質が確認できる。			
		□9) 小配管、電気配線、西	配管が承諾図書のとおり敷設して	いることが確認できる。				
		□10) 設備の取扱い説明書き	を適切に作成していることが確認	できる。				
		□11) 完成図書(取扱説明書	書)に部品等の点検及び交換方法	について、まとめていることが	が確認できる。			
		□12)機器の配置について、	点検しやすいことが確認できる	0				
		□13) 設備の構造や機器の配	配置が部品等の交換作業を容易に	できることが確認できる。				
		□14) 二次コンクリートの酉	配合試験及び試験練りを実施し、	試験成績表にまとめていること	が確認できる。			
		□15) バルブ類の平時の状態	態を示すラベルなどが見やすい状	:態で表示していることが確認で	ぎきる。			
		□16) 計器類に運転時の適月	用範囲を見やすく表示しているこ	とが確認できる。				
		□17) 回転部や高温部等の危	さ険箇所に表示又は防護をしてい	ることが確認できる。				
		□18) 構造物の劣化状況を。	よく把握して、適切な対策を施し	ていることが確認できる。				
		□19) 現地状況を勘案し、店	施工方法等についての提案を行う	など積極的に取り組んでいるこ	とが確認できる。			
		□20) その他 ()			
		理由:			J			
		●判断基準						
		※ 評価値が 90%以上	• • • • • • • a	 当該「評価対象項目」(のうち、評価対象外の項目は削除	ナス		
		※ 評価値が 80%以上 9	00%未満・・・・ a '	II .	りりり、計画内象外の項目は的係 削除後の評価項目数を母数として		ਜ਼する。 ┃	
		※ 評価値が 70%以上 8	80%未満・・・・ b	II	該当項目数 () /評価対象項			
		※ 評価値が 60%以上 7	'0%未満・・・・ b '	④ なお、削除後の評価対象	象項目数が2項目以下の場合はc	評価とする。		
		※ 評価値が 60%未満	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	[19]	a	a'	b	b'	С	d	е
	電気設備工事	●評価対象項目	+ 11 At 2 74 17 1 - 17 7 + 14 (15 [A = 1 + 15	the 1			□ 品質関係の測定方法又は測定値	
		_ / 2411 6 7 1111 1 11121	や性能の確保に係る技術検討を実 今の結果が早歴保証書祭 (現歴版		書の仕様を満足していることが	が受けったもの	が不適切であったため、監督職員が立まで作った行い改善され	が不適切であったため、検査職 員が補修指示を行った。
			ゴの結果が前員休証書寺(現物点 び性能が設計図書を満足して、成			唯裕(そる。	員が文書で指示を行い改善され た。	貝が相修指小を行うた。
			丁が承諾図書のとおり配置され、				/	
					し、不具合が無いことが確認でき _っ	る。		
		□6)設備の機能及び性能な	が、設計図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。				
		□7)操作制御関係の機能力	及び性能が、仕様を満足している	とともに、必要な安全装置及び	「保護装置の作動が確認できる。			
		, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,	投計図書の仕様を満足しているこ					
					などで確認していることが確認			
		7 12 1114 11 1	以扱い説明書を週切に作成(修繕 点検や交換を要する部品及び箇所		修正又は更新)していることがん ・z	帷祕でざる。		
			『候や父換を安りる副品及い国所 「点検や消耗品の取替え作業が容		: పం			
					で確認していることが確認できる。			
			いて、受注者自らが確認、精査し					
		□15) その他 ()			
		理由:			J			
		●判断基準						
		※ 評価値が 90%以上	a	① 当該「評価対象項目」	のうち、評価対象外の項目は削隊	 余する。		
		※ 評価値が 80%以上 9	00%未満・・・・ a '		削除後の評価項目数を母数として		価する。	
		※ 評価値が 70%以上 8	30%未満・・・・ b		該当項目数 () /評価対象項			
		※ 評価値が 60%以上 7	70%未満・・・・ b '	④ なお、削除後の評価対	象項目数が2項目以下の場合は c	: 評価とする。 		
		※ 評価値が 60%未満	· · · · · · · · · · · c					

									(技術検査職員)
考查項目	工種	a	a'	b	b'	С		d	е
3. 出来形	[20]	●評価対象項目					□ 品質関係	系の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	通信設備工事・	電気							
出来ばえ	受変電設備工事	□1)設計図書に定められて	いる品質管理を実施しているこ	とが確認できる。			が不適り	刃であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
		□2)材料及び構成部品の品	質及び形状について、設計図書	等と適合が確認できる証明書等	を整備していることが確認でき	る。	員が文書	書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
Ⅱ. 品質		□3)材料の品質照合の結果	とが、品質保証書等(現物照合を	·含む)で確認でき、設計図書 σ	できる。	た。			
		□4)設備、機器の品質、機	能及び性能が、成績等で確認で						
		□5)ケーブル及び配管の接	E続などの作業が、施工計画書に	記載された手順に沿って行われ	、不具合が無いことが確認でき	る。			
		□6)設備全体としての運転	法性能が所定の能力を満足している。	ることが確認できる。					
		□7)完成図書において、設	は備の機能並びに性能及び操作力	法が容易に判別できる資料を整	備していることが確認できる。				
		□8)完成図書において、単	位体品の製造年月日及び製造者が	判別できる資料を整備している	ことが確認できる。				
		□9)設備全体及び各機器に	こおいて、設計図書に規定した品	質及び性能が工場試験記録によ	り確認できる。				
		□10) 設備全体についての取	は扱い説明書を適切に作成している。	ることが確認できる。					
		□11) 完成図書で定期的な点	検や交換を要する部品及び箇所	を明示していることが確認でき	る。				
		□12) 設備の構造において、	点検や消耗品の取替え作業が容	易にできることが確認できる。					
		□13) 障害、災害発生を想定	こした代替機能、迂回などのフェ	ールセーフ機能を現地試験等で	確認していることが確認できる	0			
		□14) 設備の耐震設計につい	って、受注者自らが確認、精査し	たことが確認できる。					
		□15) その他 ()				
		世 世 世 :							
		●判断基準			<i>)</i>				
		 ※ 評価値が 90%以上・	a	① 当該「評価対象項目」			<u> </u>	1	
		 ※ 評価値が 80%以上 90	0%未満・・・・ a '	価する。					
		※ 評価値が 70%以上 80	0%未満・・・・ b	IIII / W/					
		※ 評価値が 60%以上 70		④ なお、削除後の評価対	象項目数が2項目以下の場合はc	評価とする。			
		 ※ 評価値が 60%未満・							

考查項目	工種	a	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[21]	□ 品質関係の試験結果のは	だらつきと評価対象項目の履行:	 	<判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	港湾築造工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に対する	定められた試験]			が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(浚渫、海岸築	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。				員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
	造工事を含む)	●評価対象項目					た。	
Ⅱ. 品質	(その1)	【共 通】						
		□1) 濁り防止等環境保全に	十分注意して施工していること	が確認できる。				
			いよう十分検討して施工してい	-				
			よう十分検討して施工している	,				
			[が想定される場合、品質確認に		が確認できる。			
		' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	して施工していることが確認で					
			[工上の注意事項が守られている :#エトインスストバオ=ヨイナス					
			施工していることが確認できる	·				
		□ 8) 作業船が十分官理下に □ 9) その他 (おかれ、統率されていることが	作能できる。)			
		□9/~60個 理由:						
		(<u>ÆH</u> .						
		【浚渫・床掘関係】						
			中に、土砂が漏出しないよう施	Tしていることが確認できる				
					を考慮して、効率的作業が可能	か作業船を選定しているこ		
		とが確認できる。		300/11/10/2014 90 - 13/13 0000 1	C 7//E(0 C (7//7 11/7 7/10 7/10	STIT /R/JIN C ZE/C S T T S T		
			[工の効率、周辺海域の利用状況	」を考慮して、土砂の運搬経路を	·決定していることが確認できる。	0		
			された場合、関係機関への報告					
		□5) その他 ()			
		理由:			J			
		【地盤改良関係】						
		□1) 改良材料の品質管理を	適切に行っていることが記録で	確認できる。				
		□2) 浮泥を巻き込まないよ	う置換材を投入していることが	確認できる。				
		/			以上の材料で埋め戻しを行って	いることが確認できる。		
		_ /	試験成績表等(現物照合を含む)					
		□ 5) サンドドレーン・砕石	「ドレーン、サンドコンパクショ	ンパイル及びロッドコンパクシ	ョンを連続した一様な形状・品質	質に施工していること		
		が打込記録等により確						
					より確認できるとともに、打設	を完了したペーパー		
			され、排水効果が維持されてい					
			!録等から、仕様書に定められて : aぃヹ、 記録から 4.接書に完め					
			こついて、記録から仕様書に定め					
			(び管理を適切に行っていること)					
		□10) マットの施工が平滑に □11) その他	:仕上げられていることが記録に	- より惟祕 じさる。)			
		□11) その他 理由:						
		<u>Zm</u> .			J			

								(21 11 12 - 17 27
考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形	[21]	□ 品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	港湾築造工事	[関連基準、土木工事施]	工管理基準、その他設計図書に	定められた試験]			が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(浚渫、海岸築	※ ばらつきの判断は短	別紙-3参照。				員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
	造工事を含む)	●評価対象項目					た。	
Ⅱ. 品質	(その2)	【マット、捨石及び均し関係】	1					
		□1) 捨石、被覆石など材料	料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。				
		□2)マットを破損なく所知	定の幅で重ね合わせていることか	「写真記録等により確認できる。				
		□3) 捨石、被覆及び根固と	め石をゆるみのないよう堅固に施	直工していることが記録により確	崔認できる。			
		□4)裏込めを既設構造物別	及び防砂目地板の破損がなく施工	こしていることが記録により確認	gできる。			
		□5) その他 (Ì			
		理由:			J			
		【本体: 杭及び矢板、控工関係						
		/ 11114 - //4114 - //4114	ミルシート等 (現物照合を含む)	1.240				
			、変形及び塗覆装面に損傷を与え		ことが確認できる。			
			び補修痕がなく施工していること					
			の施工管理方法等を整備し、かつ			-		
					「密着させていることが確認でき」	る。		
			等特別な場合を除き矢板法線に対					
			部等特別な場合を除き矢板法線に		ことが確認できる。			
			管理に関して仕様書に定められた	こ事項が確認できる。	`			
		□9) その他 (
					J			
		【本体:ケーソン据付、ブロ:	ック据付関係】					
		□1)ケーソン仮置に先立す	ち仮置場を調査し、仮置作業が所	「定の位置に異常なく行われてい	いることが確認できる。			
		□2)ケーソン据付に先立す	ち、気象・海象等を十分調査し、	据付作業が所定の精度で行われ	していることが確認できる。			
		□3)ケーソン据付等及び「	中詰においてケーソン及び既設権	毒造物等の破損がなく施工して↓	いることが確認できる。			
		□4) コンクリートブロック	ク据付に先立ち、気象・海象等を	と十分調査し、据付作業が所定の)精度で行われていることが確認	できる。		
		□5)ブロック据付等におい	いてブロック及び既設構造物等の	の破損がなく施工していることか	確認できる。			
		□6)ケーソンえい航に先3	立ち、気象・海象等を十分調査し	、適切な時期を選定しているこ	とが確認できる。			
		□7)ケーソンえい航に先3	立ち、上蓋、安全ネット又は吊り	足場等を設置し、墜落防止の指	肯置を講じていることが確認でき	る。		
		□8)ケーソン注水時の隔望	室の水頭差が1m以内になるよう	に管理していることが確認でき	る。			
			付の時期について、仕様書を満足		- -			
		□10) その他 (2 - 7 19)			
		理由:						
		1						

(技術檢香職員)

												(IX III IX II I	w 57/
考 査 項 目	工種	a	a '		b	b'		С		d		e	
. 出来形	[21]	□ 品質関係の試験結果のに	ずらつきと評価対象項目の履	夏行状況(評価値)	から判断する。	。<判断基準参照>			□ 品質関係の	測定方法又は	測定値 🗆 占	品質関係の測定方法	又は測定値
及び	港湾築造工事	[関連基準、土木工事施]	L管理基準、その他設計図書	書に定められた試験)				が不適切で	ぎあったため、	監督職 二	が不適切であったた	め、検査職
出来ばえ	(浚渫、海岸築	※ ばらつきの判断は別	川紙-3参照。						員が文書で	指示を行い改	善され	員が補修指示を行っ	た。
	造工事を含む)	●評価対象項目							た。				
Ⅱ. 品質	(その3)	【コンクリート関係】											
				り、コンクリートの)品質(強度・w/	/ c 、最大骨材粒径、塩化物総量	量、単位左	水量、アルカリ骨材					
		反応抑制等)が確認て	- 2 00	1.10 10 10 10 10 10 10		o 2014-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-							
		□2) コンクリート受け入れ□3) 圧縮強度試験に使用し											
						ゃくさる。 っれた条件を満足していることが	確認でき	: る。					
		(寒中及び暑中コンク			,,_,			0					
		□5) コンクリートの圧縮弱	鱼度を管理し、必要な強度に	達した後に型枠及	び支保工の取り	外しを行っていることが確認でき	きる。						
		□6) コンクリートの打設前	前に、打継ぎ目処理を適切に行	行っていることが	確認できる。								
		□7)鉄筋の品質が、証明書	****	dr vand her vijak v) .) in Antoniori s								
		□8) コンクリート打設まて□9) 鉄筋の組立及び加工か				ていることが確認できる。							
		□9)											
		□11) スペーサーの品質及び											
		□12) コンクリートの養生か	バ、設計図書の仕様を満足し [*]	ていることが確認	できる。								
		□13) 有害なひび割れが無い	10										
		□14) その他 (
		<u>理由:</u>				J							
		 [コンクリート構造物品質確保	ガイドの適用範囲に示される	(基準版]									
		□15) ひび割れ発生状況の初			ハスことが確認。	できろ							
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				〜15)の評価によらず、d 又は e	評価とす	-a.					
				37(=11,12,40 € (-8.	74015(11,017)		п ш с /						
								<u></u> 当該「評価対象項目」のう	ち 評価対象外	の項目け削除す	ろ.		
							2 ì	削除項目のある場合は削除	後の評価項目数	を母数として計	算した比率(%)計算の値で評価する	· .
								評価値(%)=該当 なお、削除後の評価対象項					
						l	4 /	なわ、刑院後の計画対象領	日数// 2 項目以		こりる。		
								●判断基準					
									ば	らつきで判断可	能	■ばらつきで判断不可能	
									50%以下	80%以下	80%を超える		
								90%以上	a	a'	b	b	
								75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	
								値 60%以上75%未満	b	b'	С	С	
								60%未満	b'	С	С	С	
							注 試	験結果の打点数等が少なく	ばらつきの判断	ができない場合	は評価対象項	 目(評価値)だけでi	平価する。
I		İ									1		

考 査 項 目	工種	a	a'	b	b '	С	d	e	
3. 出来形	[50]	□ 品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対象項目の履行:	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測	川定値 □ 品質関係の測定方法又は測定	:値
及び	石・ブロック積	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]			が不適切であったため、監	告督職 が不適切であったため、検査B	£職
出来ばえ	(張)工事	※ ばらつきの判断は別]紙-3参照。				員が文書で指示を行い改善	きされ 員が補修指示を行った。	
, ,,,,,	(護岸工事以外)						_ た。		
Ⅱ. 品質	(107) - 1.0017	□1)施工基面を平滑に仕上	・げていることが確認できる				,-0		
п. ньд				Eじないよう十分に行っているこ	レが確認できる				
				裏込材の吸出しが無いよう行っ					
)仕様を満足していることが確認	(C 5 0 .				
		,	ぶ適切であり、必要な強度を確保	にていることか確認できる。	(I) 当該「評価対象項目」のうち	、評価対象外の項目は削除する。		
		□ 6) 指定材料の品質が、記		And discount of the control of the c	2		の評価項目数を母数として計算し		
			過ぎが無く施工していることが		3 4. 7		[目数()/評価対象項目数(数が2項目以下の場合はc評価と	ll ll	
				にして施工していることが確認で	きる。	7 343、自1000区。7日1回70多、五日	<u> </u>	7 '0'0	
			設計図書の仕様を満足している	-					
			・適切に施工していることが確認	とできる。		●判断基準			
		□11)その他 🛛					ばらつきで判断可能	NO STATE OF THE PARTY OF THE PA	
		理由:			J		50%以下 80%以下 80%	────────────────────────────────────	
						90%以上	a a'	b b	
						評 75%以上90%未満	a' b	b' b'	
						価 12世	b b'	c c	
						値 60%以上75%未満 60%未満	. ,	· ·	
					,				
					¥.	生 試験結果の打点数等か少なくに	はらつきの判断かできない場合は計 ┃	平価対象項目(評価値)だけで評価する。	
	[51]	a	a'	b	b'	С	d	e	
	かご工事	 □ 品質関係の試験結果のは	 『らつきと評価対象項目の履行:	上 状況(評価値)から判断する。		1	□ 品質関係の測定方法又は測	別定値 □ 品質関係の測定方法又は測定	
	(じゃかご・		「管理基準、その他設計図書に				が不適切であったため、監		
	ふとんかご)	※ ばらつきの判断は別					員が文書で指示を行い改善		
		●評価対象項目					- t.		
		□1)施工基面を平滑に仕上	:げていることが確認できる。						
		□ 2) 指定材料の品質が、記							
			書の仕様を満足しており、空隙	が小かいことが確認できる					
				スが、扁平にならないように施工	していることが確認できる				
			割りをしてかご頭の位置を定め						
			{を満足してることが確認できる			当該「評価対象項目」のうち。	、評価対象外の項目は削除する。		
		,	書の仕様を満足してることが確		2		の評価項目数を母数として計算し	た比率(%)計算の値で評価する。	
		□8) その他 (THE PERCENT	- Part - C - O 0) 3		目数()/評価対象項目数(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
		理由:			4	なお、削除後の評価対象項目	数が2項目以下の場合はc評価と [・]	する。	
		<u>ZH.</u>							
						●判断基準			
							ばらつきで判断可能	hat he are that there are the	
							50%以下 80%以下 80	びらつきで判断不可能 %を超える	
						90%以上	a a'	b b	
						75%以上90%未満	a' b	b' b'	
						価	b b'		
								c c	
						60%未満	b' c	C C	
					1	在 試験結果の打点数等が少なくり	はらつきの判断ができない場合は読 Ⅰ	評価対象項目(評価値)だけで評価する。	

												(2) 111 12 - 121 121
考查項目	工種	a	a'	b	b'		C	;		d		е
3. 出来形	[52]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	- 状況(評価値)から判断する	。<判断基準参照>				□ 品質関係	の測定方法又	.は測定値 □	品質関係の測定方法又は測定
及び	二次製品構造物	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]					が不適切]であったため	、監督職	が不適切であったため、検査
出来ばえ	工事、小型構造	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。						員が文書	で指示を行い	改善され	員が補修指示を行った。
	物工事	●評価対象項目							た。			
Ⅱ. 品質		【共通】										
		□1) 指定材料の品質が、証	E明書類で確認できる。									
		□2)製品に有害なひび割れ	等の損傷がないことが確認出来	そる。								
		□3)施工基面を平滑に仕上	:げていることが確認できる。									
		□4)コンクリート受け入れ	時に必要な試験を実施しており	、温度、スランプ、空気量等	の測定結果が確認できる。							
		□5)圧縮強度試験に使用し	たコンクリート供試体が、当該	5現場の供試体であることが確	認できる。							
		□6)施工条件や気象条件に	適した運搬時間、打設時の投入	高さ及び締固め方法が、定めら	られた条件を満足している。	ことが確認できる	る。					
		(寒中及び暑中コンク	リート等を含む)									
		,	5、設計図書の仕様を満足してい	,								
		_	び締固めが、設計図書の仕様を	:満足していることが確認でき	る。 ``							
		□9) その他 (
		【プレキャスト側溝工関係】										
		□1)継ぎ目部が、付着、水	密性を保ち、段差がないことが	確認できる。								
		□2)側溝蓋が、側溝本体及	び路面と段差が生じないよう施	工していることが確認できる	0							
		_	:勾配を確保し、滞水が生じてい	いないことが確認できる。	`							
		□4) その他 (
		<u>理由:</u>			J							
		【プレキャスト擁壁工関係】	24.10 - 1.4.1. = 1.10 rh=1 - 2.7									
			i生じていないことが確認できる i									
			「着・水密性を保つよう施工して 「固めが設計図書の仕様を満足し									
		□ 3) 基礎材料の材質及び和 □ 4) その他 (1回のが改計凶音の仕様を個定し	ノ(いることが惟恥できる。)							
		理由:						象項目」のうち				
		<u>ZH.</u>				II .	余項目のあ 亜値(後の評価項目数? 頁目数())計算の値で評価する。
		【ボックスカルバート工関係】						の評価対象項目	, ,	10.1 11-10.4 - 4 - 4 - 5 - 7 - 1		
		- □1) 基礎地盤の許容支持力	を把握しながら施工しているこ	とが確認できる。								
		□2) 下流側又は低い方から	設置し、接合面に食い違いが無	いことが確認できる。								
		□3)接合部に漏水が生じて	いないことが確認できる。			_	●判断基	上 準				
		□4) ボックスカルバートの	縦締めを「道路土工-カルバー	- ト工指針」に基づき施工して	いることが確認できる。				ば	らつきで判断す	T能	→ばらつきで判断不可能
		□5) その他 🤇)				50%以下	80%以下	80%を超える	Ta 9 9 C TIMIT THE
		理由:			J			90%以上	а	a'	b	b
							評 75%	6以上90%未満	a'	b	b'	b'
							価 60%	6以上75%未満	b	b'	С	С
								60%未満	b'	С	С	С
						注 試験結	 結果の打点	気数等が少なくは	ばらつきの判断	ができない場合	合は評価対象項	目(評価値)だけで評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形	[53]	●評価対象項目			•	•	□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	河川浚渫工事	□1)仕様書等で定められて	ている品質管理を実施している。				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		□2) 濁り防止等環境保全に	こ十分注意して施工していること	が確認できる。			員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		□3) 浚渫工の施工が設計図	図書に定められた条件を満足して	いることが確認できる。			た。	
Ⅱ. 品質		□4)河川管理施設、許可□	工作物等、他の施設の機能に支障	き与えていないことが確認でき	きる。			
		□5) 残土処理等を適正に処	D理していることが確認できる。					
		□6)残土等の水切りを十分	分処理していることが確認できる	0				
		□7) 伐開除根作業が設計図	図書に定められた条件を満足して	いることが確認できる。				
		□8) 浚渫時に土砂と草木等	穿を分別していることが確認でき	る。				
			の構造物の根入れ等に影響を与え					
		1	己慮した上で施工していることが	確認できる。				
		□11) その他 (
					J			
		●判断基準						
		※ 評価値が 90%以上 ·	· · · · · · · · a					
		※ 評価値が 80%以上 9			のうち、評価対象外の項目は削除			
		※ 評価値が 70%以上 8			削除後の評価項目数を母数として 該当項目数()/評価対象項	て計算した比率(%)計算の値で評価 再月数(する。	
		※ 評価値が 60%以上 7	0%未満・・・・b'		該当頃日数()/ 評価対象り 象項目数が2項目以下の場合はc			
		※ 評価値が 60%未満・	· · · · · · · · · c					

考查項目	工種	a	a'		b		b'		С		d	е
3. 出来形	[54]	□ 品質関係の試験結果のは	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>									□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	矢板工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計	図書に定められ	れた試験]						が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(笠コンクリート	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。								員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
	工事含む)	●評価対象項目									た。	
Ⅱ. 品質		【共通】										
		□1) 指定材料の品質が、証	明書類で確認できる。									
		□2)材料に損傷がないこと	が確認できる。									
		□3)矢板の継手部のかみ合	わせを確実に施工してい	いることが確認	できる。							
		□4) 導材を設置し、矢板の	ぶれ、よじれ、倒れを	5止しているこ	とが確認できる。							
		□5)矢板の打込みに際して			確認できる。							
		□ □ 6)控索材の取付けが適切										
		□7)腹起しの施工が適切で□ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、			- 4 - 44 - 15 -							
		□8) ウォータージェットコ				せているこ	ことが確認できる。					
		□ 9) 鋼矢板に変形を生じな										
		□10) コンクリート矢板に変			,		きた進口 レデレス	> 1. よミアセ ラロッ	3 と フ			
		□11) 落錘によるコンクリー □12) 控え版を適切に施工し			型♥% 同//	凶音の江塚	(を何たしている)	_ ○ // /推応(. c v.			
		□11) その他 (、てい、3 ここい・神田心 くら、	J ₀			_)				
		理由:										
		【笠コンクリート工関係】										
		□1) コンクリート受け入れ	時に必要な試験を実施	しており、温度	、スランプ、空気	量等の測定	Z結果が確認でき	る。				
		□2)鉄筋の組立及び加工が	、設計図書の仕様を満り	足していること	が確認できる。							
		□3) コンクリート打設まて	にさび、どろ、油等の	育害物が鉄筋に	付着しないよう管	理している	ことが確認でき	る。				
		□4) プレキャスト笠コンク	リートについて、部材に	こ損傷を与えな	いよう運搬してい	ることが確	፤認できる。					
		□5) プレキャスト笠コンク	リートについて、接合	面が食い違わな	いよう施工してい	ることが確	≣認できる。					
		□ 6) その他 ()				
								J				
		Γ	① 当該「評価対象項	目」のうち、記	平価対象外の項目に	<u></u> は削除する。						
			② 削除項目のある場	合は削除後の記	平価項目数を母数と	こして計算し	た比率(%)計算	の値で評価す	-る。			
		1	③ 評価値(%④ なお、削除後の評		数() / 評価対 3 2 項目以下の場合							
		L		[[[]] [[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []		та спішс						
			●判断割	基準	T							
						つきで判断		ばらつきで判断	所不可能			
			<u> </u>		50%以下	80%以下	80%を超える					
			===	90%以上	a	a'	b	b				
			Ⅰ 価 🛏	%以上90%未満	 	b	b'	b'				
				6以上75%未満	b	b'	С	С				
				60%未満	b'	С	С	С				
			注 試験結果の打	点数等が少なく	ばらつきの判断が	だけで評価する。						

考查項目	工種	а	a'	b	b'		С		d		e	
3. 出来形	[55]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	犬況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>	•		□ 品質関係	系の測定方法ス	スは測定値 □	品質関係の測定力	方法又は測定値
及び	鋼製自在枠工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適り	刃であったため)、監督職	が不適切であった	ため、検査職
出来ばえ		 ※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					 員が文書	書で指示を行い	改善され	員が補修指示を行	_{「つた。}
		●評価対象項目						た。				
Ⅱ. 品質		 □1)鋼材の品質が、証明書	類で確認できる。									
_ :,		□ 2) 鋼材の保管管理が適正	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
		□ □ 3) 鋼材の組立・加工が適				① \\/.=	大「莎加州各西口」のこと		のほりは地域と	- 7		
			施され、記録を保管しているこ	レが確認できる		_	該「評価対象項目」のうち。 除項目のある場合は削除後			-)計算の値で評価する	5.
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	定機器のキャリブレーションを				面値(%)=該当項				/ 町 弁 ジ 匝 で 町 岡 ブ 。	
			、設計図書の仕様を満足してい		0	④ なま	お、削除後の評価対象項目	数が2項目以	下の場合はc評	価とする。		
			、設計凶音の丘塚を満足してV に行っていることが確認できる		e e							
		, ,					●判断基準	I		ı		
			適切に行っていることが確認で				●同的基本	1-4	 らつきで判断 [*]	可能	Τ	T
			げられていることが確認できる	0)				1		ばらつきで判断不可能	
		□10) その他 (-/ -/ -/	50%以下	80%以下	80%を超える	1	
		<u>理由:</u>			J		90%以上	a	a'	b	b	
								a'	b	b'	b'	1
							値 60%以上75%未満	b	b'	С	С	
							60%未満	b'	С	С	С	1
						注 試験	結果の打点数等が少なくは	ばらつきの判断	ができない場	合は評価対象項	目(評価値)だけで	評価する。
	【56】 砂防ソイルセメ ント工事		a' らつきと評価対象項目の履行な 管理基準、その他設計図書に		b'		С		d 系の測定方法ス Dであったた&		e 品質関係の測定力 が不適切であった	
		※ ばらつきの判断は別							≧で指示を行レ		員が補修指示を行	
		●評価対象項目						た。		71		5
		□ □ 1) 配合試験を行い、示方	配合を決定していることが確認	できる。				1 -0				
		□2)試験施工により、混合	時間、転圧回数、敷均し厚、施	工機械を決定していることが確	認できる。							
		 □3) 材料の計量記録、含水	比試験の記録等により、示方配	合を満足していることが確認で	·きる。							
		┃ ┃ ┃ 4)材料の練混ぜ時間を管	理しており、フェノールフタレ	イン溶液の散布によって、均一	・な混合状態となっている	① 当	該「評価対象項目」のうち	· 評価対象外	の項目は削除す	ナス.		
		ことが確認できる。				② 削	除項目のある場合は削除後	の評価項目数	を母数として記	・ 計算した比率(%	ら)計算の値で評価す	る。
		□5) 運搬・打設時間、敷均	し、締固め、打継目処理及び養	生方法等が、施工条件及び気象	条件に適しており、定め		価値(%)=該当項 お、削除後の評価対象項目					
		られた条件を満足して	いることが確認できる。			4) /5	わ、削除佐の評価対象項目	数		半畑とする。		
		□6)降雨時の影響が無いよ	う対策を行っていることが確認	できる。								4
		 □7)圧縮強度試験に使用し	たコンクリート供試体が、当該	現場の供試体であることが確認	できる。		●判断基準					
		□8)現場密度試験の結果が	規格値を満足していることが確				ば	らつきで判断	可能	(本と) キャラ km km ア コ や		
		┃ ┃ □ 9) 地山との取り合わせを	適切に行っていることが確認で	きる。				50%以下	80%以下	80%を超える	→ ばらつきで判断不可能 -	·
		□10) 施工基面を平滑に仕上					90%以上	a	a '	b	b	i ·
		□11) その他 ()		評 75%以上90%未満	a '	b	b'	b'	†
		理由:					価 200/ 101 / 550/ 力 25	b	b'	С	c	·
							値 60%以上75%未満 60%未満	ь'		+		
						34 ⇒±πΛ		-	C	C	C (証圧体) おける	
						仕 試験	結果の打点数等が少なくは	いつさの判断 	かじさない場合	デは評価対象項 	日(評価個)たけで	計価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'		С		d		е	
3. 出来形	[57]	□ 品質関係の試験結果のば	ざらつきと評価対象項目の履行 	犬況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>			□ 品質関係	の測定方法又は	測定値 🗆	□ 品質関係の測定方法	又は測定値
及び	アンカー工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に対する	定められた試験]				が不適切	であったため、「	監督職	が不適切であったた	め、検査職
出来ばえ	(グラウンド	※ ばらつきの判断は別	J紙-3参照。					員が文書	で指示を行い改	善され	員が補修指示を行っ	た。
	アンカー工)	●評価対象項目						た。				
Ⅱ. 品質		□1) 施工前に法面の安定、	地盤の状況、地中障害物及び湧	水を調査していることが確認で	きる。							
		□2)アンカーの削孔に際し	て、削孔位置、削孔径、長さ及	び方向が設計図書と一致してお	り、周囲の地盤を	(I) =	当該「評価対象項目」のうち、	評価対象外の	項目は削除する。			
		乱さないよう施工して	いることが確認できる。			_	削除項目のある場合は削除後の				6)計算の値で評価する。	
		□3) 既存の地質資料により	定着層のスライム形状を把握し	、削孔中にスライムの状態や削	4.凍度かどにより		評価値(%)=該当項目 なお、削除後の評価対象項目数		評価対象項目数 の場合はc評価と			
		定着層の位置や層厚を	・推定しながら施工していること	が確認できる。	L		0.4-1 13/3/DC - #1 [M/4-30 X F1 3		- 33 14 (3) 9 14 11114	- / 30		
		□4)削孔は直線性を保つよ	うに施工されており、削孔後の	孔内は清水によりスライムを除	法し、洗浄されていることが	が確認で	きる。					
		□5)アンカー鋼材に注入材	†との付着を害するさび、油、泥	等が付着していないことが確認	いできる。							
		□6) アンカー材の注入にあ	たっては、置換注入と加圧注入	により所定の位置に正確に挿入	していることが確認できる。							
		□7) 孔内グラウトに際して	、グラウトを最低部から注入し	、削孔内の排水及び排気を確実	こに行い、所定のグラウトが孑れ	1日から	排出していることが					
		確認できる。										
			行については、グラウトが所定の			音時緊張	力確認試験等により、					
			ら、所定の有効緊張力が与えら	れるように緊張力を与えている	ことが確認できる。		■判断基準			I		
		□9) その他 (1,177,42,1		らつきで判断可能	<u> </u>		
					J			50%以下		<u>-</u> 30%を超え	ばらつきで判断不可能	
							90%以上	a	a '	b	b	
							75%以上90%未満	a,	b	b'	b'	
							価	b	b'	С	+	-
							値 60%以上75%未満 60%未満	b'	С		С	
						汗 多				c +証無針免	百日 (証価値) だけで証	価寸で
						11. P	N級相本の11 宗教寺が夕なくは 		が C C な V 参加 日 18		(日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	リー・
}	[58]	a	a ,	b	b'	Т	С		d		e	
	切土補強土工事		L でいると評価対象項目の履行料		< 判断基準参昭 >		<u> </u>	□ 品質関係	 の測定方法又は	測定値 「] 品質関係の測定方法	マは測定値
	(鉄筋挿入工)		管理基準、その他設計図書に対		11000				であったため、		が不適切であったた	
	(3)(4)(1)(1)	※ ばらつきの判断は別							で指示を行い改		員が補修指示を行っ	
		●評価対象項目						た。		, , , ,		
		□1)施工前に法面の安定、	地盤の状況、地中障害物及び湧	水を調査していることが確認で	きる。							
		□2)地山の掘削を適切に施	工していることが確認できる。			①)	小学 「海位者を行ってきる		1万日は別込よっ			
		□3)補強材に注入材との付	着を害するさび、油、泥等が付	着していないことが確認できる	0.0		当該「評価対象項目」のうち、 削除項目のある場合は削除後の				%)計算の値で評価する。	
		□4)削孔は直線性を保つよ	うに施工されており、完了後、	スライムを除去していることが	確認できる。	3	評価値(%)=該当項目	目数()/	評価対象項目数	()		
		□5)補強材の打設角度や削	孔長等を適切に管理しているこ	とが確認できる。		(4)	なお、削除後の評価対象項目数 	数が2項目以下	の場合はc評価。	とする。		
		□6)注入材を確実に充填し	ていることが確認できる。									
		□7)補強材を所定の位置に	正確に挿入していることが確認	できる。			●判断基準					
		□8)確認試験等を実施し、	設計を満足していることが確認	できる。	_			ば	らつきで判断可能	E E		
		□9) その他 (50%以下	80%以下 8	80%を超え	.3	
					J		90%以上	а	a'	b	b	
							75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	
							値 60%以上75%未満	b	b'	С	с	
							60%未満	b'	С	С	с	
						注 診	試験結果の打点数等が少なくは	ばらつきの判断だ	ができない場合は	は評価対象す	項目(評価値)だけで評	価する。

考查項目	工種	a	a'		b	b'		c		d	e
3. 出来形	[59]	□ 品質関係の試験結果のば	でいきと評価対象	東項目の履行状況	(評価値) から判断する	<判断基準参照>	'] 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	地下水排除工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その位	也設計図書に定め	られた試験]					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。							員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目							╗	た。	
		【共 通】									
Ⅱ. 品質		□1) 指定材料の品質が、証	囲書類で確認でき	る。							
		│ │ □ 2) 地山との取り合わせを	・適切に行っている	ことが確認できる	0.						
		□3) コンクリート受け入れ	時に必要な試験を	実施しており、温	度、スランプ、空気量等	の測定結果が確認でき	きる。				
		□4)施工条件や気象条件に	適した運搬時間、	打設時の投入高さ	及び締固め方法が、定めら	れた条件を満足してい	いることが確認	認できる。			
		(寒中及び暑中コンク	リート等を含む)								
		□5) その他 ()				
		理由:									
		【集排水ボーリング工関係】									
		□1) ボーリングの施工に先	立ち、孔口の法面	を整形し、完成後	その土砂崩壊が起きないよ	うにしていることが確	笙認できる。				
		□2)集・排水ボーリングエ	この方向及び角度が	、適正となるよう	に施工上の配慮をしてい						
		□3)保孔管は、削孔全長に	挿入していること	が確認できる。							
		□4)保孔管のストレーナー	加工が、設計図書	の仕様を満足して	いることが確認できる。						
		□5) せん孔完了後、各箇所	「ごとに、せん孔地	!点の脇に、番号、	完了年月日、孔径、延長	ていることが確認できる。					
		□6) その他 ()				
		理由:									
		【集水井工関係】									
		□1)集水井の施工にあたっ	ては、常に観測	(監視) 計画等にて	地すべりの状況を把握す	るとともに、掘削中の)地質構造、湧	水等を詳細に記録している。			
		ことが確認できる。									
		□2) ライナープレートの組	lみ立てにあたり、	偏心と歪みに配慮	して施工していることが	確認できる。					
		□3) ライナープレートと地				3.					
		□ □ 4)梯子等の付属物が、設	計図書の仕様を満	足していることか	「確認できる。						
		□ 5)その他 (
							J				
			① 当該「記	が無対象項目」の ろ	ち、評価対象外の項目は関	加除する					
			II -		後の評価項目数を母数と		計算の値で評価	面する。 			
			③ 評価値		·項目数()/評価対象						
			④ なお、ド	別除後の評価対象項	頁目数が 2 項目以下の場合に	はc評価とする。 					
			_	判断基準							
					ばらつき	で判断可能	■ばらつきで判断	新 不 可能			
			L		50%以下 80%	以下 80%を超える					
				90%以上		b b	b				
			i	75%以上90%表	·満 a'	b b'	b'				
			I "	60%以上75%表	·満 b l	, с	С				
				60%未満	b'	с с	С				
			注 試験結	果の打点数等が少な	よくばらつきの判断ができ	だけで評価する。					

考查項目	工種	a		a'	1	b		b'	С	d	e
3. 出来形	[60]	□ 品質関係の試験結果のは	ばらつき る	と評価対象項目の履行	状況 (評価値)	から判断する。	<判断基準			□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	落石防止網工事	[関連基準、土木工事施コ	管理基準	準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	月紙一3	参照。						員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目								た。	
Ⅱ. 品質		□1) 指定材料の品質が、記	E明書類で	で確認できる。							
		□2)材料に損傷がないこと	が確認で	できる。							
		□3)縦ロープ、横ロープ、	補強ロー	ープ等の配置、間隔、谷	屋が設計図書の仕	は様を満足してレ	ることが確	 軽認できる。			
		□4) 現地の土質条件を確認	まし、アン	ンカー及び支柱を適切に	4配置しているこ	とが確認できる	0 0				
		□5)アンカーの根入れ長が	談計図書	書の仕様を満足しており)、適切に施工し	ていることが確	認できる。				
		□6) 想定される荷重に対し	て、アン	ンカーが所定の耐力を有	すしていることが	確認できる。					
		□7)斜面の状況を確認して	適切な長	長さの支柱を使用してレ	いることが確認で	ぎきる。					
		□8) 結合コイルでワイヤー	-ロープと	と金網を適切に連結して	ていることが確認	!できる。					
		□9)地山と最下段の横口-	プと間に	こ過度な隙間がなく、落	茖石がネット内か	ら路面に転がり	出ることが	ぶないよう施工してい	ることが確認できる。		
		□10) その他 (
		理由:						J			
		(1) ±	4該「評価	 西対象項目」のうち、評	延備対象外の項目!	け削除する					
				のある場合は削除後の評			比率(%)計	算の値で評価する。			
		1 1	平価値 (, ,							
		4 7	お、削隊	徐後の評価対象項目数が 	42項目以下の場合	台は c 評価とす	る。 				
			_	判断基準							
					ばらっ	つきで判断可能		■ばらつきで判断不可能			
					50%以下	80%以下 80	%を超える				
				90%以上	а	a'	b	b			
			評		a'	b	b'	b'			
			値		b	b'	С	С			
				60%未満	b'	С	С	С			
		注	試験結果	果の打点数等が少なくば	らつきの判断が	できない場合は	平価対象項	目(評価値)だけで評	価する。		
											1

考	上 種	a	a	b	b b		С	;		d		e	
3. 出来形	[61]	□ 品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対象項目の履行:	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>	•			□ 品質関係	の測定方法又	は測定値 □	品質関係の測定方法	ミスは測定値
及び	補強土壁工事	[関連基準、土木工事施工	工管理基準、その他設計図書に対する	定められた試験]			が不適切	であったため	、監督職	が不適切であったた	とめ、検査職		
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	川紙-3参照。						員が文書	で指示を行い	改善され	員が補修指示を行っ	た。
		●評価対象項目							た。				
Ⅱ. 品質		□1)盛土材の使用にあたっ	って監督員の承諾を得ており、土	:質試験結果に基づき、適切な条	件で締固めを実施している	ことが確認っ	できる。						
		□2)第1層の補強材の敷設	に先立ち、基盤面に排水処理を行	行っていることが確認できる。									
		□3)設計図書に示された規	見格及び敷設長を有する補強材を	·所定の位置に敷設していること	が確認できる。								
		□4) 横断方向に敷設する面	面状補強材に継目を設けていない	ことが確認できる。									
		□5)縦断方向の補強材をす	トき間なく施工していることが確	認できる。									
		□6)盛土材のまき出し及び	ぶ締固めを壁面工側から順次奥へ	施工しており、補強材にずれや	損傷がないように締固めて	いることが確	確認できる	5 .					
		□7)壁面の直線性や変形を	と確認しながらターンバックル等	で壁面を調整していることが確	■認できる。								
		□8)盛土に先行して組立て	てられる壁面工の段数を2段まで	としていることが確認できる。		① V 試	太「莎年社	毎項日」のさま	証 年 計 角 月 σ	、項目は削砂子	7		
		□9)壁面工付近や隅角部の)締め固めを振動コンパクタや小	型振動ローラ等を用いて入念に	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -			象項目」のうち、 る場合は削除後 <i>0</i>)計算の値で評価する。	
		確認できる。					西値(%)=該当項目				(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
			されていることが確認できる。			④ なお	お、削除後	の評価対象項目数	女が 2 項目以下	の場合は c 評	価とする。		
		□11) その他 () '								
		理由:					●判断基				ļ		
						Г	● FIFICE	<u> </u>	げ	<u></u> うつきで判断可	·····································		
									50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	
							\vdash	90%以上		a,	b	b	
									a a'		b'	b'	
							価 1370	以上90%未満		b	b	b	
								以上75%未満	b	b '	С	С	
						L		60%未満	b'	С	С	С	
						注 試験系	結果の打点	(数等が少なくば	らつきの判断だ	ができない場合	は評価対象項	目(評価値)だけで評価	価する。
	[62]	a	a '	b	b'		С	;		d		e	
	軽量盛土工事	□ 品質関係の試験結果のは	・ ばらつきと評価対象項目の履行:	- 状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>				□ 品質関係	の測定方法又	は測定値 □	品質関係の測定方法	
	(EPS)	[関連基準、土木工事施]	工管理基準、その他設計図書に	定められた試験]					が不適切	「であったため	、監督職	が不適切であったた	」め、検査職
		※ ばらつきの判断は別	川紙-3参照。						員が文書	で指示を行い	改善され	員が補修指示を行っ	た。
		●評価対象項目							た。				
		□1) 指定材料の品質が、証	正明書類で確認できる。										
		□2)施工基面が平滑に仕上	上げられていることが確認できる	00		① 当該	亥「評価対象	象項目」のうち、	評価対象外の	項目は削除する	5.		
		□3)発砲スチロール材等に	こ損傷が無いことが確認できる。									計算の値で評価する。	
		□4)軽量材の最下層ブロッ	ックを適切に設置していることが	確認できる。		0 1111	5値(3.削除後の	%) =該当項目 の評価対象項目数					
		□5)軽量材のブロック間を	と緊結金具を用いて固定している	ことが確認できる。	L		- 111/1/12	7 FT JM 70 30 X FT 30	- 71911		1		
		□6)基盤に湧水がある場合	合監督職員と協議の上適切に処理	していることが確認できる。									
		□7)軽量盛土材の仮置きに	こあたり、飛散防止等の対策を行	っていることが確認できる。			●判断	基準					
		□8) 紫外線からの劣化防止	上のため、軽量盛土材をシートで	で覆っていることが確認できる。					l'.	ばらつきで判断	可能	■ばらつきで判断不可能	
		□9) その他 ()				50%以下	80%以下	80%を超え		
		理由:			J			90%以上	a	a'	b	b	
							評 75	5%以上90%未満	a'	b	b'	b'	
							価 60)%以上75%未満	b	b'	С	С	
								60%未満	b'	С	С	С	
						注 試縣	 験結果の打		L ばらつきの判匿	! fができない場	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	─── 頁目(評価値)だけで記	·
						, 40)	- Simole of 11			2 5		···· (a) im im/ 12.7 (i	
		1											

考查項目	工種	a	a '	b	b'		С		d		e	
3. 出来形	[63]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	犬況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>	•		□ 品質関係	の測定方法又は	は測定値 □	品質関係の測定方	法又は測定値
及び	遊戲施設整備	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切	であったため、	、監督職	が不適切であった	ため、検査職
出来ばえ	工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					員が文書	で指示を行い	改善され	員が補修指示を行	った。
	(公園施設)	●評価対象項目						た。				
Ⅱ. 品質		□1)材料の品質が、証明書										
			示す高さに仕上げられ、整地の	状況、公園施設との取合いを考	慮していることが 確認	できる。						
		,	置していることが確認できる。 - 磁が地表面に露出していないこ	しが確認できる								
		'	*の期間、仮囲いをする等の安全		確認できる	1	当該「評価対象項目」のうち		,	- 0	(/ > 1 fr - 1 fr - 3 fr) er	
		,,	「能性がある部分について、適切			3	削除項目のある場合は削除後 評価値(%)=該当項		と母数として計算 /評価対象項目数		%)計算の値で評価する	0
			策を行っていることが確認でき		#C 1 C 00	4	なお、削除後の評価対象項目					
		□8)消耗部品材等の仕様、	標準使用期間、安全点検の要点	などの施設の安全確保に関わる	資料を提出して							
		いることが確認できる	0				●判断基準					
		□9) その他 (Ì		●刊例盔毕	バ	らつきで判断可	Title		
		理由:			J			50%以下	80%以下	80%を超え	ばらつきで判断不可能	
							90%以上	a	a,	b	b	
							75%以上90%未満	a,	b	b'	b'	
							価 60%以上75%未満	b	b'	С	С	
							60%未満	b'	С	С	С	
						注	試験結果の打点数等が少なくに	ばらつきの判断	ができない場合	は評価対象項	項目(評価値)だけで	評価する。
												•
	[64]	a	a'	b	b'		С		d	- 2 Marie 1 - 1 1 - 1 - 1	e	N New J. J. J. J.
	下水道(開削)		らつきと評価対象項目の履行料 ・		<判断基準参照>				の測定方法又に		品質関係の測定方	
	工事		「管理基準、その他設計図書に) 紙-3素昭	正められた試験」					lであったため、 で指示を行いī		が不適切であった 員が補修指示を行	
		●評価対象項目	INK 3 参 I/R ₀					貝が入自 た。	C1HV/5-114 /	ス合 C 和 し	真が細胞追がで打	·) / C o
		□ 1) 指定材料の品質が、証	E明書類で確認できる。					0				
		□2)材料の保管が適切であ	り、損傷がないことが確認でき	る。								
		□3) 床堀りの仕上がり面に	おいて、地山の乱れや不陸が生	じないよう適切に施工している	ことが確認できる。	1	当該「評価対象項目」のうち、	評価対象外の	項目は削除する	, ,		
		□4) 埋戻し材料が設計図書	の仕様を満足し、適切に行われ	ていることが確認できる。		2 3	削除項目のある場合は削除後の		·母数として計算		る)計算の値で評価する。	,
			施工していることが確認できる			4	評価値 (%)=該当項 なお、削除後の評価対象項目					
			で施工していることが確認でき									
			・適切な方法で施工していること 【及び土被りが、設計図書の仕様		Z.							
			・適切な方法で施工していること		<i>`</i> ∂°		●判断基準					
		□ 10) 土留工の施工に当たり	、調査、検討等を十分に行って	いることが確認できる。					らつきで判断可		ばらつきで判断不可能	
		□11) 土留工を適切な方法で	施工していることが確認できる	0			000/1914	50%以下		80%を超える	+	
		□12) 管路路面覆工を適切な	方法で施工していることが確認	できる。	_		90%以上 75%以上90%未満	a a	a'	b b'	b b'	
		□13) その他 (価 250/10/1 5 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	a b	b b'		-	
					J		値 60%以上75%未満 60%未満	b'	С	С	c c	
						注	試験結果の打点数等が少なくは	!				平価する.
						1-1-	America 14 moved d v \ 7 . 9 \ / 10	2 2 2 13017			On the limit (C1) CH	/ 9/0

考查項目	工種	a	a'	b		b'	С	d	е
3. 出来形	[65]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	· 状況(評価値)から判断する		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値		
及び	下水道(推進)	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	[定められた試験]				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目						た。	
Ⅱ. 品質		□1) 指定材料の品質が、証	明書類で確認できる。						
		□2) 材料の保管が適切であ	り、損傷がないことが確認で	きる。					
		□3) 管の接合を適切に行って	ていることが確認できる。						
		□4)推進施工管理データを	記録していることが確認でき	る。					
		□5)マンホールとの接続を	適切な方法で施工しているこ	とが確認できる。					
		□6)マンホールブロックを	適切に施工していることが確認	認できる。					
		□7) 埋戻し材料が設計図書	の仕様を満足し、適切に行われ	れていることが確認できる。					
		□8)土留工や路面覆工を適	切に施工していることが確認	できる。					
		□9)薬液注入工において、	観測孔等による水質等の管理	が適切に行われていることが確	認できる。				
		□10)薬液注入工において、		ことが確認できる。					
		□11) 滑材を適切に注入して	-						
		□12) 裏込めを適切に施工し	ていることが確認できる。						
		□13) その他 (
						J			
		① 当	該「評価対象項目」のうち、詞	平価対象外の項目は削除する。					
		I II		平価項目数を母数として計算した		草の値で評価する。			
		-		数()/評価対象項目数(が2項目以下の場合はc評価とっ					
			4-1 1440-DC - B1 1860-4-24-24-24-28-	- X11011 - W L 101 - F1 Im C 1					
			●判断基準						
			♥ NAT A	 ばらつきで判断可能	b f				
					30%を超える	ばらつきで判断不可能			
			90%以上	a a'	b	b			
			評 75%以上90%未満	a' b	b'	b'			
			価 値 60%以上75%未満	b b'	С	С			
			60%未満	b' c	С	С			
		注:	試験結果の打点数等が少なくに			 (評価値)だけで評	価する。		

考查項目	工種	a	a'	b		b'	С	d	е
3. 出来形	[66]	□ 品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断する		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値		
及び	ブロック舗装	[関連基準、土木工事施工	. 管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目						た。	
Ⅱ. 品質		【路床・路盤工関係】							
		□1)設計図書に定められた	試験方法でCBR値を測定して	ていることが確認できる。					
		□2)路床及び路盤工のプル	ーフローリングを行っているこ	ことが確認できる。					
		□3)路床及び路盤工の密度	管理が、設計図書の仕様を満足	足していることが確認できる。					
		□4)路盤の安定処理は材料	が均一になるよう施工している	ることが確認できる。					
		□5)路盤の施工に先立って	、路床面、下層路盤面の浮きる	石及び有害物を除去してからカ	極工しているこ	ことが確認できる。			
		□6) ブロックが平坦になる	ように路盤を転圧していること	とが確認できる。					
		□7)路盤面で横断勾配が確	保されていることが確認できる	5.		_			
		□8) その他 (
		理由:				J			
		【ブロック舗装工関係】							
		□1) 指定材料の品質が、証							
			て、上層路盤面の浮き石などの		バ確認できる。				
			i止が必要に応じ適切に行われて						
			は方法で施工されていることが						
			ョン材を適切な材料で施工して	-					
			置を適切な方法で施工している						
			調整、転圧を適切な方法で施コ						
		□ 8) 自地砂の光填を週切な □ 9) その他 (:方法で施工していることが確認	必じさる。)			
		理由:							
		<u>ZH</u> .							
		(j) #	 á該「評価対象項目」のうち、討						
		② 肖	除項目のある場合は削除後の詞	平価項目数を母数として計算し		- 算の値で評価する。			
			平価値(%)=該当項目数 はお、削除後の評価対象項目数が	数()/評価対象項目数 。					
		(±) /d	にわ、削床後の計画対象項目数// 		9 る。 				
			●判断基準						
				ばらつきで判断可	能	1			
				50%以下 80%以下	80%を超える	→ばらつきで判断不可能			
			90%以上	a a'	b	b			
			評 75%以上90%未満	a' b	b'	b'			
			値 60%以上75%未満	b b'	С	С			
			60%未満	b' c	С	С			
		注	試験結果の打点数等が少なくば		は評価対象項	 目(評価値)だけで評	価する。		

										(2X III IX 124 III IX)
考查項目	工 種	a	a'	b	b'		С	d		e
3. 出来形	[67]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	状況(評価値)から判断す	る。<判断基準参照>	•		□ 品質関係の測定方法又は	は測定値 [□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	グランド・	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切であったため、	監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	コート舗装工事	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					員が文書で指示を行い改	女善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					一 た。		
Ⅱ. 品質	,	【共通】						1 - 5		
л. ньд	(ウレタン)	□ 1) 舗装工の施工にあたっ [*]	て 上層路般面の浮き石かどの)有害物を除去していること:	が確認できる					
		□2)舗装工の路盤、基層及								
		□ 3) 散水について淡水を用り								
		□ 4) 指定材料の品質が、証								
		□ 5) その他 (刀百炔(唯恥(ひり。)				
		理由:								
		()				
		【 九 1								
		【クレー舗装関係】 □1)表層を均一に敷均し、	サルー むにひがて味敢また場 び	1海1 仕上げていることが	空 マンシス					
		□ 1) 表層を均一に敷切し、 □ 2)仕上がり面に土塊が残		,,	性能できる。					
				,,	仁口 していてき しば 仲部	マキフ				
		□3)路床または下層土面を				(さら)				
		□4) 化粧砂が均一に敷均し、□5)表層安定剤を所定量均・			添くさる。					
		□6)その他 (一に敗仰し、転圧していること	こが唯能できる。)				
		理由:)				
		【アンツーカー舗装関係】								
		□1)アンツーカーを均一に	敷均し、散水、転圧及び不陸鏨	隆正を繰り返し、仕上げてい	ることが確認できる。					
		□2)路床または下層土面を	レーキで浅くかき均し、なじみ	よくしたうえで敷均し、転	圧していることが確認で	きる。				
		□3)表層安定剤を所定量均-	- 一に散布し、転圧していること	こが確認できる。						
		□4) その他 (•)				
		理由:				J				
		【ウレタン舗装関係】								
		□1) 基層を十分養生し、その	の仕上がりを確認してから表層	層を施工していることが確認:	できる。					
		□2) ウレタンベース層を適	切な方法で施工していることが	が確認できる。						
		□3) ウレタンベース層硬化	後に特殊プライマー材を均一に	こ散布していることが確認で	きる。	(1) (2)		っ、評価対象外の項目は削除する めの評価項目数を母数として計算		火)計算の値で評価する
		□4) ウレタンベース層に順	次ウレタン上塗り材を切れ目な	よく均一な厚さとなるよう塗	布している	3		でいれば、ローダで好ることで可求 で目数 () /評価対象項目数		707日 年 72 恒 5 日 四 9 分。
		ことが確認できる。				4	なお、削除後の評価対象項目	数が2項目以下の場合はc評価	とする。	
		□5) 気象条件を配慮して施.	工していることが確認できる。							
		□6)地下水や雨水の影響を	配慮して施工していることが確							
		□7) その他 (•)	●判断基準			
		理由:				J		ばらつきで判断可能	<u>a</u>	ばらつきで判断不可能
								50%以下 80%以下 8	0%を超える	5
							90%以上	a a'	b	b
							評 75%以上90%未満	a' b	b'	b'
							価 値 60%以上75%未満	b b'	С	С
							60%未満	b' c	С	С
						注	試験結果の打点数等が少なくは		評価対象項	

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形 及び	【68】 道路修繕工事	●評価対象項目 【共 通】					□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(その1)	□1)使用する材料の品質・	形状等が適切であり、かつ現場	において材料確認を適宜・的確	に行っていることが確認できる.	. 0	員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		□2) 構造物の劣化状況をよ	く把握して、適切な対策を施し	ていることが確認できる。			た。	
Ⅱ. 品質		□3) 監督職員の指示事項に	二対して、現地状況を勘案し、施	工方法や構造についての提案を	行うなど積極的に取り組んでい	ることが確認できる。		
		□4) 施工後のメンテナンス	スに対する提言や修繕サイクル等	を勘案した提案等を行っている	ことが確認できる。			
			FD (c.)					
		【床版補強工(鋼板接着工法))				
			して適切な方法で処理しているこ					
			fい、油脂類等を除去しているこ					
			、取付け穴の位置が一致するよう		できる。			
		_	よ方法で施工していることが確認	できる。				
		□5) その他 (
		世典:			J			
		【床版補強工(増桁架設工法)	関係】					
		□1) 床版部を清掃している	· · · · -					
			文り付けていることが確認できる					
			で充填していることが確認できる					
			生で処理していることが確認でき					
		□5) その他 (0 0)			
		理由:						
		【床版増厚補強工関係】						
		□1)路面切削前に舗設計画	町を作成していることが確認でき	る。				
		□2)床版防水膜、橋面舗装	長を適切に施工していることが確	認できる。				
			去で処理していることが確認でき					
			整を行っていることが確認でき	る。	_			
		□5) その他 (
		理由:			J			
		【支承工関係】						
			こって、他の部分に損傷を与えな	いよう施工していることが確認	できる。			
			i強・塗装にあたり、ジャッキア		-	支 暗をきたしていたい		
		ことが確認できる。	in Extense of Vivio	ファーテラマ (1つの間と過かに	11. (Thurston Engle	X1466760 CT 18T		
			/カーバーを定位置に精度よく取	り付ける筌 適切か方法で設置	していることが確認できる			
			设置していることが確認できる。	フロリッサ、地別は2014〜以巨				
		□ 5) その他 (人匠 ひ くれ の こことが世間 くら の。)			
		□3)での他 理由:						
		(ZH .			J			
	I	<u> </u>					<u></u>	

考查項目	工種	a	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[68]	●評価対象項目		•	•		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	道路修繕工事	【伸縮継手工関係】				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職	
出来ばえ	(その2)	□1)供用中の施設に損傷及	ひ機能上の悪影響が生じないよ	こう既設の伸縮装置を撤去してい		員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。	
		□2)伸縮装置の設置にあた	とり、事前に遊間量を計測し、例	 使用材料の適合を確認しているこ	とが確認できる。		た。	
Ⅱ. 品質		□3) 交通解放にあたり、=	コンクリートの強度発現が確認で	ごきる。				
		□4)伸縮装置からの漏水、	有害なひび割れが無い。					
		□5) その他 ()			
		理由:			J			
		【落橋防止装置工関係】						
		□1) 既設上下部構造の落構	≸防止装置取付部周辺の配筋状況	?を調査していることが確認でき	る。			
		□2)アンカーの削孔を、即	E設鉄筋やコンクリートに損傷を	と与えないよう施工していること				
		□3)下地処理、現場塗装等	岸を適切に施工していることが確	崔認できる。				
			た方法で施工していることが確認	2できる。	_			
		□5) その他 🗍						
		理由:			J			
		【RC橋脚鋼板巻立て工関係】						
				大方法で除去し、吸水防止剤を塗	布していることが確認できる。			
			まで定着、鋼板を固定ていること ないました。					
			まで注入していることが確認でき LES体型バネエーキ b - 5450 P s	_	÷ -7			
			- 賃官埋か週止であり、試験及し	が検査を実施していることが確認	でさる。 `			
		□5) その他 (□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□						
					J			
		 【橋脚コンクリート巻立て工関	月 体】					
			マッパ ル タを入念にチッピングしていること	が確認できる。				
			「確認でき、適切な方法で施工し					
			び、設計図書の仕様を満足してV					
				设計図書の仕様を満足している こ	とが確認できる。			
		□5) その他 ()			
		理由:						
		[コンクリート構造物品質確	保ガイドの適用範囲に示される	構造物]				
		□6)ひび割れ発生状況の初	刃期観察・観察、調査及び補修を	と適切に行っていることが確認で	きる。			
		□ ※ひび割れが補修基準に	工達している場合、補修が適切に	こ行われていなければ、上記1)~	6)の評価によらず、d又はe評f	価とする。		

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[68]	●評価対象項目	•				□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	道路修繕工事	【橋脚繊維巻立て工関係】					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(その3)	□1) 既設コンクリートの表	長面処理を入念に実施しているこ	とが確認できる。			員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		□2)繊維シートを施工する	るにあたり、施工面を十分に乾燥	させて施工していることが確認	できる。		た。	
Ⅱ. 品質		□3) 施工時の天候、気温及	及び湿度等の条件を整理・記録し	ていることが確認できる。				
		□4)繊維シートの付着が十	十分であることが確認できる。					
		□5) その他 ()			
		理由:						
		【注入工関係】						
		□1)適切な方法で注入して	ていることが確認できる。					
		□2) グラウトパイプ等を通	適切に配置していることが確認で	きる。				
		□3)注入孔を適切に充てA	ししていることが確認できる。					
			が適切であることが確認できる。					
		□5) その他 (
		理由:			J			
		【漏水対策工関係】						
			をしていることが確認できる。	Mark Tay at his				
			也処理を適切に施工していること	が確認できる。				
		□3)補修材を適切に設置し		7				
		□4)品質同上に同けた取り□5)その他 () 組みがみられることが確認でき	ీ	`			
		【断面修復工関係】						
			裏側まではつり取り、鉄筋の錆を	完全に除去後 凍やかに防錆剤	を涂布していることが確認できる	5.		
			ないよう不良部を完全に撤去し、					
			 直工管理が適切であり、施工後に					
			3 光、風等が当たらないように養					
		□5) その他 ()			
		理由:						
		【コンクリート表面被覆工関係	系】					
		□1) 事前に高圧洗浄等に 』	よりコンクリート表面を洗浄し、	コンクリート脆弱部、レイタン	ス、塵埃、苔等を除去している。	ことが確認できる。		
		□2)材料の計量、撹拌時間	間を適正に管理し、規定の時間内	に塗布していることが確認でき	る。			
		□3)施工時の天候、気温及	及び湿度、コンクリート表面の水	分量等の施工条件を管理し、適	切な条件下で塗布していることだ	が確認できる。		
		□4) 規定の回数で塗布され	ιており、塗膜に割れ、剥がれ等	がなく、被覆材がコンクリート	に密着していることが確認できる	3.		
		□5) その他 (
		理由:			J			

考查項目	工種	a	a'	b	b'		С	d	e
3. 出来形	[68]	●評価対象項目						□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	道路修繕工事	【コンクリートひび割れ注入エ	_関係】					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(その4)	□1) ひび割れに沿ってワイ ことが確認できる。	['] ヤブラシ、ディスクサンダー等	で研磨して下地処理を行ってお	おり、必要に応じて油分を有機	溶剤によ	り除去している	員が文書で指示を行い改善され た。	員が補修指示を行った。
Ⅱ. 品質		□2) ひび割れ幅等に応じて	[注入位置を決定しており、また	、適切な間隔で注入器を設置し	していることが確認できる。				
		□3) 注入材の配合が適切て	であり、適切な圧力で注入してい	ることが確認できる。					
			材で完全に閉塞しており、注入	にあたって注入材の漏れ、だれ	ιがないことが確認できる。				
		□ 5) その他 (
					J				
		●判断基準							
		※ 評価値が 90%以上・		Made Factor Life at Discourse 2 de	at he Li A. H. a. at to a MaleA. 1. at				
		※ 評価値が 80%以上 90		当該「評価対象項目」のうち、削除項目のある場合は削除後の			%)計算の値で評価する。		
		※ 評価値が 70%以上 80※ 評価値が 60%以上 70	3	評価値(%)=該当項目	目数()/評価対象項目数	()	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
		※ 評価値が 60%未満・ ※ 評価値が 60%未満・		なお、削除後の評価対象項目数	数が 2 項目以下の場合は c 評価	とする。			
		AL BI BY BEING CO YOUTHPA	Ç						

考查項目	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[69]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	伏況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	仮設工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に対	定められた試験]			が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(その1)	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。				員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目					た。	
II. 品質		【共通】						
		□1)仮設工の点検及び管理	を、チェックリスト等を用いて	実施していることが確認できる	0			
		□2)周辺環境(騒音・振動	・地盤変動等)に配慮した施工	方法で実施していることが確認	できる。			
		□3)工事中の安全確保のた	めの調査を十分に行っているこ	とが確認できる。				
		□4) その他 🕻						
		_ 理由:			J			
		【工事用道路工関係】						
		□1) 工事用道路の施工にあ	たり、予定交通量・地形・気候	を的確に把握し、周囲の環境に	影響のないよう対策を講じてい	ることが確認できる。		
				[障とならないよう適切に維持管	理していることが確認できる。			
			ないように締固めていることが					
			ないよう締固めていることが確	認できる。				
		□5) 敷砂利を均一に敷均し	ていることが確認できる。		`			
		□6) その他						
		【仮橋・仮桟橋工関係】	接合を適切に施工していること	が確切できて				
			適切に設置していることが確認					
				、くさる。 :、後の打止めを落錘等で貫入さ	せ変ち着かせていることが確認	できる		
		□4) その他 □4)	7月7 (小川町かり とが日本) 3000日13	、人区の日正のと冊程寺で見べて				
		理由:						
		【路面覆工関係】						
			、覆工板表面の滑り及び覆工板	の跳ね上がり等が起こらないよ	う施工していることが確認でき	る。		
		□2)路面覆工の横断方向端	部に覆工板ずれ止め材を取り付	けていることが確認できる。				
		□3)路面勾配がある場合に	、覆工板の受桁に荷重が均等に	かかるように施工していること	が確認できる。			
		□4) その他 🕻)			
		理由:			J			

考 査 項 目	工種	a	a '	b	b'		С	d	е
3. 出来形	[69]	□ 品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の履行	伏況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>	•		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	仮設工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ	(その2)	※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。					員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		●評価対象項目						た。	1
Ⅱ. 品質		 【土留・仮締切工関係】							1
			り、河積阻害や河川管理施設、	許可工作物等に対する局所的な	洗掘等を避けるような	施工してい	ることが確認できる。		1
				場合には、国土交通省仮締切堤					1
				さまで埋戻し十分に締め固めて					
		□ 4) 適切な含水比で埋め戻			. b = C // // // // C b	. 0			
				施工する場合には、後の打止め	を蒸錘等で貫入させ落	ち着かせて	いることが確認できる。		
				状を生じないよう空洞を砂等で					1
				あたって各部材が一様に働くよ					
			てはめ込まれ、横矢板と掘削土						
		□ 9) その他 (
		(ZIM .			<i>)</i>				
		┃ ┃【じゃかご又はふとんかご設置	丁関係 】						
		1	書の仕様を満足していることが	確認できる。					
			隙が少ないことが確認できる。	halfe te a					
		□3)適切な断面形状に布設							
		□4) その他 (.,,,,,)				
		理由:			J				1
		 【土工用防護柵設置工関係】							1
			図書の仕様を満足していること	が確認できる。					
		□2)地山の傾斜角度、高さ	、土質及び工事の施工方法等を	勘案の上施工していることが確	認できる。				
		□3)防護網を用いる場合は	筋違を設置していることが確認	いできる。					
		□4) 土留板が適切に配置さ	れ、所定の強度(厚さ、材質)	を満足していることが確認でき	る。				
		□5) 防護柵等の支柱の施工	にあたって、既設舗装面へ影響	が無いよう施工していることが	確認できる。				1
		□6) その他 ()				
		理由:			J				
			当該「証価対象項目」のらた	、評価対象外の項目は削除する。					1
		2		の評価項目数を母数として計算し	した比率(%)計算の値で	で評価する。			
		3		目数 () /評価対象項目数					
		4	なお、削除後の評価対象項目	数が2項目以下の場合はc評価。	ごする。 				
			Northbor +++ 206-						
			●判断基準		And the see file				1
				ばらつきで		ばらつきで判断	不可能		
			<u> </u>	50%以下 80%」	 				
			90%			b			
			評 75%以上9			b'			
			値 60%以上7	5%未満 b b'	С	С			
			60%	c満 b' c	С	С			
			注 試験結果の打点数等が	ジ少なくばらつきの判断ができな	い場合は評価対象項目	(評価値) た	ごけで評価する。		

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	[70]	●評価対象項目			1		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	撤去工事	【共通】					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		□1)本体構造物の一部を推	敬去する場合には、本体構造物に	損傷を与えないように施工して	てることが確認できる。		 員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		□2)供用中の施設に損傷及	及び機能上の悪影響が生じないよ	う施工していることが確認でき	さる。		た。	
Ⅱ. 品質		□3)建設副産物を適正に処	心理していることが確認できる。					
		□4)建設発生土を適正に欠	D理していることが確認できる。					
		□5) 殻運搬処理及び発生材	才運搬において、運搬物が飛散し	ないように適正な処置を行って	こいることが確認できる。			
		□6)工事の完成に際して、	片付け、撤去、清掃が適切に行	われていることが確認できる。				
		□7)環境保全に特に配慮し	していることが確認できる。					
		□8) その他 (
		理由:			J			
		【旧橋撤去工関係】						
		□1)旧橋撤去にあたり、払	長動、騒音、粉塵、汚濁水等によ	り、第三者に被害 を及ぼさな	いよう施工していることが確認	gできる。		
		□2)床版破砕及び撤去に作	半い、適切な工法を検討し施工し	ていることが確認できる。				
		□3)旧橋撤去にあたり、通	適切に足場を管理していることが	確認できる。				
			適切に資材の落下防止対策を講じ	ていることが確認できる。	`			
		□5) その他 (
					J			
		【撤去工(一般構造物)関係】						
			よう舗装版を取壊していることが					
			な方法で施工、処理していること					
			フリートブロック撤去及び吹付法	面取壊しを行うにあたっては、	地山法面の雨水による浸食や	土砂崩れを発生させないよう		
		施工していることが研						
			と与えないように鋼材を切断して					
			抜き跡の空洞を充てんしている			3. 3.5 d and . 3 a		
			生にあたっては、付着した土砂、		取り除いた後、連搬しているこ。	とが確認できる。		
			里を適正な方法で施工しているこ	とが確認できる。)			
		□8) その他 (□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
		世由:						
		【伐採工関係】						
			枝条整理等)を適切に施工してい	ストレが確認できる				
		□ 2) 残存木に損傷がないこ		シー に 医性性の イロ (の)				
			- こか帰職できる。 o ては、付着した土砂、泥土、ゴ	`ミを現場内において取り除いた	- 後 - 運搬 ている - とが確認 -	できる		
		□4) その他 (っては、11年 いた上が、76上、-	(5) (3) (1 C 40) (AX) (BY) (Y		(6.2)		
		理由:						
		<u> </u>						
		●判断基準						
		※ 評価値が 90%以上	a =					
		※ 評価値が 80%以上 9	0%未満・・・・a'		うち、評価対象外の項目は削別			
		※ 評価値が 70%以上 8	0%未満・・・・ b		除後の評価項目数を母数として ミ当項目数()/評価対象項	(計算した比率(%)計算の値で評価 [・]	する。	
		※ 評価値が 60%以上 7		計価値 (%)=iなお、削除後の評価対象				
		※ 評価値が 60%未満	I					

(技術檢香職員)

											(X III X L 1	w 55)
考查項目	工 種	a	a '	b	b'		С		d		e	
3. 出来形	[100]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行	 状況(評価値)から判断する		<u> </u>		□ 品質関係の)測定方法又は	測定値 □ 占	品質関係の測定方法	又は測定値
及び	- ほ場整備工事		管理基準、その他設計図書に						であったため、		バ不適切であったた	
出来ばえ	133 77 111 11 11	※ ばらつきの判断は別続		ACO DA OTCH (BA)					で指示を行い改		員が補修指示を行っ	
四水はん		●評価対象項目	M 0 № 1/1/0					た。			₹₩Ш103日24.55 [1] う	/_0
TT 口后行		□ 1) 仕様書等で定められている	1、7 日所竺珊 か字歩 1 ブ1、7					/_0				
Ⅱ. 品質				テルニア四キャンカーマンフ								
		□2)使用する材料が設計図					/	÷ 部/π-4.春月	の項目は細胞よ			
		□3)工事測量により地区境場				II .	当該「評価対象項目」のう 削除項目のある場合は削除)計算の値で評価する	
		□4)地区内の地表水及び地		正工をしている。				項目数()				
		□5) 濁り等の防止に十分留意	_			(4) t	なお、削除後の評価対象項	目数が2項目以	下の場合はc評	価とする。		
		□6) 石礫、根株等の処理を付	仕様書に定められたとおり実施	直している。								
		□7)表土剥ぎ取り、基盤造成		を地を、仕様書及び設計図書に	こ定められたとおり施工している) ₀						
		□8) 進入路は、耕作に支障(のない位置・勾配で設置してレ	いる。			●判断基準	<u>'</u>				
		□9)暗渠排水工を仕様書及で	び設計図書に定められたとおり	施工している。				ばらつきで判断可能		 可能]
		□10) 用・排水路の縦断勾配	等については、ほ場面標高等を	さ考慮して施工している。				50%以下			■ばらつきで判断不可能	
		□11) 用・排水路の施工基面	を平滑に仕上げている。			90%以上	a	a,	b	b	•	
		□12) 用・排水路の法面のと	おりがよい。			評 75%以上90%未渝		b	b'	b'	1	
		□13) 構造物側面の埋め戻し	については、仕様書等で示す象	いる。		価 600/ 121 / 750/ 土油	_	b'	+	+	1	
		□13) 構造物側面の埋め戻しについては、仕様書等で示す条件により締め固めを実施している。 □14) 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。					値 60%以上75%未満		D	С	С	
		□15) 二次製品の吊り込み、打	据付けの際に常に十分な注意を	と払っていることが確認できる	0		60%未満	b'	С	С	С	1
		□16) 道路盛土の転圧を十分	行っていることが確認できる。			注試	験結果の打点数等が少なく	(ばらつきの判隣	fができない場合	今は評価対象項	目(評価値)だけで	評価する。
		□17) 敷砂利が仕様書に定め7	た品質を有しており、雑物等の									
		□18) その他 ()							
		理由:										
		<u> </u>										
	[101]	a	a,	b	b,	1	С		d		e	
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				C	□ □ □ 四周間核の)測定方法又は	測空積 口 日	 品質関係の測定方法	カは測字荷
					。 ~刊例 盔毕参照 /							
	(湧水処理)		管理基準、その他設計図書に	たのりれた武鞅」 					ごあったため、 Ethological		バ不適切であったた 3 ボギなおこま 行	
		※ ばらつきの判断は別線	紙−3参照。 						で指示を行い改	書され 月	員が補修指示を行っ	7C.
		●評価対象項目	+ // IX)	S 10 Smith that was 500 at 5				た。				
		□1) 使用する材料が設計図		貫が証明 書類で確認できる。								
		□ 2) 掘削断面に崩壊、過堀					á該「評価対象項目」のうり 川除項目のある場合は削除行			- 0	1. 質のは不証によっ	
		□3)管渠資材(吸水管、集			いことが確認できる。	-		変の評価項目数で 項目数 () /			可昇の他で計画9つ	0
		□ 4)管渠(吸水管・集水管 ⁴	等)が良好に設置されているこ	ことが確認できる。			お、削除後の評価対象項目					
		□5)管、継手、付属品(立	上管、水甲、制御器等)の接続	たが適正であることが確認でき	: る。							
		□6)被覆材が仕様書に定める	た品質及び機能を有しているこ	ことが確認できる。								
		□7) 埋戻が十分なされている	ることが確認できる。				●判断基準					
		□8) 表土復旧が適正に施工されていることが確認できる。 □9) 弾丸暗渠の機能が適切であることが確認できる。						ti	らつきで判断可	T能	and the second s	
								50%以下	80%以下	80%を超える	┩ばらつきで判断不可能	,
		□10) 管理制御器(水甲、水何	位制御器等)の機能が適正であ	っることが確認できる。			90%以上	a	a,	b	b	
		□11) その他 🕻					75%以上90%未満	i a	b	b,	b,	
		理由:					価 600/10/1 750/10/1	-	b,	С	С	
							値 60%以上75%未満 60%未満	b,				
				VA- 350			C C	C C	C (ST/F/H) ANNA	(T) /元 上 >		
						汪 武	験結果の打点数等が少なく -	, はらつきの判断 	「かできない場合	fは評価対象項│ ┃	目(評価値)だけで	評価する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'		С		d		e
3. 出来形	[102]	□ 品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の履行料	犬況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>			□ 品質関係	の測定方法又は液	則定値 🗆	品質関係の測定方法又は測定
及び	ため池工事	[関連基準、土木工事施工	管理基準、その他設計図書に	定められた試験]		が不適切	であったため、闘	监督職	が不適切であったため、検査!		
出来ばえ		※ ばらつきの判断は別	紙-3参照。			員が文書	で指示を行い改詞	善され	員が補修指示を行った。		
		●評価対象項目						た。			
Ⅱ.品質		【共 通】									
		□1) 仕様書等で定められて	いる品質管理を実施している。								
		□2) 材料の品質規定証明書	が整備されている。								
			らないように排水対策を実施し	ていることが確認できる。							
		□4) その他 (
		理由:			J						
		【相供工明核】									
		【堤体工関係】	リア字状しているとしが吹却でも	7							
			Jに実施していることが確認でき Fめ固め等)を適切に実施してい								
		□3)法面を平滑に仕上げて		ることが推応できる。							
			ヾる。 :面に凸凹がなく、平滑に仕上げ	`ている							
			確保し、適切に接合している。	C 4 . 30							
			ク、ブロックマット等を適切に	施工している。							
		□7) その他 (, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,)						
		理由:									
		【取水施設工、洪水吐工関係】									
		□1) 旧施設の撤去に当たり	形状寸法が確認でき、残存する	場合には漏水の原因にならない	よう適切な処置をしていること	が確認でき	きる。				
		□2)洪水吐、底樋等の構造	物基礎について、基礎地盤の支	持力確認を行い、必要に応じて	地盤改良を適切に施工している	0					
		□3) 施工基面を平滑に仕上	げている。								
		□4) 構造物周辺の盛り立て	(締め固め等)を適切に実施し	ていることが確認できる。							
		□5) 施工条件や気象条件に (寒中及び暑中コンク		高さ及び締固め方法が、定めら	れた条件を満足していることが	確認できる	5.				
		□6)鉄筋の組立、加工及び	がぶりが、設計図書を満足して	いることが確認できる。		Vienda F	**FRUB-CP - > }		art en verkelten 1 av		
		□7) コンクリートの養生が	、定められた条件を満足してい	ることが確認できる。			評価対象項目」のうち 目のある場合は削除後			た比率(%	。)計算の値で評価する。
		□8) ゲート等設備の機能及	び性能が、承諾図書のとおり確	保され、品質の確認できる。	3	評価値	(%)=該当項	目数()/	評価対象項目数(()	7,8131
		□9) その他 (なお、	削除後の評価対象項目	数が2項目以下 	の場合はc評価と	する。	
		理由:			J						
							●判断基準	I		I	
						Г	●刊例基準	l f	らつきで判断可能	<u> </u>	
								50%以下		 0%を超え	ばらつきで判断不可能 ス
						⊢	90%以上	a a	a,	b	b
							評 75%以上90%未満	+	b b	b,	b'
							価 600/ N 1 750/ 大浦	+	b',	С	c
							値 60%以上75%未満 60%未満	b'	С	c	c
					٥			!			
					í.	1. 四次和	本い11 応数 刊 かり は \	はり /さり刊例	M- C C / よ V ' * / / / 口 / l d	、pT	京日(叶岡胆)だり、叶岡りる。
		1									

(技術檢香職員)

			,								_			
查項目	工種	a	a '	b		b '			С		d		е	
出来形	[103]	□ 品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)か	ら判断する。 <	判断基準参照>				□ 品質関係	系の測定方法と	又は測定値 □	品質関係の測定	方法又は測定
及び	管水路工事	[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図					が不適り	Jであったたと	め、監督職	が不適切であっ	たため、検査		
出来ばえ	(パイプライン)	※ ばらつきの判断は	別紙-3参照。							員が文書	書で指示を行い	ハ改善され	員が補修指示を	行った。
		●評価対象項目								た。				
[. 品質		□ 1) 使用する材料が設計	·図書の仕様を満足しており、	品質が証明書類で確認	できる。									
		□2)管及び付属品(制水	:弁、空気弁等)の保管が適切	JJであり、損傷がないこ	とが確認できる	0								
		□3) 床堀りの仕上がり面	iにおいて、地山の乱れや不陸	をが生じないよう適切に	施工しているこ	とが確認できる。	1	当該「評	価対象項目」のうち、	、評価対象外の	項目は削除す	-る。		
		□4)管及び付属品(制水	弁、空気弁等)の布設を適切	刃な方法で施工している	ことが確認でき	る。	II .		のある場合は削除後)計算の値で評価す	る。
		□5) 埋戻し材料が設計図	書の仕様を満足し、適切に行	 行われていることが確認	できる。		11 –	評価値(なお、削	(%) =該当項 除後の評価対象項目					
		□6) 埋設物表示テープが	適切に設置されていることが	が確認できる。						1				
		□7)コンクリート構造物	等付帯構造物の施工にきめ細	囲かな対応が行われてい	る。									
		□8)舗装復旧が適正に施	I工され、周辺との段差がなV	いことが確認できる。				●	川断基準					_
		□9)漏水がないことが確	認できる。							ば	らつきで判断す	可能	┃ ■ ばらつきで判断不可i	指
		□10) その他 🕻)				50%以下	80%以下	80%を超える		
		理由:				J			90%以上	a	a '	b	b	
		\	,					評	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	
								価値	60%以上75%未満	b	Ъ'	С	С	Ī .
									60%未満	b'	С	С	С	1
							注言	└── st験結果 <i>0</i>	┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	らつきの判断	ができない場合		 目(評価値)だけて	→ 『評価する。
	【104】 獣害防止柵 設置工事		a' ばらつきと評価対象項目の 工管理基準、その他設計図		ら判断する。<	b' 判断基準参照>			С		d 系の測定方法2 Dであったたと		e 品質関係の測定 が不適切であっ	方法又は測定
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は	」 ばらつきと評価対象項目の 江管理基準、その他設計図	履行状況(評価値)か	う判断する。 <	~			С	が不適り 員が文書	系の測定方法に	め、監督職	品質関係の測定	方法又は測定 たため、検査
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕。 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し	はいること評価対象項目の以下ではいることが、品質を満足していることが、品質的に監督職員及び地権者と確なる施設(既存の柵等)があたが地面と密着するよう、刈り、支柱間隔が全て規格値以内	履行状況(評価値)か書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 すであることが確認でき	できる。 できる。 劦議のうえ撤去 里を行ったこと る。	**判断基準参照> *・移動等したことが が確認できる。	確認できる。		С	が不適り	の測定方法! 『であったた』	め、監督職	品質関係の測定 が不適切であっ	方法又は測定 たため、検査
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕。 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが	はいること評価対象項目の以下で理基準、その他設計図記記を満足していることが、品語に監督職員及び地権者と確なる施設(既存の柵等)があるが地面と密着するよう、刈り、支柱間隔が全て規格値以内で確保されており、支柱が不安にあるというという。	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 可であることが確認でき 安定な場合は対策が講じ	できる。 できる。 劦議のうえ撤去 理を行ったこと る。 てあることが確	・ 判断基準参照 > ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を動等したことが が確認できる。				が不適り 員が文書 た。	の測定方法。 『であったた》 『で指示を行い	め、監督職い改善され	品質関係の測定 が不適切であっ	方法又は測定 たため、検査
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金	はいること評価対象項目の以下ではいることが、品質を満足していることが、品質的に監督職員及び地権者と確なる施設(既存の柵等)があたが地面と密着するよう、刈り、支柱間隔が全て規格値以内	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評削除項目	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後の	が不適り 員が文書 た。 : : : : : : : : : : : : :	の測定方法と 可であったたと で指示を行い 可見した 可見して で が で が で が で が り で も り で も り で も り で も り で も り し り し り し り し り し り り り り り り り り り	め、監督職 ハ改善され 一る。 +算した比率(% 1数()	品質関係の測定 が不適切であっ 員が補修指示を	方法又は測定 たため、検査 行った。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評 削除項目 評価値(なお、削	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後 %)=該当項	が不適り 員が文書 た。 : : : : : : : : : : : : :	の測定方法と 可であったたと で指示を行い 可見した 可見して で が で が で が で が り で も り で も り で も り で も り で も り し り し り し り し り し り り り り り り り り り	め、監督職 ハ改善され 一る。 +算した比率(% 1数()	品質関係の測定 が不適切であっ 員が補修指示を	方法又は測定 たため、検査 行った。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金 □9)金網張り後、イノシ ことが確認できる。	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評 削除項目 評価値(なお、削	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後 %)=該当項 除後の評価対象項目	が不適り 員が文書 た。 、評価対象外の の評価項目数を 目数() / 数が2項目以了	の測定方法と 可であったたと で指示を行い 可見した 可見して で が で が で が で が り で も り で も り で も り で も り で も り し り し り し り し り し り り り り り り り り り	か、監督職 い改善され 一る。 十算した比率(% 引数() 評価とする。	品質関係の測定が不適切であっ 員が補修指示を 引計算の値で評価す	方法又は測定 たため、検査 行った。 る。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金 □9)金網張り後、イノシ ことが確認できる。 □10)その他	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評 削除項目 評価値(なお、削	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後 %)=該当項 除後の評価対象項目	が不適り 員が文書 た。 、評価対象外の の評価項目数を 目数() / 数が2項目以了	であったたという。 で指示を行いまで指示を行います。 はとは、 はとというでは、 であったたという。 はは、 でおいる。 はいる。 であったたという。 はいまでもいる。 はいまでは、 である。 である。 である。 であったとという。 はいまでもいる。 にいまでは、 でいる。 でい。 でいる。	か、監督職 ハ改善され 一る。 十算した比率(% 引数() 平価とする。 断可能	品質関係の測定が不適切であっ 員が補修指示を う計算の値で評価す	方法又は測定 たため、検査 行った。 る。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金 □9)金網張り後、イノシ ことが確認できる。 □10)その他	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評 削除項目 評価値(なお、削	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後 %)=該当項 除後の評価対象項目	が不適り 員が文書 た。 評価対象外の の評価項目数(数が2項目以下	の測定方法と 可であったたと で指示を行い 可見数に で指示を行い 可見数が対象は であったと で指示を行い でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと でおったと であったと であったと であったと でおったと でおった。 でおった。 でおった。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	か、監督職 ハ改善され 一る。 +算した比率(% 目数() 平価とする。 断可能	品質関係の測定が不適切であっ 員が補修指示を う計算の値で評価す	方法又は測定 たため、検査 行った。 る。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金 □9)金網張り後、イノシ ことが確認できる。 □10)その他	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評 削除項目 評価値(なお、削	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後の %)=該当項 除後の評価対象項目 ●判断基準	が不適り 員が文書 た。 評価研項目数の の評価項目以了 数が2項目以了	で 所の測定方法 別であったたと で指示を行い 可で指示を行い 可で指示を行い 自り はとし象で があったとと で指示を行い で指示を行い で指示を行い ではらつきで判 ではらつきで判 80%以下	か、監督職 ハ改善され 一る。 +算した比率(% 目数() 平価とする。 断可能	品質関係の測定が不適切であっ 員が補修指示を)計算の値で評価す	方法又は測定 たため、検査 行った。 る。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金 □9)金網張り後、イノシ ことが確認できる。 □10)その他	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評目(削評をおいます)	価対象項目」のうち、のある場合は削除後のある場合は削除後の評価対象項目が (除後の評価対象項目が ●判断基準 90%以上 75%以上90%未満	が不適り 計 が不適り 計 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	で が の 測定方法 の で おったた で 指示を行い で 指示を行い で 指示を行い で 指しし、 な が は しし、 の で も の で も の で も の で も の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	か、監督職 ハ改善され 一る。 十算した比率(% 目数() 平価とする。 断可能 下 80%を超え b	品質関係の測定が不適切であっ 員が補修指示を)計算の値で評価す とる	方法又は測定 たため、検査 行った。 る。
	獣害防止柵	□ 品質関係の試験結果の [関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は ●評価対象項目 □1)材料が設計図書の仕 □2)施工位置の確認を事 □3)施工に際して支障と □4)金網の折り返し部分 □5)支柱に連番を記入し □6)支柱の根入れ長さが □7)コーナー部等で支柱 ことが確認できる。 □8)支柱打ち込み後、金 □9)金網張り後、イノシ ことが確認できる。 □10)その他	ばらつきと評価対象項目のは 工管理基準、その他設計図 に別紙-3参照。 様を満足していることが、品 前に監督職員及び地権者と確 なる施設(既存の柵等)があ が地面と密着するよう、刈り 、支柱間隔が全て規格値以内 。確保されており、支柱が不安 が転倒する恐れのある箇所に に網をたるみの無いよう緊張さ	履行状況(評価値)か 書に定められた試験] 品質証明書類により確認 確認を行ったことが確認 ある場合、地元関係者と り払い機等により下地処 であることが確認でき 定定な場合は対策が講じ こついては、控え柱・支	できる。 できる。 な議のうえ撤去 里を行ったこと る。 てあることが確 なの施工が適切 とが確認できる	・・移動等したことが が確認できる。 認できる。 に施工されている 。	① ② ③	当該「評目(削評をおいます)	価対象項目」のうち、 のある場合は削除後 %)=該当項 除後の評価対象項目 動判断基準 90%以上	が不適り 計 が不適り 計 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	で 所の測定方法 別であったたと で指示を行い 可で指示を行い 自動には 自動には はとります。 はいで はいで のであったとと で指示を行い はいで はいで はいで はいで はいで はいで はいで はい	か、監督職 ハ改善され 一る。 十算した比率(% 自数((する) 呼価とする。 断可能 ト 80%を超え b b,	品質関係の測定が不適切であっ 員が補修指示を)計算の値で評価す とる はなっきで判断不 も	方法又は測定 たため、検査 行った。

考查項目	工種	a	a'	b	b'			c		d		e	
3. 出来形	[200]	□ 品質関係の試験結果のは	。 じらつきと評価対象項目の履行:	状況(評価値)から判断する。	<判断基準参照>	•			□ 品質関係の測定方法又は測定 が不適切であったため、監督		測定値 □ 品	定値 □ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職	
及び	植栽(森林)工	[関連基準、土木工事施工	「管理基準、その他設計図書に」	定められた試験]					が不適切	であったため、	監督職	「不適切であったた	め、検査職
出来ばえ	事	※ ばらつきの判断は別	J紙-3参照。						員が文書	で指示を行い改	(善され)	員が補修指示を行っ!	た。
		●評価対象項目							た。				
Ⅱ. 品質		□1) 地拵え(伐倒、刈払、柞	技条整理等)は適切に施工されて	こいる。									
		□2)保存木(保残木)は、	適切に残置されている。			① ¥3	: ナ 「き	亚年製色頂目 エの	<u> </u> うち、評価対象タ	の百日は割除	- -		
		□3) 苗木の表示票が整理さ	れている。			ll l)計算の値で評価する	.
		□4) 苗木の検収が行われ、	規格外苗木の混入がない。			③ 評化	価値	(%) =該	当項目数 ()	/評価対象項目	目数 ()		
		□5) 苗木の管理(仮植、運	種搬、断幹、根の処理)は適切に	上施工されている。		(4) な;	お、肖	削除後の評価対象	項目数が2項目以	人下の場合は c i	半価とする。 		
		□6)植栽(植穴、施肥、客	r土、密度、締固め等)は適切に	上施工されている。									
		□7)施肥(種類、施肥量、抗	施肥方法等)は適切に施工され	ている。			•	判断基準	1		1		
		□8)植付間隔及び配植が設	は計図書どおり管理されている。			Ť			 ばらつきで判断	可能		·	
		□9) 植栽密度を管理する標	摩準地の配置は適切である。					50%以下	80%以下	80%を超える	■ばらつきで判断不可能		
		□10) 簡易施設は適切に実施	亘されている。		,			90%以上	a	a,	b	b	
		□11)その他 🛘			Ì		評			b	b'	b'	
		<u>理由:</u>			J		価	60%以上75%表		b'	С	С	
							値	60%未満	b'	С	С	С	
						纽堡 公	上		!			<u>↓ </u>	証価 士ス
						生 武歌	加木	1971 点数等か少り		別がてさない物	口は計画対象項	白(計画順)だりで	計画する。
	[201]		а'	T 1	b'				_	1			
	木製構造物工事	a D の 日 所 即 ば の 学 騒 仕 用 の は		b (証無法) 3. 2 /如此子 7	<u> </u>			С	口口所明核	d の測定方法又は		e 「新朋友の測点士法	サル細点は
	↑器構造物工事 (木製ダム)			状況(評価値)から判断する。	>刊例基準参照/							占質関係の測定方法 ※不済団でよったよ	
	(本製タム)		「管理基準、その他設計図書に 「Manana A A R R	ためりれた武鞅 」						であったため、 エキニュ にぃw		ぶったであったた。 などはなおまた年 - ・	
		※ ばらつきの判断は別●評価対象項目]概一3多思。						■ 貝が又番 た。	で指示を行い改	(書され) 見	員が補修指示を行っ!	/ <u>~</u> 。
			な な な な な は な は な は な り た り た り た り る り る り る り る り る り る り る	・が確認できる					/				
		□1/ 戊// / 3/// (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
			設計図書の仕様を満足している	ことが確認できる。									
			を施され、記録を保管しているこ		F	O make to							—
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		実施していることが確認できる	00				、評価対象外の項 の評価項目数を長		た比率(%)計算	この値で評価する。	
		 □6) 使用する石材の規格が	、設計図書の仕様を満足してV	いることが確認できる。	ll l	③ 評価値			目数()/評				
		 □7) 中詰材の詰込みを適切]に行っていることが確認できる) ₀		④ なお、ド	削除後	後の評価対象項目	数が2項目以下の	場合はc評価と	:する。		
		□8)地山との取り合わせを	:適切に行っていることが確認て	ごきる。	_								
		□9)施工基面が平滑に仕上	:げられていることが確認できる) ₀			■ ¥	刊断基準	ı		ı		
		□10)その他 🕻			Ì	[19125-)-	ばらつきで判断す	T412		
		理由:			J				50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	
								90%以上		a,	80 /0 を組える b	b	
							評	75%以上90%未	a 満 a'	-	b'	b'	
							価			b b'			
							値	60%以上75%未	_	<u>-</u>	С	С	
						34. = NEA 4	/- 	60%未満	b'	C ジャキカル坦/	C	C	5/エーフ
						汪 試験》	店果(り打点剱等が少な	くはりつきの判断 	「かでさない場合	ずは評価对象項目 ┃ ┃	(評価値)だけで評	が曲する。

考查項目	工種	a	a '	b	b'	С	d	е		
3. 出来形	[202]	●評価対象項目			-		□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値		
及び	本数調整伐	□1)選木は適正に実施され	ıている。				が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職		
出来ばえ		□2)伐採木は完全に倒伏さ	され整理されている。				員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。		
		□3) 残存木に損傷等がない)。				た。			
Ⅱ. 品質		□4) 残存木及び下層植生に	こ必要な生育空間及び、光環境が	確保されている。						
		□5) 伐採高は地上高概ね0								
			蔓茎類は丁寧に切断、除去されて	いる。						
		□7) 林縁木の残存によりす								
			こ配置され、伐採率が適切に管理	!されている。						
		□9) 簡易施設は適切に実施	値されている。							
		□10) その他 (
					}					
		• Julian da Ville								
		●判断基準								
		※ 評価値が 90%以上・			F	① 当該「評価対象項目」のう	<u>・</u> ち、評価対象外の項目は削除する。			
		※ 評価値が 80%以上 9			II		め、計画対象がの項目は削減する。 後の評価項目数を母数として計算した比較	率(%)計算の値で評価する。		
		※ 評価値が 70%以上 8					項目数 () /評価対象項目数 ()			
		※ 評価値が 60%以上 7				④ なお、削除後の評価対象項	目数が2項目以下の場合はc評価とする。 			
		※ 評価値が 60%未満・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
-	[203]	a	a '	ь	b'	С	d	e		
	-	■評価対象項目					□ 品質関係の測定方法又は測定値			
			#木は、地際より除去されている),						
		□ 2) 植栽木へ支障のない染					が不適切であったため、監督職	 が不適切であったため、検査職		
		□3) 植栽木であっても、ħ	古損木・損傷木・暴れ木等は伐持	くされている。			員が文書で指示を行い改善され 員が補修指示を行った。 た。			
		□4)伐採木は完全に倒伏さ	され整理されている。							
		□5)残存木は損傷がない。								
		□6)肥料木は必要に応じて	て適切に処置 (台切等) されてい	る。						
		□7)植栽木に巻き付いた蔓	蔓茎類は、丁寧に切断、除去され	している。						
		□8) 林縁木の残存によりす	木分保護がされている。							
		□9) その他 ()					
		理由:								
		,			-					
		●判断基準								
		※ 評価値が 90%以上・	· · · · · · · · a		F					
		※ 評価値が 80%以上 9	0%未満・・・・ a '				ち、評価対象外の項目は削除する。			
		※ 評価値が 70%以上 8			II.		後の評価項目数を母数として計算した比 項目数 () /評価対象項目数 (
		※ 評価値が 60%以上 7	0%未満・・・・ b'				目数が2項目以下の場合はc評価とする			
		※ 評価値が 60%未満・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		L		İ			

考查項目	工種	a	a'	b	b'		С	d	е
3. 出来形	[204]	●評価対象項目						□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	枝落し	□1) 適期に施工されている	0					が不適切であったため、監督職	が不適切であったため、検査職
出来ばえ		□2) 所定の高さまで施工さ	れている。					員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。
		□3) 枯枝は落としてある。						た。	
Ⅱ. 品質		□4) 樹皮に損傷は無く、切	断面は平滑(なめらか)に切り	余されている。					
		□5)残枝の処理は適正に行							
		□6) 植栽木に巻き付いた蔓		ている。					
		□7)標準地が適切に設置さ							
		□8)林縁木の残存により林							
		□9)作業方法等、安全管理	は適切に施工されている。						
		□10) その他 (
		理由:			J				
		Alai Mar ++ Mis							
		●判断基準							
		※ 評価値が 90%以上・ ※ 評価値が 90%以上・						■ たいまでは、 は、	
		※ 評価値が 80%以上 90				(1)		ら、評価対象外の項目は削尿する。 後の評価項目数を母数として計算した比。	率(%)計算の値で評価する。
		※ 評価値が 70%以上 80※ 評価値が 60%以上 70				3	評価値(%)=該当	項目数()/評価対象項目数())
		※ 評価値が 60%未満・				4	なお、削除後の評価対象項	目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
		☆ 計画順か 00 /0 木個 ·							
	[205]	a	a '	b	b'	-	С	d	e
	下刈り	□ " □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	u	U U				□ 品質関係の測定方法又は測定値	□ 品質関係の測定方法又は測定値
	1 / 1 /	□ 1) 適期に実施されている						口 加灵因外少因之为因人16例之间	口 邮员风外少风无力因入16次元间
		□ 2) 植栽木に支障となる地		われている				 が不適切であったため、監督職	┃ ┃ が不適切であったため、検査職
		□3) 植栽木の誤伐・損傷は		240 64 20				員が文書で指示を行い改善され	
		□ 4) 二又木の処理がされて						t.	Av 111121141. E 11 2 / C
		□ 5) 刈払物により植栽木の	-					, = 0	
			され、植栽木から除去されてい	い る。					
			類の処理が適切に行われている						
		□8)測量杭の確保等、境界							
		□9) その他()				
		理由:							
		●判断基準							
		※ 評価値が 90%以上・	a						
		※ 評価値が 80%以上 90)%未満・・・・ a '			1		ち、評価対象外の項目は削除する。	
		※ 評価値が 70%以上 80)%未満・・・・ b			3		徐後の評価項目数を母数として計算した比 4項目数()/評価対象項目数(
		※ 評価値が 60%以上 70)%未満・・・・b'			4		頁目数 () / / 計画/が受け数 (頁目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする	ll ll
		※ 評価値が 60%未満・	c						<u> </u>

考查項目	工 種	a	a '	b	b'	С		d		e
3. 出来形	[300]		▲ ばらつきと評価対象項目の履行:	<u> </u> 	< 判断其准 器		□ 品質関係	の測定方法又	' け測定値 「	 □ 品質関係の測定方法又は測定値
及び	漁礁製作工事		工管理基準、その他設計図書に が		(119157-1-5 W)			であったため		が不適切であったため、検査職
出来ばえ	漁礁設置・投入	(内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内)		C W 54 W C PROX			員が文書で指示を行い改善され 員が補修指示を行った			
田木はん	工事	●評価対象項目	1/ht 9 \$> 1/1/0					C1H21, G 11 4	WH CAV	スパー間 1月71 と 11 フ/C。
Ⅱ. 品質	工事	【製作関係】					/_0			
11. 四貝		【表 F 展 M 】	エ田聿粨で確認できる							
				コンカリートの日底(絵座・…	/。 具十八廿七亿 按心情然是	事 出出水具 マルカリ母母				
			□ 2) コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材 反応抑制等)が確認できる。							
				羽座 フランプ 売与具盤の	7.測空灶田 が建設 ガキス					
			□3) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。							
			こだコング ケード 民民体が、ヨド こ適した運搬時間、打設時の投入			でなってきる				
		(寒中及び暑中コンク		可で及り神画の力伝が、足のり	40に未仕を何足していることが	神田中心 くさ る。				
			トし時及び転置、仮置に際し、=	ハンカリート等論度を適正に答用	甲上ている					
		□ 7) 鉄筋、鋼材等の規格が		マックートサ地区と過止に占さ	EO (1 3 0					
			でにさび、どろ、油等の有害物が	ば鉄路に付着しないよう管理して	ていろことが確認できる。					
			び、設計図書の仕様を満足してV		C. D.C. WARRENCE DO					
			が個数が、設計図書の仕様を満足							
			こ基づき実施され、内容が確認て							
		□12) コンクリートの養生が	び、設計図書の仕様を満足してV	いることが確認できる。						
		□13) 有害なひび割れが無V	١,							
		□14) ボルトの締付確認が実	実施され、記録を保管しているこ	とが確認できる。						
		□15) その他 🕻								
		理由:								
		,								
		【沈設関係】								
		□1)気象・海象を十分調査	をして施工していることが確認て	 きる。	II -	当該「評価対象項目」のうち、評				
		□2) 航行船舶に影響のない	いよう十分検討して施工している	ことが確認できる。	2 3	削除項目のある場合は削除後の評価値(%)=該当項目数				計算の値で評価する。
		□3) 礁体設置・投入の施工	工上の注意事項(仕様書等による) が守られている。	II ~	なお、削除後の評価対象項目数が				
		□4)設置・投入位置の測量	遣において、特記仕様書で指定さ	れる機器を使用していることだ	が確認できる。					
			こ十分注意して施工していること	:が確認できる。						
		□ 6) その他 (●判断基準				
					J		ば	らつきで判断す	可能	──ばらつきで判断不可能
							50%以下	80%以下	80%を超え	.5
						90%以上	a	a'	b	b
						評 75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
						値 60%以上75%未満	b	b'	С	c
						60%未満	b'	С	С	С
					Ë	主 試験結果の打点数等が少なくに	ばらつきの判断:	ができない場合	合は評価対象	項目(評価値)だけで評価する。

(技術格香職員)

					_				(1久 川 快 且 戦 貝	
考查項目	工種	< A >	a	a'	b	b '	С	d	е	
3. 出来形 及び	上記以外の工事 (情報ボックス	\11\	優れている □ 品質関係の計論結果	bより優れている Pのげらつきと評価対象に	やや優れている 再日の履行状況 (評価値)	cより優れている から判断する。<判断基	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督職	□ 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、検査職	
出来ばえ	工等)又は	< B >			_{貝目の履行状} 疣(評価値) 投計図書に定められた試験		2中参照/	別不過切であったため、監督職 員が文書で指示を行い改善され	員が補修指示を行った。	
	合併工事		※ ばらつきの判断は別紙-3参照。							
Ⅱ. 品質		●評価対象項目								
		□1) 理由:								
		□ 2) 理由:								
		口2/座山.								
		□3) 理由:								
		□4)理由:								
		□ 5)理由:								
		□6)_理由:								
		□7)理由:								
		17 <u>24 .</u>								
		□8) 理由:								
		a fact that this NG								
		●判断基準								
		<a> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事			<	 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事				
		※ 評価値か	5 90%以上 · · · · · · ·	• • a		当該「評価対象項目」	のうち、評価対象外の項目は	 削除する。		
		H	3 80%以上 90%未満・・・				削除後の評価項目数を母数と 該当項目数() /評価対	して計算した比率(%)計算の値で評価す 象項目数()	-る。	
		1 IH-	ぶ 70%以上 80%未満・・・ ぶ 60%以上 70%未満・・・			なお、削除後の評価対	象項目数が2項目以下の場合	はc評価とする。		
		1 IH-	3 60%未満 ・・・・・・				ばら	つきで判断可能		
		なお、削除後の)評価対象項目数が2項目以	下の場合はc評価とする。			50%以下	80%以下 80%を超える		
							90%以上 a %以上90%未満 a '	a' b b'		
						Aith:	%以上75%未満 b	b' c		
							60%未満 b'	СС		

	I	 	, т		【投 州 快 宜 椒 貝)
考查項目	工種	a a	b	C	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
. 出来形	【1】コンクリート構造物工事	●評価対象項目		●判断基準	
及び	【5】砂防構造物工事	□1)コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当5項目以上・・・a	
出来ばえ	【9】海岸工事	□ 2) コンクリート構造物の通りが良い。		該当 4 項目・・・・ b	
	【12】トンネル工事	□3)天端及び端部の仕上げが良い。		該当 3 項目・・・・ c	
. 出来ばえ		□4)ひび割れが無い。		該当2項目以下・・・d	
		□5)漏水が無い。			
		□6)全体的な美観が良い。			
	【2】土工事	●評価対象項目		●判断基準	
	(盛土・築堤工事等)	□1) 仕上げが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□2)通りがが良い。		該当 3 項目・・・・ b	
		□3) 天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・ c	
		□4) 構造物へのすりつけなどが良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【2】切土工事	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 規定された勾配が確保されている。		該当5項目以上・・・a	
		□2) 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が腐	法されているなど、適切に施工されている。	該当 4 項目・・・・ b	
		□3) 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるな	ど適切に施工されている。	該当3項目・・・・c	
		□4)滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう	処理が行われている。	該当2項目以下・・・d	
		□ 5) 関係構造物等との取り合いが適切に施工さてV	る。		
		□6)全体的な美観が良い。			
	【3】護岸・根固・水制工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【50】石・ブロック積(張)	□1) 通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
	工事	□2)材料のかみ合わせが良く、ひび割れが無い。		該当3項目・・・・b	
	(護岸工事以外)	□3) 天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・c	
		□4) 既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。		2.4 - 3.1.3.1	
	└──	●評価対象項目		●判断基準	
	1 2 2,2,0,00	□1)表面に補修箇所が無い。		該当4項目以上・・・a	
		□2) 部材表面に傷及びさびが無い。		該当3項目・・・・b	
		□3)溶接に均一性がある。		該当2項目・・・・・c	
		□ 4) 塗装に均一性がある。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。		Mar Xeori	
	└── 【5】地すべり防止工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【57】アンカー工事	□ 1) 地山との取り合いが良い。		該当3項目以上・・・a	
	(グランドアンカー工)			該当2項目・・・・b	
	【58】切土補強土工事	□ 3) 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの)良さが伺える	該当1項目・・・・・c	
	(鉄筋挿入工)	□4)全体的な美観が良い。	RC N 同たる。	該当項目なし・・・・d	
	【59】地下水排除工事	ロマ/ 王PHJ/な天航ル・氏マ。		欧当項目なし・・・・ロ	
	【6】舗装工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【○】咄茲上ず	□ 1) 舗装の平坦性が良い。		▼刊例差中 該当5項目以上・・・a	
		□ 2) 構造物の通りが良い。		該ヨ 5 項目以上・・・ a 該当 4 項目・・・・ b	

		□3)端部処理が良い。 □4)携洗煙。のよりのは笠が良い		該当3項目・・・・・c	
		□4) 構造物へのすりつけ等が良い。 □5) 再北知理が良い。		該当2項目以下・・・d	
		□5)雨水処理が良い。			
		□ 6)全体的な美観が良い。			

* * = 0	T 44	a	b	С	d	
考查項目	工種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
出来形	【7】法面工事	●評価対象項目		●判断基準		
及び		□1) 通りが良い。		該当3項目以上・・・a		
出来ばえ		□2) 植生、吹付等の状態が均一である。		該当2項目・・・・b		
		□3)端部処理が良い。		該当 1 項目・・・・ c		
I. 出来ばえ		□4)全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d		
	【8】基礎工事	●評価対象項目		●判断基準		
	(地盤改良等を含む)	□1) 土工関係の仕上げが良い。		該当3項目以上・・・a		
		□2) 通りが良い。		該当2項目・・・・b		
		□3)端部及び天端の仕上げが良い。		該当1項目・・・・ c		
		□4) 施工管理記録などから不可視部分の出来は	該当項目なし・・・・d			
	【10】コンクリート橋上部コ	「事 ●評価対象項目		●判断基準		
		□1) コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当5項目以上・・・a		
		□2) コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・b		
		□3) 天端及び端部の仕上げが良い。		該当3項目・・・・c		
		□4)支承部の仕上げが良い。		該当2項目以下・・・d		
		□5) ひび割れが無い。				
		□6)全体的な美観が良い。				
	【11】塗装工事	●評価対象項目		●判断基準		
	(工場塗装を除く)	□1) 塗装の均一性が良い。		該当4項目以上・・・a		
		□2) 細部まできめ細やかな施工がされている。		該当3項目・・・・b		
		□3)補修箇所が無い。		該当2項目・・・・c		
		□4) ケレンの施工状況が良好である。		該当1項目以下・・・ d		
		□5)全体的な美観が良い。				
	【13】植栽工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1) 樹木の活着状況が良い。		該当3項目以上・・・a		
		□2) 支柱の取り付けがきめ細かく施工されてい	いる。	該当2項目・・・・b		
		□3) 支柱の取り付けが堅固である。		該当1項目・・・・ c		
		□4)全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d		
	【14】防護柵(網)工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1) 通りが良い。		該当5項目以上・・・a		
		□2) 端部処理が良い。		該当4項目・・・・b		
		□3) 部材表面に傷及び錆が無い。		該当3項目・・・・c		
		□4) 既設構造物とのすりつけが良い。		該当2項目以下・・・d		
		□5)きめ細やかに施工されている。				
		□6)全体的な美観が良い。				
	【14】標識工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1) 設置位置に配慮がある。		該当4項目以上・・・a		
		□2) 設置版の向き並びに角度及びその支柱の追	動りが良い。	該当3項目・・・・b		
		□3) 標識板の支柱に変色が無い。		該当2項目・・・・c		
		□4) 支柱基礎が入念に埋め戻されている。		該当1項目以下・・・d		
		□5)全体的な美観が良い。				

考查項目	工種	а	b	С	d	
7 且 7 日	上。 1生	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3. 出来形	【14】区画線工事	●評価対象項目	·	●判断基準		
及び		□1) 塗料の塗布が均一である。		該当4項目以上・・・a		
出来ばえ		□2) 視認性が良い。		該当3項目・・・・b		
		□3)接着状態が良い。		該当2項目・・・・c		
Ⅲ. 出来ばえ		□4) 施工前の清掃が入念に実施されている。		該当1項目以下・・・d		
		□5)全体的な美観が良い。				
	【15】電線共同溝工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1) 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾面	己が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。	該当3項目以上・・・a		
		□2) プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不	要な隙間が生じていない。	該当2項目・・・・b		
		□3) 施工管理記録などから、不可視部分の出来	映えの良さが伺える。	該当1項目・・・・c		
		□4) 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d		
	【16】維持工事	●評価対象項目		●判断基準		
	【17】修繕工事	□1) 小構造物等にも注意が払われている。		該当3項目以上・・・a		
	【68】道路修繕工事	□2) きめ細かな施工がなされている。		該当2項目・・・・b		
		□3) 既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目・・・・c		
		□4) 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d		
	【18】機械設備工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1) 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体	的に統制されており、運転操作性が良い。	該当4項目以上・・・a		
		□2) きめ細かな施工がなされている。		該当3項目・・・・b		
		□3) 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良	٧٠ _°	該当2項目・・・・c		
		□4) 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡	る配慮がなされている。	該当1項目以下・・・ d		
		□5)全体的な美観が良い。				
	【19】電気設備工事	●評価対象項目	●判断基準			
		□1) きめ細やかな施工がなされている。		該当5項目以上・・・a		
		□2)公共物として、安全性の確保、環境及び維	持管理等への配慮がなされている。	該当4項目・・・・b		
		□3)動作状態において、電気的及び機械的な異	常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。	該当3項目・・・・c		
		□4)ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切	である。	該当2項目以下・・・d		
		□5)操作、保守点検等の容易さを確保するため	の配慮がなされている。			
		□6)全体的な美観が良い。				
	【20】通信設備工事·	●評価対象項目		●判断基準		
	受変電設備工事	□1) 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がさ	れている。	該当5項目以上・・・a		
		□2)公共物として、安全性の確保、環境及び維	持管理等への配慮がなされている。	該当4項目・・・・b		
		□3)動作状態において、電気的及び機械的な異	常が無く、総合的な機能や運用性が良い。	該当3項目・・・・ c		
		□4) 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び	統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。	該当2項目以下・・・d		
		□5)操作、保守点検等の容易さを確保するため	の配慮がなされている。			
		□6)全体的な美観が良い。				
	【21】港湾築造工事	●評価対象項目		●判断基準 (コンクリート工事がある場合)	●判断基準 (コンクリート工事がない場合)	
	(海岸築造工事を含む)	□1) 構造物等の通りが良い。		該当5項目以上・・・a	該当4項目以上・・・a	
		□2) 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ	の良さが伺える。	該当4項目・・・・b	該当3項目・・・・b	
		□3) 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。		該当3項目・・・・c	該当2項目・・・・c	
		□4) きめ細やかな施工がなされている。		該当2項目以下・・・d	該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。				
		□6) ひび割れが無い。(コンクリート工事が含	まれる場合)			

		a	b	c	(技術恢復職員)
考查項目	工種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	 劣っている
3. 出来形	【21】港湾浚渫工事	●評価対象項目	, , , , , , , , , , , ,	●判断基準	7,
及び		□1) 規定された水深・勾配又は改良深度等が	・確保されている。	該当3項目以上・・・a	
出来ばえ		□2)施工管理記録等から不可視部分の出来は		該当2項目・・・・b	
		□3)施工後の表面及び底面等の全体的な仕上		該当1項目・・・・c	
Ⅱ. 出来ばえ		□4)浚渫及び盛上り等の土砂が適切に処理さ		該当項目なし・・・・d	
	【21】ブロック製作工事	●評価対象項目		●判断基準	
	(ケーソン陸上製作工事	□1) コンクリート構造物の肌が良い。		該当4項目以上・・・a	
	を含む)	□2) コンクリート構造物の通りが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3) 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当 2 項目・・・・ c	
		□4) ひび割れが無い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【51】かご工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【52】二次製品構造物工事	□1) 通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
	小型構造物工事	□2) 既設構造物とのすりつけが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3) 端部処理が良い。		該当2項目・・・・c	
		□4) きめ細やかな施工がなされている。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【53】河川浚渫工事	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 規定された水深・勾配が確保されている		該当3項目以上・・・a	
		□2) 施工管理記録等から不可視部分の出来は	ばえの良さが伺える。	該当2項目・・・・b	
		□3)施工後の表面及び底面等の全体的な仕上	上げが良い。	該当1項目・・・・c	
		□4) 自然環境との調和が図られている。		該当項目なし・・・・d	
	【54】矢板護岸工事	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 土工関係の仕上げが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□2) 通りが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3)きめ細やかな施工がなされている。		該当2項目・・・・c	
		□4)施工管理記録などから不可視部分の出来	だばえの良さが伺える。	該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【55】鋼製自在枠工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【201】木製構造物工事	□1)構造物の通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
	(木製ダム)	□2)天端及び端部の仕上げが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3) 部材表面に傷及びさびが無い。		該当2項目・・・・c	
		□4)地山との取り合いが良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【56】砂防ソイルセメント工事			●判断基準	
		□1)構造物の通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□2) 天端及び端部の仕上げが良い。		該当 3 項目 • • • • b	
		□3)壁面材等にひび割れや損傷がない。		該当2項目・・・・c	
		□ 4) 漏水が無い。 □ 5		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			

± + + +	T ##	a	b	С	d
考查項目	工種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形	【60】落石防止網工事	●評価対象項目		●判断基準	
及び		□1)地山との取り合いが良い。		該当4項目以上・・・a	
出来ばえ		□2) 金網やロープのたるみがない。		該当3項目・・・・b	
		□3) きめ細やかに施工されている。		該当2項目・・・・c	
Ⅱ. 出来ばえ		□4) 端部処理が良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【61】補強土壁工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【62】軽量盛土工事	□1) 通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
	(EPS)	□2) 既設構造物とのすりつけが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3) きめ細やかに施工されている。		該当2項目・・・・c	
		□4) 端部処理が良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【63】遊戲施設整備工事	●評価対象項目		●判断基準	
	(公園施設)	□1) 仕上げが良い。		該当3項目以上・・・a	
		□2) きめ細やかな施工がなされている。		該当2項目・・・・b	
		□3) 設置位置に配慮がある。		該当1項目・・・・ c	
		□4) 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	【64】下水道(開削)工事	●評価対象項目		●判断基準	
	【65】下水道(推進)工事	□1) 通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□2) きめ細やかな施工がなされている。		該当3項目・・・・b	
		□3)路面の復旧状態が良い。		該当2項目・・・・c	
		□4) 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえ	の良さが伺える。	該当1項目以下・・・ d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【66】ブロック舗装工事	●評価対象項目		●判断基準	
		□1)舗装の平坦性が良い。		該当4項目以上・・・a	
		□2)目地の通りが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3) 端部処理が良い。		該当 2 項目・・・・ c	
		□4) 構造物へのすりつけ等が良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			
	【67】グランド・コート舗装	●評価対象項目		●判断基準	
	工事	□1)舗装の平坦性が良い。		該当3項目以上・・・a	
	(クレー舗装)	□2) 端部処理が良い。		該当 2 項目 • • • • b	
	(アンツーカー舗装)	□3) 構造物へのすりつけ等が良い。		該当1項目・・・・ c	
	(ウレタン舗装)	□4)全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	【69】仮設工事	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 土工関係の仕上げが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□2) 通りが良い。		該当3項目・・・・b	
		□3) 細部まできめ細やかな施工がされている。		該当2項目・・・・c	
		□4)端部処理が良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5)全体的な美観が良い。			

+ + -	- ~	a	b	С	(技 俯 庚 耸 職 貝) d	
考查項目	工 種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
3. 出来形	【70】撤去工事	●評価対象項目	1	●判断基準		
及び		□1) 土工関係等の仕上げが良い。		該当3項目以上・・・a		
出来ばえ		□2) 既存構造物または周辺との取り合いが特	寺に良い。	該当 2 項目・・・・ b		
		□3) きめ細やかな施工がなされている。		該当1項目・・・・c		
Ⅲ. 出来ばえ		□4)全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d		
	【100】ほ場整備工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1)整地仕上げが良い。		該当5項目以上・・・a		
		□2) 石礫、雑物等が適切に処理されている。		該当4項目・・・・b		
		□3) 営農に十分配慮された施工がなされてい	いる。	該当3項目・・・・c		
		□4) 水路、道路の通りが良い。		該当2項目以下・・・d		
		□5) 法面仕上げが良い。				
		□6)全体的な美観が良い。				
	【101】汎用化対策工事	●評価対象項目		●判断基準		
	(湧水処理)	□1) 畦畔等埋戻し部の施工、仕上げが良い。		該当5項目以上・・・a		
		□2) 石礫、雑物及び残土が適切に処理されて	こいる。	該当4項目・・・・b		
		□3)営農に十分配慮された施工がなされている。	いる。	該当3項目・・・・c		
		□4)管渠等(吸水渠、集水渠、弾丸暗渠等)	の通りが良い。	該当2項目以下・・・d		
		□5)施工管理記録などから不可視部分の出来	そばえの良さがうかがえる。			
	【102】ため池工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1) 土工の仕上げが良い。		該当4項目以上・・・a		
		□ 2) 通りが良い。		該当3項目・・・・b		
		□3) 天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・c		
		□4) 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い	\ °	該当1項目以下・・・d		
		□5)全体的な美観が良い。				
	【103】 管水路工事	●評価対象項目		●判断基準		
	(パイプライン)	□1) 施工管理記録等から不可視部分の出来は	ばえの良さが伺える。	該当4項目以上・・・a		
		□2) 管の通りが良い。		該当3項目・・・・b		
		□3)漏水がない。		該当2項目・・・・c		
		□4)路面復旧が適正に施工されている。		該当1項目以下・・・d		
		□5)全体的な仕上がりが良い。				
	【104】 獣害防止柵設置工事			●判断基準		
		□1) 部材表面に傷、錆等が無い。		該当4項目以上・・・a		
		□ 2) 通りが良い。		該当3項目・・・・b		
		□3)端部処理が良い。		該当2項目・・・・c		
		□4) きめ細やかな施工がされている。		該当1項目以下・・・d		
		□5)全体的な美観が良い。				
	【200】植栽(森林)工事	●評価対象項目		●判断基準		
		□1)植栽地の全体的な美観が良い。		該当3項目以上・・・a		
		□2) 枝条等は等高線上に適切に整理されてい	いる。	該当 2 項目・・・・ b		
		□3)植栽木の配植が良い。		該当1項目・・・・c		
		□4)簡易施設は適切で美観が良い。		該当項目なし・・・・d		

		a	b	С	d
考查項目	工 種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	
3. 出来形	【202】本数調整伐	●評価対象項目		●判断基準	
及び		□1) 伐採木は枝払い・玉切りされ、棚状に整理されている。		該当3項目以上・・・a	
出来ばえ		□2)全体的に美観が良い。		該当2項目・・・・b	
		□3) 理由:		該当1項目・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ		□4) 理由:		該当項目なし・・・・d	
	【203】 除伐	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 伐採木等の整理は適切である。		該当4項目以上・・・a	
		□2) 蔓茎類は丁寧に切断・除去されている。		該当3項目・・・・b	
		□3) 植栽木に被害を与える恐れのある大径木(雑木) は巻枯し	を行っている。	該当2項目・・・・c	
		□4)全体的に美観が良い。		該当1項目以下・・・d	
		□5) 理由:		_	
	【204】枝落し	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 枯れ枝は全て除去されている。		該当3項目以上・・・a	
		□2) 全体的な美観がよい。		該当2項目・・・・b	
		□3) 理由:		該当1項目・・・・c	
		□4) 理由:		該当項目なし・・・・d	
	【205】下刈り	●評価対象項目		●判断基準	
		□1) 刈払物は植栽木の列間に整理されている。		該当3項目以上・・・a	
		□ 2) 全体的な美観が良い。		該当 2 項目・・・・ b	
		□ 3) 理由:		該当 1 項目・・・・ c	
		□ 4) <u>理由:</u>		該当項目なし・・・・d	
	【300】漁礁製作工事	●評価対象項目		●判断基準	
	漁礁設置・投入工事	□1) 部材表面に傷及びさびが無い。		該当4項目以上・・・a	
		□2)通りが良い。 □3)きめ細やかな施工がなされている。		該当3項目・・・・b	
		□ 4) 沈設位置の精度が良い。		該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・ d	
		□5)全体的な美観が良い。		成 日 月 月 以 广 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	 上記以外の工事	口切り主作的な大概が良く。		●判断基準	
	又は	●評価対象項目		該当4項目以上・・・a	
	合併工事			該当3項目・・・・b	
	10127	□1)理由:		該当2項目・・・・・c	
		21) <u>VIA</u> .		該当1項目以下・・・d	
		□ 2) 理由:		W-1 - X1.0.1	
		/			
		□3)理由:			
		□4) 理由:			
		□5)理由:			
		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象	項目は最大5項目とする。		

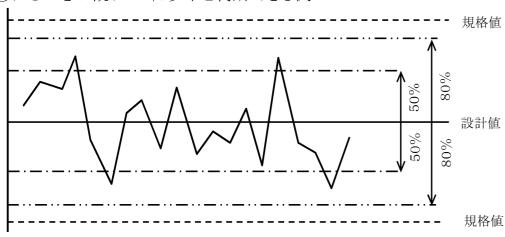
別紙-3

出来形及び品質のばらつきの考え方

[管理図の場合]

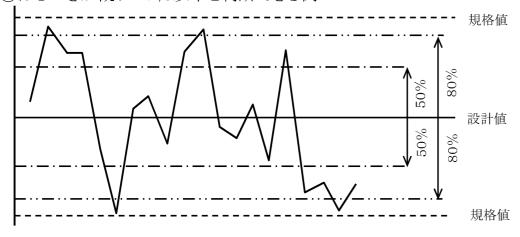
(上・下限値がある場合)

①ばらつきが概ね50%以下と判断できる例

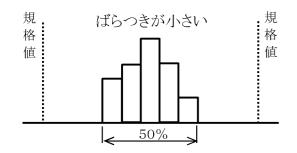


注 1) 概ねとは、打点数の8割以上とする。 但し、上下限を大きく外れる場合はこの限りでない。

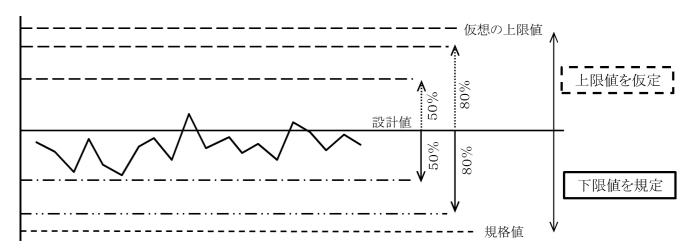
②ばらつきが概ね80%以下と判断できる例



[度数表またはヒストグラムの場合]



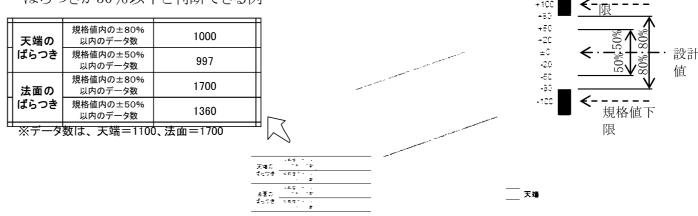
(上下限値のみの場合)



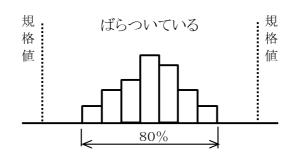
- 注 2) 上(下)限値のない場合のばらつきの考え方は、<u>設計値を基準として下(上)限値を反転した仮想の上</u> (下)限値を設定し、ばらつきの%を考慮する。
 - 3) 規格値が設計値以上となる場合もしくは上(下)限値を仮定することが困難となる場合は、ばらつきの判断から除外する。

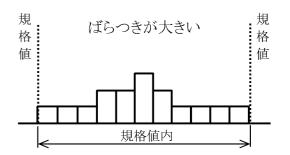
③ICT活用工事の例

出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断 ばらつきが50%以下と判断できる例



- ・ ばらつきの判断では、納品されたヒートマップ(上図)を活用する。
- ・ヒートマップとは、設計との差を可視化したもので出来形管理図表の折れ線グラフに相当す





別紙-	-4 (1)
-----	-------	---

「施工プロセス」のチェックリスト (土木工事)

①「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督職員等が確認する。 ②チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□にチェックマーク(☑)を記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記入する。 ③用語の定義については、「契約後」とは当初契約後、「変更後」とは工期内に行う契約変更後とする。 ④「施工プロセス」のチェックリストは、当初設計金額が1億円以上の工事について適用する。

考查項。	確認項目	チェックリストー覧表						チェ	ック時期	(指示事	項)						
項目	唯二総 頃 日	(チェックの目安)	着手前						施二	エ中 エー						完成時	(指示事項及びその是正状況等)
施力	○契約工程表	・契約締結の5日以内に、契約工程表が提出された。 (契約後、変更後)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
工 二 体 作 制 能	○工事カルテ	・事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内に登録機関に申請した。 (契約後、変更後、完成時	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
f	_₹ ○建設業退職金共済制度等	・掛金収納書の写しを契約締結後 1 ヶ月以内に提出した。 (契約後、増額変更後)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識が現場に掲示している。 (施工時 1 回程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・労災保険関係の項目が現場の見やすい場所に掲示している。 (施工時1回程度))	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	○請負代金内訳表	・契約締結の5日以内に、所定の様式で提出された。 (契約後)	(/)														
	〇施工体制台帳、 施工体系図	・施工体制台帳を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・施工体制台帳に下請負契約書(写)及び再下請負通知書を添付している。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」に、加入又は適用除外であることを記載している。 (施工時の当初、台帳提出の都度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

(1/4)

考 細		チェックリストー覧表	Π					チェ	ック時期	(指示事	項)						
項別	確認項目	(チェックの目安)	着手前						施.	エ中 エー						完成時	(指示事項及びその是正状況等)
1 I 施 施	〇施工体制台帳、 施工体系図	・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
工体物制制		・作業員名簿を作成・提出している。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
般		・施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時 1回/月程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。 (施工時の当初、変更時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	○建設業許可標識	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置 し、監理技術者を正しく記載している。 (施工時1回程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	○現場代理人	・現場代理人は、現場に常駐している。 (施工時 1回/月程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
配置技術者		・現場代理人は、監督職員との連絡調整及び対応を書面で行っている。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
/ 現 場	○専門技術者の配置	・専門技術者を専任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
代 理 人	〇作業主任者の選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
· 監 理 技	○監理技術者 (主任技術者) (監理技術者補佐) の専任制	・資格者証の内容を確認した。 (着手前)	(/)														
術 者 · 主	※当該確認項目の4チェック目、5チェック目については、特例監理技術者の	・配置予定技術者、通知による監理技術者施工体制台帳に記載された監理技術者と監理技術者証に記載された技術者及び本人が同一であった。(監理技術者補佐を配置する場合は、監理技術者補佐についても同様の確認をする) (着手前)	(/)														
技		・監理技術者(監理技術者補佐を配置する場合は監理技術者補佐)が現場に常駐していた。不在の場合は適切な施工ができる体制を確保していた。 (施工時 1回/月程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係 わっていた。 (施工時、打合せ時)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	○現場技術員	・現場技術員との対応が適切である。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	〇下請業者の把握	・下請業者が山口県の工事指名競争参加資格者である場合には、指 名停止期間中でない。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

新		チェックリストー覧表						チェ	ック時期	(指示事	項)							
頁別	確認項目	フェックッスドー 夏 衣 (チェックの目安)	着手前						施コ	 C中						完成時	(指示事項及	びその是正状況等
2 I	〇設計図書の照査等	・契約書第18条第1条第1号から第5号に係わる設計図書の照査を 行っている。 (着手前、施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
施工管理		・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	〇施工計画書	・施工(変更を含む)に先立ち提出し、所定の項目が記載されている。 (着手前、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
		・記載内容と現場施工方法と一致している。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
		・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	〇佐丁笞珂	・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 (着手前、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	〇施工管理 ·工事材料管理	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	・出来形、品質管理	・品質管理確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
		・日常の出来形、品質管理が書面にて確認できる。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	・現場環境改善等	・特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み又、地域等より評価されるものがある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	○検査(確認を含む)及び 立会い等の調整	・監督員の立合いにあたって、あらかじめ立合願を提出している。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
		・段階確認の確認時期が、適切である。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	〇工事の着手	・工事着手を確認した。(特記仕様書に工事に着手すべき期日について定めがある場合は、その期日までに工事着手したことを確認した。) (着手時)	(/)															
	〇支給品及び貸与品	・受注者は、支給材料及び貸与品の受払状況を記録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにしている。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	〇建設副産物 及び建設廃棄物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニュフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督職員に提示した。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
		・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
	○指定建設機械類の確認	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械) を使用している。 (施工時 1回程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			

細	チェックリストー覧表						チェ	ック時期	(指示事	項)						
確 認 項 目 別	(チェックの目安)	着手前						施二	エ中 エー						完成時	(指示事項及びその是正状況等
・ I 〇工程管理 ・ エ	・フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
- 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 3 - 3 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4	・現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・現場の休日の確保を行った記録が整理されている。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
□ ○安全活動 安	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
安 全 対 策	・店社パトロールを実施し、記録がある。 (施工時 1回/月程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・安全・訓練等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・新規入場者教育を実施し、記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・過積載防止に取り組んでいる記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・使用機械、車輌等の点検整備等が管理され、記録がある。 (施工時 1回/月程度)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた点検記録等がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	・保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
〇安全パトロールの 指摘事項の処理	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに 改善を図り、かつ関係者に是正報告した記録がある。 (施工時適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
IV 〇関係機関等	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。 (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
外 関 係	・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関しての苦情対 応を適切に行い、記録がある。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	(施工時適宜) ・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行っている記録がある。 (施工時適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

工事成績評定の留意事項

目 次

1	評定の方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	評定の基本的な考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	「評価対象項目」の評価の考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	ICT活用工事と評価の関連について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
5	コンクリート構造物品質確保ガイドと評価の関連について・・・・・・・・・	3
6	週休2日の確保と評価の関連について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
7	建設キャリアアップシステム(CCUS)活用と評価の関連について・・・・	6
8	建設DX活用と評価の関連について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
9	工事特性、創意工夫、社会性等の評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
10	施工プロセスチェックリストと評価の関連について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
11	社内の管理基準の設定及び管理方法と評価の関連について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
12	出来形の評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
13	品質の評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
1 <i>1</i>	その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19

1 評定の方法について

(1) 考査項目別の評価

監督職員並びに検査職員(以下「評定者」という)は、「工事成績評定表」に示すそれぞれの該当考査項目について、別紙-1~2「工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表」に基づき評価を行います。

(2) 考査項目別の採点及び算出

評定者は、「考査項目別の評価」の評価結果をもとに「工事成績評定表」により評価者ごとの 評定点、項目別評定点及び評定点合計を算出します。

2 評定の基本的な考え方について

評定における「評価対象項目」は、関係法令や契約書、共通仕様書、各種技術基準等に基づく事項であり、記載された内容については、そのほとんどが、受注者が遵守すべき内容(「契約事項」)となっています。

「契約事項」は、受注者の責任において自ら遂行(発注者の助言や指導なしに)しなければならないものであることから、基本的に受注者が自主的に実施できない場合は、「評価対象項目」を評価できないこととなります。

このため、監督職員からの指導や助言又は検査職員からの指摘や指導等が多くなるにつれて評価は低くなります

3 「評価対象項目」の評価の考え方

工事成績評定では、工事を受注して完成させるまでの過程において、監督職員からの指導や助言なしに契約を履行できたかどうか確認して評価を行います。

また、評価にあたっては、「透明性」や「客観性」が求められることから、検査職員は「施工プロセスのチェックリスト」及び「工事打合せ簿」の記録も踏まえ評価することとしています。 山口県では、このことを踏まえて以下のとおり運用します。

(1) 「工事成績採点表の考査項目別運用表」における<u>「評価対象項目」に「レ」点を付す</u>(評価する)ことができるのは、当該項目に関する業務を受注者が<u>自主的に実施した場合</u>のみとします。 但し、当面の間、<u>監督職員からの指導や助言に対する改善が速やかに実施された場合は「レ」</u> 点を付すこととします。

検査職員は、検査において「施工プロセスチェックリスト」(当初請負対象設計額1億円以上の工事)や「工事打合せ簿」の指摘事項の内容も評価に反映します。

なお、検査時に必要な書類が確認出来ない場合は、別途提示されても評価しません。

(2) 受注者が契約不履行に至る可能性が認められた場合は、それを指摘し指導をして改善させることになりますが、この場合、次のとおり評価します。

ア 第1段階目の指導(通知)

「工事打合せ簿」により「通知」として指導を行った場合、改善されても「評価対象項目」に「レ」点は付きません。

イ 第2段階目の指導(改善指示)

「通知」により改善されない場合は、「工事打合せ簿」により、「指示」として指導を行います。

この場合、改善されても、該当する考査項目の細別は「d」評価、改善されない場合は「e」 評価となります。

4 ICT活用工事と評価の関連について

4-1 ICT活用工事の成績評定

ICT活用工事の工事成績評定については、「創意工夫」の最高点を3点から5点に、「工事特性」の最高点を6点から4点に変更し、以下のとおり評価します。

- (1) I C T活用工事において、次の①~⑤の全ての段階で I C T施工を実施した場合、以下の評価対象項目を評価します(創意工夫で2点を加点)。
 - ①3次元起工測量
 - ②3次元設計データ作成
 - ③ICT建設機械による施工
 - ④3次元出来形管理等の施工管理
 - ⑤3次元データの納品

(考査項目別運用表 別紙-1⑩ 5.創意工夫)

- □16) ICT 活用工事加点として起工測量から電子納品までの全ての段階で ICT を活用した工事。
- (2) I C T施工技術のうち、必須項目(上記②、④、⑤)を実施した場合、以下の評価対象項目を評価します(創意工夫で1点加点)。

(考査項目別運用表 別紙-1⑩ 5.創意工夫)

□15) ICT 活用工事加点として起工測量から電子納品までの指定した段階で ICT を活用した工事。

4-2 ICT活用工事を中止した場合の評価

受注者の責めに帰すことができない事由により I C T活用施工を途中で中止した場合は、加点対象とせず減点は行いません。

5 コンクリート構造物品質確保ガイドと評価の関連について

現場打ちのコンクリート構造物のうち、鉄筋コンクリート構造物、プレストレストコンクリート構造物、水密性を要する無筋コンクリート構造物(<u>止水板を設置する護岸等</u>)を対象とし、以下により評価します。

5-1 ひび割れの初期観察・観察、調査及び補修についての評価

① ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っている場合は、ひび割れ発生の有無にかかわらず当該評価対象項目(□ひび割れ発生状況の初期観察・観察、調査及び補修を適切に行っていることが確認できる)を評価することとします。

補修基準以上のひび割れであっても、適切な対応が確認できれば、当該評価項目は評価

します。

- ② ひび割れが補修基準に達している場合において、発生したひび割れの補修が適切に行われていなければ、「d」又は「e」評価とします。
- ③ 中間検査等で検査を行った箇所も、完成検査時に再度確認することとし、ひび割れが発生・進展している場合には、上記①~②によることとします。

5-2 コンクリートの温度履歴計測を実施した工事の評価

県が推奨する温度履歴計測を行う施工記録あるいはこれと同等以上の施工管理計画を計画し、かつ実施している場合、以下の評価対象項目を評価します。

(考查項目別運用表 別紙-1⑩ 5.創意工夫)

□ 2) コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。

(考查項目別運用表 別紙-2① 2. 施工状況 I. 施工管理)

□13) その他 (

理由:コンクリートの温度履歴計測を実施した。

※県が推奨する温度履歴計測を行う施工記録あるいはこれと同等以上の施工管理計画を計画し、かつ実施している場合とは、<u>以下の内容が施工計画書等に記述されかつ実</u>施されている場合をいいます。

- ① 施工計画書またはコンクリート打設計画書等に具体的なコンクリートの施工方法を記述している。
- ② 県が推奨する温度計測を実施し(温度計測箇所及び計測時期が適切である場合に限る)、その結果を記録している。
- ③ コンクリート施工記録を適切に作成し提出している。

※<u>適用範囲、ひび割れの調査及び補修等の詳細については、山口県のホームページに掲載されている「コンクリート構造物品質確保ガイド」を参照して下さい。</u>

6 週休2日の確保と評価の関連について

6-1 対象工事

週休2日工事の実施要領による。

6-2 週休2日の確認方法

- ア 災害時等の緊急対応及び品質管理·安全管理等のため、現場閉所を計画していた日(休 工日)に現場作業を行う場合は、原則、当該週において休工日を振替できるものとしま す。
- イ 受注者は、工事完了後、実施状況を確認できる実施工程表(週休2日モデル工事の実施要領別紙4参照)を、監督職員へ提出してください。
- エ 発注者は、実施工程表や出面表等により、現場閉所の状況を確認します。確認する期間は、現場作業着手目から現場作業完了日までとします。

6-3 評価の方法

(1) 週休2日に取り組み、達成が確認された場合は、以下の評価対象項目を評価します。

【週休2日(4週8休以上)の達成が確認された場合】

(考查項目別運用表 別紙一1③ 2.施工状況 Ⅱ.工程管理B)

□ 7) 通期の現場閉所の日数の割合(現場閉所率)が28.5%(4週8休相当)以上 の水準に達する状態を達成した。

【月単位の週休2日(4週8休以上)の達成が確認された場合】

(考査項目別運用表 別紙-1③ 2.施工状況 Ⅱ.工程管理B)

□ 8) 月単位の現場閉所の日数の割合(現場閉所率)が28.5%(4週8休相当)以 上の水準に達する状態を達成するとともに、週休2日の推進に向け、積極的な 取組を行った。

(参考:積極的な取組の例)

- ・対象期間の8割以上で完全週休2日を達成した。
- ・週休2日の達成状況を現場に掲示するなど、積極的に取り組んでいることを PR した。
- ・定期安全研修・訓練等においてパンフレットを配布する等、下請業者への週休2 日の普及に努めた。
- ・月単位の週休2日の達成に向け、年度末等の作業が集中する時期に、会社として 支援体制が構築されていた。

【完全週休2日(土日)の達成が確認された場合】

(考査項目別運用表 別紙一1③ 2.施工状況 Ⅱ.工程管理B)

□ 9) 完全週休2日(土日) 以上の水準に達する状態を達成した。

(参考) 工程管理 B 及び安全対策 B の評価の判断基準について

工程管理B及び安全対策Bの判断基準については、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行うこととしていますが、その目安については以下のとおりです。

- ※ 該当項目が3項目以上・・・・・a
- ※ 該当項目が2項目・・・・・b
- ※ 該当項目が1項目・・・・・c
- (2) 週休2日工事(交替制)の場合は、「現場閉所率」を「技術者及び技能労働者の休日率」に読み替えます。
- (3) 明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られず、週休2日を達成できなかった場合については、内容に応じて、点数を減ずる措置を行うものとします。
- (4) 提出資料への虚偽の記載等が工事中又は工事完了後に判明した際には、不誠実な行為として取り扱う場合があります。

7 建設キャリアアップシステム (CCUS) 活用と評価の関連について

当該工事において、「建設キャリアアップシステム活用工事実施要領」を適用し、以下の①~②全てを達成した場合は、「工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表」の「5. 創意工夫」にて1点の加点とします。(ICT活用工事と同様に、「創意工夫」の最高点を3点から5点に、「工事特性」の最高点を6点から4点に変更します。)

- ①施工体制登録技能者率 60%以上
- ②就業履歴情報の蓄積環境を全工事期間維持

なお、受注者の都合によりCCUSを活用しない場合、または活用を希望したが基準を達成できなかった場合であっても、減点は行いません。

ただし、提出資料への虚偽の記載等が工事中又は工事完了後に判明した際には、不誠実な行為として取り扱う場合があります。

8 建設DX活用と評価の関連について

当該工事において、以下の①または②の<u>いずれかを</u>実施するとともに、③~⑥のうち1項目以上を実施した場合は、「工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表」の「5. 創意工夫」にて<u>1点</u>の加点とします。

当該工事において、以下の①及び②の<u>両方を</u>実施するとともに、③~⑥のうち1項目以上を実施した場合は、「工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表」の「5. 創意工夫」にて<u>2点の加点</u>とします。

(ICT活用工事と同様に、「創意工夫」の最高点を3点から5点に、「工事特性」の最高点を6点から4点に変更します。)

【必須項目】

①「ASP方式の工事情報共有システム」を活用

「ASP方式の工事情報共有システム」を活用し、工事完成時にデータを電子納品した場合、評価します。

②「オンライン電子納品」を実施

「オンライン電子納品試行要領」に基づき、工事完成図書を納品した場合、評価します。

【選択項目】

③「遠隔臨場」を実施

モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を使用して、段階確認又は立会を1回以上 実施した場合、評価します。

④「Web 会議システムを活用した打合せ等」を実施

「Web 会議システムを活用した打合せ等」を1回以上実施した場合、評価します。

⑤「デジタル工事写真の小黒板情報電子化」を実施

「デジタル工事写真の小黒板情報電子化」を行い、工事完成時に小黒板情報電子化写真を納品した場合、評価します。

⑥その他 ICT・デジタル技術を活用した業務効率化の取組を実施

その他 ICT (ICT 活用工事として、創意工夫【施工】で評価されたものは除く)・デジタル技術を活用し、コスト縮減や作業効率の向上が確認された場合、評価します。

9 工事特性、創意工夫、社会性等の評価について

9-1 工事特性

当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して<u>適切に対応した場合に評価</u>します。(都市部での工事や、期間が長い工事、維持工事等は安全の確保や各種調整等に困難を伴うため、その履行が的確に行われた場合に評価します。)

9-2 創意工夫

工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価します。(企業独自の技術力やアイディア等により品質や安全、工程などが特に改善され、無駄なコスト削減、現場での作業効率が上がった場合等に評価します。)

<基本的な考え方>

- ① 当該工事において自ら立案実施する意義のある提案であること。
- ② 事前に提案されていること(実施前に「工事打合せ簿」等により提出されている)。
- ③ 提案内容に期待される効果、特筆すべき便益が確認された場合は評価の対象とする。
- ④ 提案内容は、施工期間中、一貫して実施されていること。
- ⑤ 実施後、具体的な効果を確認できる資料が提出されていること。
- ※ 上記①から⑤の全てに該当する場合、評価対象となります。

<一般的に評価の対象とならない事項>

- ① 関係諸法令に規定されている事項。
- ② 契約図書・施工管理基準・仕様書等に記載されているもの。
- ③ 会社全体としての取り組み。
- ④ 一般的に実施されているもの。(従前評価した内容であっても、時間経過とともに一般的に実施されるようになったものを含む。)
- ⑤ 共通仮設費・現場管理費・一般管理費に含まれているもの。
- ⑥ 総合評価競争入札方式の技術提案内容。

<留意事項>

- ・「ICT 活用工事」で加点を行う場合は、最大5点とします。
- ・新製品、新機種を使用することが、必ずしも創意工夫に該当するものではありません。 効果を確認できない場合は評価しません。

9-3 社会性等(地域への貢献等)

<基本的な考え方>

- ① 工事期間中であること。
- ② 事前に提案されていること。
- ③ 当該工事と関連性があること。
- ④ 設計に計上するべき内容でないこと。
- ⑤ 地域に恩恵を及ぼす内容であること。

- ⑥ 地域において当該工事の評価向上に資する内容であること。
- (7) 工事実施における地元の条件処理でないこと。
- ⑧ 貢献した事実が明確に確認できること。
- ※ 上記①から⑧の全てに該当する場合、評価対象となります。 なお、会社全体としての取り組みは、評価の対象となりません。

<参考例>

- 周辺環境への配慮、地域の環境美化・保全に貢献するもの。
 - 例) 河川等の清掃活動に積極的に参加した。
- 〇 地域の活性化(教育、文化)への取組みに貢献するもの。
 - 例)祭りや伝統行事へ積極的に参加した。
- 地域の安全・安心に貢献するもの。
 - 例) 道路・歩道の清掃、公園、公共の駐車場等の草刈り、防犯灯の清掃等を積極的に行った。

災害時に地域住民等の支援を行った。

(災害復旧支援活動、防災支援活動等を積極的に行った。)

- 〇 公共工事のイメージアップに貢献するもの
 - 例) 地域住民を対象に現場見学会を行った。
- 10 施工プロセスチェックリストと評価の関連について(施工プロセスチェックリストの活用)

当初請負対象額 1 億円以上の工事は、別紙-4①~④「施工プロセスチェックリスト」を活用し、評価します。

11 社内の管理基準と評価の関連について

社内の管理基準に基づく管理については以下のとおり評価します。

- ① 社内の管理基準を県の規格値より厳しく定め、<u>その基準に収めるための方策(基準内に収めるための工夫)を施工計画書に明記していること。</u>
- ② 社内の管理基準を超えた場合の対応を施工計画書に明記していること。
- ③ 管理図表に社内管理基準値を明示し管理していること。
- 注1) 設定に当たっては適切な規格値として下さい。<u>県が定める規格値の一律何パーセントとしてもかまいません</u>が有効に機能するよう設定するようにして下さい。但し、<u>余裕があり過ぎる場合は評価しません</u>。(<u>例 県の規格値の99%とする</u>。)
 - 2) <u>ばらつきについては、測定値が県の規格値の概ね50%又は80%以内に収まっている</u>かどうかにより判断します。
 - 3) 山口県土木工事施工管理基準に定めのない場合において、受注者が独自に定めた場合も同様に評価しますが、この場合、<u>出典元等の根拠が施工計画書に記載され、有意義な数値</u>と認められる場合に限り評価します。

12 出来形の評価について

(1) 評価方法

- ・検査職員は、測定値のばらつきと評価対象項目の評価数で判断します。
- ・監督職員は、測定値のばらつきのみで判断します。

(考査項目別運用表のとおり)

(2) ばらつきの判断

- ・主たる工種(原則として最も金額の大きい工種)で判断します。
- ・同程度の金額の工種が複数ある場合、それぞれ評価し最も低い結果を採用します。
- ・同種の構造物(施工管理基準の章・節・条・枝番が同じ)でばらつきを判断します。
- 連続して機能する構造物も同種の構造物としてばらつきを判断します。

(例:排水構造物)

・メーカー型枠等を使用する製作工事並びに区画線工は、ばらつきで判断しません。

(例:異形ブロック製作工など。)

・県の規格値が小さい(5mm 未満)場合は、ばらつきで判断しません。

(例:橋梁伸縮装置、桁製作工の一部、コンクリート舗装工の目地段差)

・必要以上に設けた測定値は、ばらつき判断の対象としません。

(例:測点間隔 20mの工事について、10m間隔の管理測点数を追加する。)

<ばらつきの判断基準(検査職員)>

評価対象項目		測定値の	ばらつき	
の評価数	県の規格値の 概ね50%以内	県の規格値の 概ね80%以内	県の規格値を 満足	ばらつきで 判断不可能
4項目以上	а	р	C	b
3項目	a'	b	O	b
2項目	b'	b'	C	b'
1項目以下	С	C	C	C

- ・ <u>ばらつきで判断できない工種は、「ばらつきで判断不可能」として評価対象項目の評価数の</u> みで判断します。
- ・測定方法や測定値が不適切な場合は「d」又は「e」評価となります。
- ※概ねとは打点数の8割以上とします。

(3) 不可視部分(工事目的物が完成後隠れて見えなくなる部分)が無い工事の評価

切土のみの工事等、不可視部分が無い工事について、出来形及び施工状況が写真等により確認できる場合は、以下の評価対象項目に理由を記入の上、評価します。

(考査項目別運用表 別紙-2② 3. 出来形及び出来ばえ I.出来形)

□ 6) その他(理由:出来形及び施工状況が写真により確認できる。)

13 品質の評価について

(1) 評価方法

① 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事

以下の「② 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事」及び「③ 維持修繕工事」 以外の工事 (一般的な土木工事)

【検査職員】

・測定値のばらつきと評価値で評価します。 なお、試験結果の打点数が少なくばらつきの判断ができない等の場合は、評価対象項目 (評価値) だけで判断します。

【監督職員】

・測定値のばらつきのみで評価します。

(考査項目別運用表のとおり)

② 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事

(例:河川浚渫工、取壊し工等)

【検査職員】

・評価値のみで評価します。

【監督職員】

・品質管理項目がないため「c」評価以下とします。

(考査項目別運用表のとおり)

③ 維持修繕工事

【検査職員】

- ・考査項目別運用表【16】維持工事又は【17】修繕工事により品質を評価する場合は評価項目数のみで評価します。
- ・考査項目別運用表【68】道路修繕工事により品質を評価する場合は評価値のみで評価します。

【監督職員】

・監督職員は評価項目数のみで評価します。

(考査項目別運用表のとおり)

※ その他の留意事項

- ・検査職員の評価において評価対象項目が2項目以下の場合は「c」評価以下とします。
- ・監督職員の評価において品質管理項目を設定していない工事は「c」評価以下とします。 (考査項目別運用表のとおり)

(2) ばらつきの判断

- ・主たる工種(原則として最も金額の大きい工種)で判断します。
- ・同程度の金額の工種が複数ある場合、それぞれ評価し最も低い結果を採用します。
- ・同種の材料及び試験項目ごとに判断します。

(例:生コン18-8-40 BBの場合、下線の4種別が全て同一のもの。)

- ・測定数が10点未満の場合は、ばらつき判断不可能とします。 (考査項目別運用表の試験結果の「打点数が少なくばらつきの判断が出来ない」場合とは 10点未満とします。)
- ・測定値は、施工管理基準の試験基準を基本とします。

(必要以上に設けた測定値は、ばらつき判断の対象としません。)

・社内の管理基準に基づく管理や、品質確保のための工夫が不十分な場合はばらつき判断不可能とします。

14 その他

(1) 工事書類の簡素化

山口県では、事務手続き等の適正化及び簡素化を目的として「土木工事書類作成マニュアル (案)」(令和3年3月)を作成しております。

マニュアルでは、土木工事共通仕様書や工事請負契約書、諸法令等における工事関係書類の位置づけと取扱いを明確にし、また、段階確認における書類のやりとりの簡素化を図るとともに、書類のやりとりが必要な段階確認項目を明確にしました。

以下の評価対象項目では、マニュアルの趣旨に則り、書類を過不足なく適切に作成・整理・提出しているか確認した上で評価します。

(考査項目別運用表 別紙-1① 1. 施工体制 Ⅱ. 配置技術者)

【監理(主任)技術者を評価する項目】

□ 1) 共通仕様書及び諸基準に基づき、工事書類の簡素化の趣旨に則り、書類を適切 に作成し、提出又は提示している。

(考查項目別運用表 別紙-1② 2. 施工状況 I. 施工管理)

□ 9) 工事打合せ簿を過不足なく整理している。

(考查項目別運用表 別紙-2① 2. 施工状況 I. 施工管理)

- □10) 工事関係書類を過不足なく作成していることが確認できる。
- ※「土木工事書類作成マニュアル(案)」については、山口県技術管理課ウェブサイト (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18000/gizyutukizyun/20120720001.html) を参照ください。

(2) 施工計画書の評価

施工計画書の提出時期、記載内容等を確認の上、該当する評価対象項目を評価します。 このうち、記載内容については、所定の項目が記載され、かつ<u>現場の地形や気象状況等の現</u> 場固有の条件を十分に把握し、その対策を記述している場合に評価します。

なお、マニュアル化されたものや他の工事の使いまわしなどで、設計図書や現場条件と施工 計画書の内容が不整合となる場合等は評価しません。

(3) 下請けの引き取り検査の評価

下請けの立会いのもと、元請が引き取り検査を実施し、<u>契約条項及び関係法令に照らして適切</u> <u>に履行していることが確認できる場合に評価</u>します。

引き取り検査の内容が不十分と判断した場合は評価しません。

(4) 工事現場における標示施設等の評価 (別紙-1④ 2. 施工状況 IV. 対外関係 □ 6))

周辺住民や通行者等に対し、工事の目的や内容等の情報を工事看板などにより<u>分かりやすく</u> 周知し、公共事業への理解を深める取り組みを行った場合に評価します。

(通常の工事看板(例:「○○をしています。」等)のみでは評価しません。)

令和7年度改正

令和7年10月1日版

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 (公共建築工事用)

監督職員①~個 別紙一1

別紙-2 検査職員①~⑥

別紙一3 「施工プロセス」チェックリスト(公共建築工事) 基本事項 別紙一3 「施工プロセス」チェックリスト(公共建築工事) 1/3~3/3

使用上の注意事項

- 原則として記載された各評価項目を使用することとするが、工事内容等により、該当しないものは削除しても 良いものとする。
- 2. 各評価項目の文面は、実状に合わせて変更しても良いものとする。ただし、評価内容は変更しないものとする。3. 本運用表の各評価対象項目に「レ点」を付すことができるのは、当該評価対象項目に関して、受注者が自主的に実地している場合とし、監督職員の指導や助言を過度に必要とした場合は、「レ点」を付さないものとする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(公共建築工事)

考査項目別運用表

監督職員①

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	I.施工体	制一般		□① 作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。
				□② 品質管理体制が、書面に適切に記載されている。
				□③ 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。
				□④ 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。
				□⑤ 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。
				□⑥ 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。
				□⑦ 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。
				□⑧ 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。
				□9 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
				□⑩ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			•	
a:施工体制 <i>t</i>	が優れてい	vる。 b	ɔ:施工	体制が良好である。 c:施工体制が適切である。 d:施工体制がやや不適切である。 e:施工体制が不過
該当項目が90%	5以上 ••		• a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%	未満 •	•• b	
該当項目が60%	以上80%	未満 •	•• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	未満 ・・		• d	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
	評価	i=		

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	Ⅱ.配置技	技術者		□① 現場代理人として、工事全体の把握ができている。
	(現場代理	理人等)		□② 現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。
				□③ 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。
				工事請負契約書第18条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第18条」という。)に基づく設計図書の照 査を行っている。
				□⑤ 書類及び資料が適切に整理されている。
				□⑥ 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。
				□⑦ 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。
				□⑧ 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。
				□⑨ 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。
				□⑩ 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。
				□⑪ 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。
				□⑫ 「施エプロセス」チェックリストのうち、配置技術者(現場代理人/監理技術者/主任技術者)について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
				□⑬ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価				
a:配置技術者と d:配置技術者と]置技術者として良好である。 c:配置技術者として適切である。 e:配置技術者として不適切である。
該当項目が90%	6以上 ・・		· · a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%	未満 •	·· b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6以上80%	未満 •	•• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	6未満 ・・		· · d	
Ī	≘π /⊐		l	

- ※2. 作業主任者を専任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。 ※3. 特例監理技術者の指導により監理技術者補佐が適正に実施した場合は、特例監理技術者を評価するものとする。

			为且 只 自孙廷们 又
考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	I.施工管理		□① 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。
			□② 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。
			□③ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。
			□④ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。
			□⑤ 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を、常時適切に行っている。
			□⑥ 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。
			□⑦ 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。
			□⑧ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。
			□ 9 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。
			□⑩ 現場内での整理整頓が、常時行われている。
			□⑪ 使用する建築材料(以下「材料」という。)・設備機材(以下「機材」という。)の調達の計画及び搬入後の管理が適切である。
			□⑫ 社内検査が計画的に行われている。
			□③ 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。
			□⑭ 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。
			□⑮ 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。
			□⑥ 「施エプロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
			□⑪ その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a:施工管理/ 適切である。	が優れている。 b	∵施工	管理が良好である。 c:施工管理が適切である。 d:施工管理がやや不適切である。 e:施工管理が不
該当項目が90%	6以上	• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%未満 •	•• ь	
該当項目が60%	6以上80%未満 •	•• с	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6未満 ・・・・・・・・	• d	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
	評価=		

				7.且央口州经
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅱ.工程管	·理A		□① 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。
				□② 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。
				□③ 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事及び施設管理者等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。
				□④ 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。
				□⑤ 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。
				□⑥ 受注者の責による夜間や休日の作業がない。
				□⑦ 休日・代休の確保を行っている。
				□⑧ 近隣住民(施設管理者等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。
				□ 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
				□⑩ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価				
a: 工程管理が優 e: 工程管理が不			C程管:	里が良好である。 c:工程管理が適切である。 d:工程管理がやや不適切である。
該当項目が90%			· · a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%	未満・	 b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6以上80%	未満・	•• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	6未満 ・・		•• d	
	評価	<u>i = </u>		
	l .		1 .	
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	┃Ⅱ.工程管	≩理B		□① 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。
				□② 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。
				□③ 近隣住民(施設管理者等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。
				□④ 配置技術者(現場代理人/監理技術者/主任技術者)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。
				□⑤その他
				理由:
評価	5 l · -		_ 1D ^^-	
a:工程管理が優 e:工程管理が不			C程管 ³	里が良好である。 c:工程管理が適切である。 d:工程管理がやや不適切である。
該当項目が4以	上		· · a	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
該当項目が3以	上	•••••	∵ b	基本的には左記による。
該当項目が2以	上	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	···c	
該当項目が1以.	<u> </u>		· · d	

評価=

			7.且次日州经州农 血目概员》
考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策A		□① 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。
			□② 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。
			□③ 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。
			□④ 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。
			□⑤ 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。
			□⑥ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。
			□⑦ 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。
			□⑧ 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。
			□⑨ 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。
			□⑩ 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。
			□⑪ 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。
			□⑫ 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。
			□⑬ 過積載防止に十分に取り組んでいる。
			□⑭ 「施エプロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
			□⑮ その他
			 理由:
			(減点)該当すればc評価とする。
			□ 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a:安全対策が修 e:安全対策が7		全対	策が良好である。 c:安全対策が適切である。 d:安全対策がやや不適切である。
該当項目が90%	6以上 ·····	• а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%未満 ··	• b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6以上80%未満 ・・	• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	6未満 ······	· d	
	評価=		

考查項目別運用表

			乃且突口が足が死
考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策B		□① 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。
			□② 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。
			□③ 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。
			□④ 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。
			□⑤ 安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。
			□⑥ その他
			理由:
評価			
a:安全対策が優 e:安全対策が7		全対	策が良好である。 c:安全対策が適切である。 d:安全対策がやや不適切である。
該当項目が4以	上	·· a	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
該当項目が3以	上	∙∙ b	基本的には左記による。
該当項目が2以	上	•• с	
該当項目が1以	<u> </u>	·· d	
	評価=		
考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅳ.対外関係		□① 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。
			□② 工事施工にあたり、近隣住民(施設管理者等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。
			□③ 引渡し時に施設管理者に対し、保守管理について適切な説明を行っている。
			□④ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。
			□⑤ 近隣住民(施設管理者等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、 以後のトラブルがない。
			□⑥ 現場のイメージアップに、取り組んでいる。
			□⑦ 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
			□⑧ その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 対外関係に関して監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a:対外関係が優	憂れている。b∶対タ	ト関係:	が良好である。c:対外関係が適切である。d:対外関係がやや不適切である。e:対外関係が不適切である。
 該当項目が90%	6以上 ·····	··a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%未満 ··	•• ь	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6以上80%未満 ··	с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	6未満 ・・・・・・・・・	·· d	
	評価=		

				有且实口所是用我
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	I.出来形	<u> </u>		□① 承諾図等が、設計図書を満足している。
出来ばえ	新築	工事		□② 施工図等が、設計図書を満足している。
	改修.	工事		□③ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。
	設備	工事		□④ 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。
				□⑤ 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。
				□⑥ 出来形の管理方法を工夫している。
			$ _{\Box}$	□⑦ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。
				□⑧ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。
				□⑨ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 出来形の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
評価	•		•	
 a : 出来形が優オ	こている 。	b:出来	形が良	好である。 c:出来形が適切である。 d:出来形がやや不適切である。 e:出来形が不適切である。
	6以上 …		·· a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない ・ 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%	未満 •	 b	場口は至口のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6以上80%	未満 ・	•• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	6未満 ••		·· d	
	評価	i=		
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	I.出来形	<u>;</u>		□① 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。
山木はん	解体.	工事		□② 共通仕様書、特記仕様書により適切に管理されている。
				□③ 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。
				□④ 出来形の管理方法を工夫している。
				□⑤ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。
				□⑥「工事写真の撮り方」等により創意工夫を持って適切に管理されている。
				□⑦ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				出来形の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
評価				
			_	好である。 c:出来形が適切である。 d:出来形がやや不適切である。 e:出来形が不適切である。
該当項目が4以	.上		· · a	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。
該当項目が3以	1			サナルにはナニュートフ
			∙• b	基本的には左記による。
	上		··· b	基本的には左記による。
該当項目が1以	上		··· b	基本的には左記による。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質		□① 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。
出来ばえ	新築工事		□② 品質確認記録の内容が、適切である。
	改修工事		□③ 施工の各段階における完了時の、品質が適切である。
			□④ 躯体工事における施工の品質が、良好である。
			□⑤ 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。
			│ │□⑥ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。
			□⑦ その他
			理由:
			l (滅点)該当すればd評価とする。
			□ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
a:品質が優れて		「良好	である。 c: 品質が適切である。 d:品質がやや不適切である。
e:品質が不適り 該当項目が90%	」である。 6以上 ······	·· a	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない
	á以上90%未満 ·		□ □ 場合は空白のままとする。 □ ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	á以上80%未満 ·	···c	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	6未満 ・・・・・・・・	· · d	
	評価=		
考査項目	細別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質		c 評価とする
出来ばえ	 解体工事 		
	 評価=		

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

^{※1.} 目的物の品質の水準を評価すること。

				う五次日が足川衣
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質			□① 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。
出来ばえ	電気設備	備工事		□② 品質確認記録の内容が、適切である。
	受変電影	设備工事		□③ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。
	暖冷房律 工			□④ システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。
	機械設	備工事		□⑤ 機材及び施工の品質が、良好である。
				□⑥ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。
				□⑦ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
評価				
a:品質が優れて e:品質が不適切		b:品質が	·良好 ⁻	である。 c:品質が適切である。 d:品質がやや不適切である。
該当項目が90%以上 ・・・・・・・・ a ① ‡			• a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	該当項目が80%以上90%未満 ・・・ b			② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満 ・・・ c			• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	未満 ・・		• d	
	評価	i=		

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

考査項目 (細別)	評価対象項目		
4. 工事特性	■建物規模への対応		延べ面積10,000㎡以上の建物
(施工条件等へ の対応)			地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物
			大空間のホール等を有する建物
□ 該当項目 無し			その他(理由:)
			詳細評価内容:
	評 点= 点		
	■建物固有の機能の		対象建物の耐震レベル
	難しさへの対応		建物機能の特殊性
			その他(理由:)
			[評価技術事例]
			・建築工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準においてI類及びA類に属する工事
			・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準において甲類に属する工事
			・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
			詳細評価内容:
	評 点= 点		
	■建物固有の施工技		建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】
	術の難しさへの対応		設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性
			制約条件等があり、施工難度が特に高い場合
			その他(理由:)
			[評価技術事例]
			・VE提案(入札時、契約時、総合評価落札方式)された工法等が高度技術で評価できる場合
			・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事
			・特殊な工法及び材料等を採用した工事
			・特殊な設備システムを採用した工事
			・免震装置を設ける工事
			・大規模な山留め工法が必要な工事
			・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・放設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工
			事 詳細評価内容:
	評 点= 点		
	■厳しい自然・地盤条		湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)
	件への対応		軟弱地盤、支持地盤の影響
			雨・雪・風・気温等の影響
			その他(理由:)
			[評価技術事例]
			・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事
			・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事
			・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの 制限を受けた工事
	評 点= 点		詳細評価内容:
1	#1 W. — W.	l	

考査項目 (細別)	評価対象項目		
4. 工事特性	■厳しい周辺環境、社		地中埋設物等の作業障害
(施工条件等へ の対応)	会条件との対応		工事の影響に配慮すべき建物等の近接物
			周辺住民等に対する騒音・振動の配慮
			周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮
			その他(理由:)
			[評価技術事例]
			・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事
			・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事
			・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事
			・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められてる工事
			・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
			詳細評価内容:
	評 点= 点		
	■施工現場での対応		【長期工事における安全確保への対応】
			12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く)
			【災害等での臨機の措置】
			地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事
			【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】
			工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事
			工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事
			休日・夜間作業が工程の過半を超える工事
			施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事
			特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事
			外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事
			特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事
			施エヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事
			同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事
		V	その他(理由:)
			-11/4-7-1-1-1
	50 b_ b		詳細評価内容:
	評 点= 点	l	

- ※1. 工事特性は、6点~0点の加点評価とする。(1項目2点を目安とする)
- ※2.「創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、主任監督員、総括監督員の意見も参考に評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考查項目·細別	評価対象	頁目
5. 創意工夫	■準備・後片づけ関係	□ 測量・位置出しにおける工夫
		□ 現地調査方法の工夫
□ 該当項目 無し		□ その他(理由:)
		詳細評価内容:
	■施工関係	□ 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫
		□ 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み
		□ 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫
		□ 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫
		電気設備工事等の配線、配管等の工夫
		□ 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫
		□ 照明·視界確保等の工夫
		□ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫
		□ 運搬車両・施工機械等の工夫
		型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫
		□ 施工管理及び品質向上等の工夫
		□ プレハブエ法等の採用による工期短縮等の工夫
		□ 仮設施工等の工夫 □
		□ 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫
		□ 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫
		□ 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 □
		□ その他(理由:)
		詳細評価内容:
	■品質関係	□ 集計ソフト等の活用と工夫
		□ 躯体工事の品質管理の工夫
		□ 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫
		□ 施工の検査・試験に関する工夫
		□ 品質記録方法の工夫
		□ その他(理由:)
		詳細評価内容:
	 ■安全衛生関係	□ 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)
		□ 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫
		□ 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、
		□ 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫
		□ 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫
		□ 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫
		□ 作業時における作業環境改善等の工夫
		□ ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫
		□ その他(理由:)
		詳細評価内容:
I		

考査項	目・細別	評価対象:	頁目	
5. 創意	工夫	■施工管理関係	□ 出来形の管理等に関する工夫	
			□ 施工計画書または写真記録等に関する工夫	
			□ 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫	
			□ CAD、施工管理ソフト等の活用	
			□ 施工合理化技術(※6)を活用した施工管理の工夫	
			□ その他(理由:)
			詳細評価内容:	
		■その他	□ その他(理由:)
			□ その他(理由:)
			□ その他(理由:)
			□ その他(理由:)
			□ その他(理由:)
			詳細評価内容:	
評点	= 点			

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 3点~0点の加点評価とする。(1項目1点を目安とする。)
- ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。 なお、「工事特性」との二重評価は行わない。
- ※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。
- ※5. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。
- ※6. 施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工(ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。
- ※7. 考査項目「創意工夫」の「■準備片付け関係」から「■安全衛生関係」までの4つの細別ごとに、施工合理化技術を活用して 効果があった場合に、その他の理由に具体的内容を記載して加点する。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
6. 社会性等	I. 地域への 貢献等		□① 災害時等に地域への救援活動等に協力した。
			□② 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。
□ 該当項目 無し			□③ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。
			□④ 広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。
			□⑤ 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。
			□⑥ その他
			理由:
			※4点~0点の加点評価とする。(1項目につき 1点を目安とする。)
			詳細評価内容:
評 点= 点			

- ※1. 地域への貢献等は総括監督員が、監督員の意見を参考に総括的に評価を行う。
- ※2. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。
- ※3. レ点を付した評価対象項目について、評価した内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。

		为且以口加建而仅 监督顺民制							
考査項目	法令遵守等の該当	令遵守等の該当項目一覧表							
8. 法令遵守等	点数	措置内容							
		該当無し							
	□ -20 点	1. 指名停止3ヶ月以上							
	□ -15 点	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満							
	□ -13 点	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満							
	□ -10 点	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満							
	□ -8点	5. 文書注意							
	□ -5 点	6. 口頭注意							
	□ -3 点	工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった7.場合(不問で処分した案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)							
	□ 点	8. 総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等							
	① 本考査項目(8 あった」場合に適用	3.法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置が 用する。							

- ② 「工事の施工にあたり」とは、工事請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。
- ③「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者(特例監理技術者を含む)、監理技術者補佐、主任技術者、品質証明員、受注企業の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。
- ④ 口頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(主任又は総括監督員からの文書注意、口頭注意等)は、主任又は総括技術評価官の評価対象項目である安全対策において減点をする。
- ⑤ 総合評価落札方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等は、上表8により工事成績評定点を減点する。減点数は現場説明書等によるものとする。
- ⑥原則として、法令遵守等の該当項目一覧表によることとするが、やむを得ずこれによれないときは、各機関で定めることができる。

【上記で評価する場合の適応事例】

- 1.入札前に提出した調査資料等が虚為であった事実が判明した。
- ・ 2.承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。
- ・ 3.労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。
- ・4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- 5.当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。
- ・ 6.建設業法に違反する事実が判明した 例)一括下請負、技術者の専任違反等
- ・ 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。
- ・ 8.使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- ・ 9.監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。
- ・10.下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。
- ・11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・12.受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。
- ・13.下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
- ・14.受注企業及び下請等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報等を怠った。
- ・15.安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- ・16.引渡し後に事故等が発生し、工事目的物が受注者の責による契約不適合で重大なものであることが判明した。
- ・17.低入コスト調査で虚偽の報告があった。
- ・18.受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。
- ・19.受注者が工事請負契約書第7条の3の規定に違反して社会保険等未加入建設業者を下請負人としていることが判明した。

評 点= 点

・20.その他 理由:

考査項目別運用表

検査職員①

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	I.施工管理		□① 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。
			□② 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。
			□③ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。
			□④ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。
			□⑤ 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。
			□⑥ 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。
			□⑦ 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。
			□⑧ 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。
			□9 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。
			□⑩ 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。
			□⑪ 工事の関係書類及び資料の整理がよい。
			□⑫ その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a : 施工管理が優 e : 施工管理がイ		工管	里が良好である。 c:施工管理が適切である。 d:施工管理がやや不適切である。
該当項目が90%	6以上	• a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%未満 ··	• b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	6以上80%未満 ··	• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	治未満 ・・・・・・・・	·d	
	評価=		

				う五人口がたがら
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	I.出来形			□① 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
出来ばえ	新築二	□事		□② 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
	改修二	□事		 □ ③ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。
	設備二	· [事		□④ 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。
	1X I/H =	- 7		□⑤ 出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。
				⑥ 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。
				現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。
				□⑧ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。
				□⑨ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。
				□⑩ その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 出来形が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
評価				
				形が優れている。 b:出来形が特に良好である。 b':出来形が良好である。 >や不適切である。 e:出来形が不適切である。
該当項目が90%	以上 …		·· a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%:	未満 •	··a'	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が70%	以上80%:	未満 •	·· b	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%	以上70%:	未満 •	·· b'	
該当項目が50%	以上60%:	未満 •	•• с	
該当項目が50%	未満 …		· · d	
	評価	=		
考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	I.出来形			□① 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。
出来ばえ	解体二	エ事		□② 共通仕様書、特記仕様書により適切に管理されている。
				□③ 出来形の管理記録の整備が良好であることが確認できる
				□④ 現場における解体施工が、適切であることが確認できる。
				□⑤ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。
			_	□⑥「工事写真の撮り方」等により創意工夫を持って適切に管理されている。
			╽╙	L ⑦ その他
				理由: (滅点)該当すればd評価とする。
				□ 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
評価				
				形が優れている。 b:出来形が特に良好である。 b':出来形が良好である。 ▷や不適切である。 e:出来形が不適切である。
該当項目が5以上 ・・・・・・a				() 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない
該当項目が4以.				igcup 場合は空白のままとする。
該当項目が3以				
該当項目が2以.				
該当項目が1以. 該当項目が0 ·				
以口名口"。	評価		<u>u</u>	
Ya Utawa			Ι. Γ+6	

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

					<u> </u>
考査項目	細	別	対象		評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質			① 材料・製品の	品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
出来ばえ	新築	工事		② 施工の各段隊	皆における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
	改修.	工事		③ 材料の品質研	崔認記録の内容が、適切であることが確認できる。
				④ 品質の確認網	吉果が、分りやすく整理されていることが確認できる。
				⑤ 施工の品質が	が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
				⑥ 建具、ユニッ ⑥ いることが確	ト等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足して 認できる。
				⑦ 躯体工事にお	らける施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
				⑧ 内外仕上げこ	E事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
				⑨ その他のエミ ることが確認	§(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であできる。
				⑩ 不可視部分と	なる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
				⑪ 中間技術検査	をや既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
				⑫ その他	
				理由:	
				(減点)該当	tればd評価とする。
] 品質の管理(に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
				(減点)該当	ければe評価とする。
				品質が不適け	刃であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
評価					
a:品質が特に優c:品質が適切で	れている ある。 d	。 a'∶品 ∶品質が∙	質が(やや不	.ている。 b:品質 切である。 e:品	賃が特に良好である。 b':品質が良好である。 質が不適切である。
該当項目が90%以上 ・・・・・・a			·· a	① 「対象」欄にき 場合は空白の	fェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない Dままとする。
該当項目が80%	以上90%	未満 •	··a'	② 削除項目の	5る場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が70%	以上80%	未満 •	·· b	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
該当項目が60%以上70%未満 ・・・ b'					
該当項目が50%以上60%未満 ・・・ c					
該当項目が50%			· · d		
	評価				
考査項目	細	別	対象		評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ.品質 解体.	工事		b' 評価	とする
	評価	j=			

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

7)1/1/1/1/2/					有直填日 加建用农	快宜城貝④	
考査項目	細	別	対象		評価対象項目		
	Ⅱ.品質				機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。		
出来ばえ	電気設備	備工事			施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。	,	
	受変電設	设備工事		□3	機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。		
	暖冷房衛 工	生設備 事		4	品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。		
	機械設備	備工事			施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。		
					施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。		
					システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設 ていることが確認できる。	計図書を満足し	
				□8	システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。		
				□9	不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。		
					中間技術検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。		
					運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。		
					その他		
					理由:		
					(減点)該当すればd評価とする。		
					品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。		
					(減点)該当すればe評価とする。		
					品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行	った。	
評価	評価						
a: 品質が特に優れている。 a': 品質が優れている。 b: 品質が特に良好である。 b': 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。							
該当項目が90%以上・・・・・・・・・ a ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目 場合は空白のままとする。						べき項目でない	
該当項目が80%	6以上90%	未満 ・・	• a'	2	削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価す	る。	
該当項目が70%	6以上80%	未満 ・・	• b	3	評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()		

該当項目が60%以上70%未満 ・・・ b'

該当項目が50%以上60%未満 ・・・ c 該当項目が50%未満 ・・・・・・・・ d

評価=

※1 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図 書を対比することにより技術的な評価を行う。

^{※2.} 目的物の品質の水準を評価すること。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目		
3. 出来形及び	皿.出来は	だえ		□① きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。		
出来ばえ 新築工事			□② 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。			
	改修.	工事		□③ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。		
				□④ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。		
				□⑤ 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。		
				────────────────────────────────────		
				□⑦ 保全に配慮した施工がなされている。		
				□ 8 その他		
				理由: 		
				(減点)該当すればd評価とする。		
				□ 出来ばえが劣っている。		
評価						
a:全体的な完成	を きゅうしゅう きゅうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	ている。	b:全	体的な完成度が良好である。 c:全体的な完成度が適切である。 d:全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%	6以上 …		· · a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない 場合は空白のままとする。		
該当項目が80%	6以上90%	未満 •	·· b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		
該当項目が80%	∆未満 ・・・		•• с	③ 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()		
④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。				④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。		
	評価	i=				
考査項目	細	別	対象	評価対象項目		
3. 出来形及び	皿.出来は	だえ		□① 解体後、残存物がなく埋め戻し、整地等が良好である。		
出来ばえ	解体コ	事		□② 整地の状態が、雨水排水に配慮した仕上げである。		
				□③ 全体的な美観が良好である。		
				□④ 既存との取り合い部分の施工が良好である。(部分解体の場合)		
				□⑤ 分別集積が適時・的確に行われ、撤去物が周囲に散乱していない。		
				□⑥ その他		
				理由:		
				(減点)該当すればd評価とする。		
				□ 出来ばえが劣っている。		
評価	評価					
a:全体的な完成	き度が優れ	ている。	b:全	体的な完成度が良好である。 c:全体的な完成度が適切である。 d:全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が3以	上		• a	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d評価を行う。		
該当項目が2以上 ・・・・・・・ b			• b	基本的には左記による。		
該当項目が1以	上	該当項目が1以上 ・・・・・・・・・ c				

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

^{※1.} 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

考查項目別運用表

検査職員⑤

考査項目	細	別	対象		評価対象項目
3. 出来形及び	皿.出来に	Ⅲ.出来ばえ			きめ細やかな施工がなされている。
出来ばえ	出来ばえ 電気設備工事 受変電設備工事			<u></u>	関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
				□3	機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
	暖冷房衛	新生設備 二事		□4)	環境負荷低減への対策が優れている。
	機械設	備工事		□5	運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
				□6	その他
					理由:
					(減点)該当すればd評価とする。
					出来ばえが劣っている。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
a:全体的な完成度が優れている。 b:全体的な完成度が良好である。 c:全体的な完成度が適切である。 d:全体的な完成度が劣っている。					
該当項目が90%以上 ・・・・・・a				1	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満 ・・・ b				2	削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が80%未満 ・・・・・・・c				3	評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
				4	評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。
	評価	<u> </u>			

^{※1.}機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

^{※2.} 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

^{※3.} 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。